

舞鶴高専年報

－ 2018年度の教育・研究活動 －



独立行政法人国立高等専門学校機構
舞鶴工業高等専門学校

第16号 2019年4月

舞 鶴 高 専 年 報

— 2018年度の教育・研究活動—



独立行政法人国立高等専門学校機構
舞鶴工業高等専門学校

第 16 号 2019 年 4 月

は じ め に

平成30年は、大雨、地震、猛暑、台風が続いた災害の多い年でしたが、学生は数多くの活躍を見せながら、無事に学生生活を送っております。例年通りの様々な催事のほか、運動クラブでは、全国高専体育大会柔道競技女子の部 第3位入賞、文化クラブでは、デザコン2018 in 北海道 創造デザイン部門 優秀賞（第二位）や、平成30年度起業家甲子園出場などの数多くの活躍がありました。

また、養父市と締結した社会インフラ維持管理連携協力に関する協定に基づき、同市の天滝橋梁を本校学生が設計する事業に取り組みました。舞鶴市、KDDI株式会社とは、地域活性化を目的とした連携協定を締結し、今後、ICTを駆使した実証実験を行い、地域の課題解決に取り組んでいく予定としております。

本校が独立行政法人国立高等専門学校機構のキャンパスとして生まれ変わってから、15年が経ちました。独立行政法人は、国が定める中期目標に基づいて中期計画を策定し、これに従って業務が進められています。本年は平成26～30年度までの第3期中期目標期間の最終年度に当たります。次期の第4期中期目標期間に向けて、機構本部は「“KOSEN（高専）4.0”イニシアティブ」をスタートさせました。この事業では、すべての高専がそれぞれ備えている三つの方向性、「新産業を牽引する人材育成」、「地域への貢献」、「国際化の加速・推進」を踏まえた新たな事業展開が期待されており、それぞれの高専の独自性を発揮しながら、より特色ある高度化を図っていくことが求められています。

本校では、2つのプロジェクト、社会基盤メンテナンス教育センターの活動を高専教育に展開させる事業「社会基盤を支えるメンテナンス技術者養成による地域創生への貢献」と、原子力を含めた防災教育と人材育成を行う事業「地域に存在する重要課題を通して育成する課題解決力の高い社会実装型技術者育成プログラムの開発～防災を含む原子力教育をベースとして～」が採択されています。本校の歴史と特長を踏まえながら、特色ある発展を目指して行きたいと思っております。

教育面では、高専機構が教育の質保証を目指し整備を進めてきたモデルコアカリキュラム（MCC）が完成し、本校においてもMCCの本格実施に向けたカリキュラム改革が進められ、実施が始められました。Webシラバスへの移行、コンピュータによる試験実施手法（CBT）の試行などが行われ、教育におけるICTの導入が本格化しています。

また、平成29年度が最終年度であるCOC事業を引き継いだCOC+事業では、京都府北部の地域連携の取りまとめを行っています。教育・研究・社会貢献の三分野に取り組みながら、地域志向教育の更なる充実、出前授業・公開講座の拡充が図られており、地方創生への貢献が行われています。

舞鶴高専の活動内容も年々広がりを見せていますが、この年報が皆様への本校の活動のご理解に役立てば幸いです。

校 長

内 海 康 雄

総 目 次

はじめに	2
総目次	3
学校運営	
目次	5
運営報告	6
学科・部門別教員一覧	7 2
教職員数	8 5
学校行事日程	8 6
教育活動	
目次	8 8
学生数	8 9
入試状況	9 2
就職状況（本科）	9 3
就職状況（専攻科）	9 4
進学状況（本科）	9 5
進学状況（専攻科）	9 5
進路先一覧（本科）	9 6
進路先一覧（専攻科）	9 7
卒業研究題目	9 8
専攻科特別研究題目	1 0 2
インターンシップ受入先（本科）	1 0 3
インターンシップ受入先（専攻科）	1 0 4
課外活動成績	1 0 5
課外活動に対する教員の活動状況	1 0 7
研究活動	
目次	1 0 9
研究業績	1 1 0
外部研究費受入	1 3 3
学協会委員及び学会・研究会等の開催協力	1 3 9
教職員の活動状況	1 4 1
地域・社会活動	
目次	1 4 2
地域・社会業績	1 4 3
地域共同テクノセンター技術相談	1 5 6
地域委員	1 5 9
報道記事	
目次	1 6 0
報道記事一覧	1 6 1

学 校 運 営

運営報告	6
教務委員会	6
学生委員会	1 3
学寮委員会	1 5
専攻科	1 8
人文科学部門	2 3
自然科学部門	2 6
機械工学科	2 8
電気情報工学科	3 0
電子制御工学科	3 2
建設システム工学科	3 4
図書館	3 6
情報科学センター	3 9
教育研究支援センター	4 1
地域共同テクノセンター	4 3
社会基盤メンテナンス教育センター（iMe c）	4 6
国際交流センター	4 9
留学生部会	5 0
知的財産委員会	5 1
情報セキュリティ推進委員会	5 2
企画室	5 3
評価委員会	5 5
FD・ICT部会	5 6
広報委員会	5 8
教育プログラム（MDE）委員会	5 9
進路指導委員会	6 1
学生相談室	6 3
入試広報部会	6 5
教育改善委員会	6 7
交通対策検討委員会	6 8
安全衛生委員会	6 9
人権侵害・ハラスメント防止委員会	7 0
緊急連絡／安否確認システムワーキンググループ	7 1
学科・部門別教員一覧	7 2
教職員数	8 5
学校行事日程	8 6

教 務 委 員 会

教務主事 高谷 富也

1. 平成30年度教務委員会の役割分担について

役 割 名 等	担 当 委 員 名	備 考
総括	高谷	
委員長代行	教務主事補	
教務制度・教務規程・教育環境の見直し・整備等	高谷、教務主事補	第1合併教室、図書館（1F、3F）
平成31年度新カリキュラムへの対応	教務主事補、児玉、川田、加登	
原級留置率の改善 （成績評価の情報交換・共有、学力補充、追試験、学生の出欠確認システム等）	○児玉、奥村、谷川	
新カリキュラムの実施に伴う留年等に関する対応 （学則別表の改正、新しい教育体制整備対応）	○内海、児玉、上杉	
アクティブ・ラーニングと教材開発 等	○小林、徳永	
定期試験・試験返却等到達度確認期間・時間割編成	○徳永、奥村、加登	
学年暦編成	○伊藤、川田	
英語教育の充実・強化（TOEIC対策）	児玉、高谷	藤田参加
学習支援（特別支援教育）	○上杉、児玉	
学習到達度試験、CBT到達度試験	○奥村、上杉	背戸柳・高倉参加
インターンシップ、キャリア（アントレプレナー）教育	○谷川、高谷	
電子化による成績評価資料の保存体制の構築 【機関別認証評価（2010年度）対応】	小林、学生課長	
緊急連絡／安否確認システム作業部会	高谷、学生課長	
教務関係・自殺予防に関する講演会	高谷、児玉	
その他教務上の問題対応	全委員（随時）	

敬称略、○チーフ責任者

2. モデルコアカリキュラム対応について

平成30年度1年生より、高専機構が進めている実験スキル評価シート（Excelファイル）を作成し、各学科の実験実習の科目担当者に作成を依頼した。特に、機械工学科は本年度後期科目に実験実習科目が開設されているため、早期の対応を依頼した。一方、他学科については2年生の実験実習科目の実験スキル評価シートを作成してもらった。なお、この実験スキル評価シート（Excelファイル）は学生に自己評価をしてもらい、担当教員が学生から回収して電子媒体として保管することとなった。

3. 高等教育における負担軽減対策について

今後、大学進学者を有する保護者向けに学費の負担軽減が実施されるため、高専機構より本年度中に高専を含めた高等教育機関側が準備しておくべき事項が提示された。その一つが実務経験のある教員による授業科目の配置であり、実務経験者による科目単位数が本科4・5年次で7単位以上（必修、選択を問わない）設置していることと、Webシラバス上での記載と明示することが挙げられた。また、成績評価における指標の設定・公表と適切な実施が求められた。このため、本科4・5年次における実務経験者のリストを作成、実務経験者による科目のWebシラバスへの記述を依頼した。また、既に成績評価における指標の設定・公表は本校ホームページにて実施しているが、GPAは公表していなかったもので、以前に作成されているGPAを本校ホームページにて公表することとした。さらに、留学生対応の学則別表の

公表に向けて作成を行った。

4. 知識・技能審査に係る単位認定について

平成31年度入学生に対して、各種団体や協会に実施する資格試験による知識・技能審査に係る単位認定が、下記に示す表のように改定された。これにより、一般科目と専門科目における単位取得に向けた学習意欲の向上を図る。

区分	主催団体名	実施回数 (年当たり)	名称	区分	学科認定単位数				備考
					機械	電気情報	電子制御	建設システム	
一般科目	実用英語技能検定		国際コミュニケーション英語能力テスト(TOEIC)						
	公益財団法人日本英語検定協会		一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会						
	実施回数(年当たり) 3回		実施回数(年当たり) 10回						
	1級		900点以上		3	3	3	3	
	準1級		750点以上900点未満		2	2	2	2	
	2級		550点以上750点未満		1	1	1	1	
	特定非営利活動法人 日本語検定委員会	2回	日本語検定	2級以上	3	3	3	3	
	公益財団法人 日本数学検定協会	3回	実用数学技能検定	準2級	2	2	2	2	
				3級	1	1	1	1	
				1級	3	3	3	3	
専門科目	一般財団法人 電気技術者試験セン	2回	電気工事士	第1種		2	2		
	一般財団法人 電気技術者試験セン	1回	電気主任技術者	第2種以上		1	1		
	公益財団法人 日本無線協会	3回	陸上特殊無線技士	第1級		4	4		
				第2級		3	3		
		2回	陸上無線技術士	第1級		2			
				第2級		1			
	一般社団法人 コンピュータ教育振興協 会	1回	2次元CAD利用技術者	1級			2	2	電子制御工学科においては機械系CAD、建設システム工学科において は建築系CADの資格技能について単位認定を認める
				2級			1	1	
	独立行政法人 情報処理推進機構	1回/月	情報処理技術者	エンベデッドシステムスペシャリスト		4			
		2回		ITストラテジスト		4			
				システムアーキテクト		4			
				プロジェクトマネージャ		4			
				ネットワークスペシャリスト		4			
				データベーススペシャリスト		4			
				ITサービスマネージャ		4			
				システム監査技術者		4			
		1回		応用情報技術者		3	3		
				基本情報技術者		2	2		
	公益財団法人 国際文化カレッジ	2回	デジタル技術検定	2級情報		2	2		
	特定非営利活動法人 日本防災士機構	1回	防災士	3級		1	1		
	公益社団法人 日本技術士会	1回	技術士一次試験		1	1	1	1	建設システム工学科においては建設部門、上下水道部門、衛生工学科 門、応用理学部門、環境部門について単位認定を認める
	一般財団法人 全国建設研修センター	2回	2級土木施工管理技士(学科試験)			2		2	
	一般財団法人 建設業振興基金		2級建築施工管理技士(学科試験)					2	

5. 特別警報発令に伴う対応の見直しについて

平成30年7月5日(木)～6日(金)間の大雨警報発令からの経緯に沿って実施した学校側の対応内容について協議した結果、今後の警報発令時における対応が以下のように決定された。

- 1) 特別警報発令時においては、緊急連絡／安否確認メールを通じて学生・教職員の情報収集を行う。
- 2) 特別警報発令時においては様々な状況が考えられるため、緊急連絡／安否確認メールの結果を踏まえて、学科部門長を通じて各担任にクラスの学生の再度の安否確認を依頼する。担任が諸事情により校内に不在の場合は学科部門長が対応する。
- 3) 大雨警報の継続や公共交通機関の情報を収集し、危機管理委員会を早期に開催する。
- 4) 学生に通知する内容の再検討し、学校の判断を的確に通知する。学校の指示に対応できない学生についてはその理由と対応を学校側が検討し対応する。
- 5) 特別警報解除後の措置については、教務主事が学科部門長を通じて各担任に学生の出校に関する要望を聞く。学校側は諸事情により毎日の通学が困難な学生に対し、合宿所や学寮等の対応を検討する。
- 6) 特別警報発令に伴って公共交通機関等の運行状況により学校に登校できない場合については、学生からの申請により「公欠」を許可する。このため、各担任を通じて学生に周知する。
- 7) 学生保護者へのメール配信や学校HP上での危機管理対応の情報発信を随時行う。

6. 追試験実施要領の改訂について

追試験の実施が早期にかつ円滑に実施できるように、教員向けの追試験実施要領が以下に示すように改定された。

- 1) 4月上旬より追試験が開始できるように、科目担当者に追試験受験の学生リストを配付する。
- 2) 5月以降には、追試験辞退者リストを科目担当者に配付する。追試験手続き図参照。
- 3) 過年度未修得科目および前期末修得科目にかかる追試験については、成績締切日までに追試験結果届を教務係に提出する。

- 4) 追試験の実施伺を提出する前に、desknet'sNEO上のクラススケジュールを確認し、追試験実施の予約をする。この際、少数の追試験については学生指名をコメント欄に記入する。これにより、同時に、同じクラスでも別の科目の追試験が実施できる。
- 5) desknet'sNEO上のクラススケジュールを確認し、できるだけ多くの科目の追試験が同日に重ならないように配慮する。

7. 定期試験実施要領の改訂（フロア巡回者）について

教員の負担軽減対策の一つとして、来年度の定期試験期間において技術職員に3回のフロア巡回をしてもらうこととなった。平成31年度前期中間試験については1年生のみ主・副監督・フロア巡回無しとし、2年生と3年生はフロア巡回2名とする。なお、前期中間試験の様子を踏まえて前期期末試験においては1年生も主監督のみとし、フロア巡回2名を進めていく。

8. CBT実施について

従来から行われてきた到達度確認試験に代わり、本年度よりCBT (Computer Base Test) が実施された。

- 1) 数学は、授業時間を利用して3学年でCBTを実施する。
- 2) 物理は、1年と2年に対して授業時間外（特別活動の時間など）でCBTを実施する。
- 3) 化学は、1年に対して授業時間外（特別活動の時間など）でCBTを実施する。
- 4) 情報科学センターとCALL教室を使用したCBT実施については、隣り合うPCの液晶ディスプレイ画面が互いに見られないような措置を取るため、間仕切りを設置した。
- 5) CBT監督教員については、CBTの実施日時・場所等を教務係に通知後に、定期試験の試験監督の要領のもとで、CBT監督者を決定する。

9. 学力補充期間の実施について

昨年度に引き続き、原級留置率の改善対策として前期科目未修得に比べて後期科目未修得による留年者数が多くいる現状を踏まえて、後期期末試験の試験返却後の1週間（平成31年3月4日（月）～8日（金））を学力補充期間とし、留年する可能性を有する学生に対して学力補充を行った。なお、学力補充に参加したからと言って、単位修得を保障するものではないことやすべての科目担当教員が学力補充を実施することを確約するものではないことを予め学生とその保護者に通知した。

特に、学科部門や教員会議などを通じて頂いた質問、意見やコメントなどに対するQ&Aを作成するとともに、以下に示す資料も添えて、教員の支援と協力のもと、学力補充期間を実施した。

- ・学力補充期間に関するQ&A
- ・学力補充期間に向けての作業内容について
- ・学力補充期間作業フロー図

また、学寮委員会の協議を踏まえて、学力補充期間における学寮の開寮（宿泊）については給湯や風呂の利用を可能とするが、食事は提供しないこととした。

10. 海外研修旅行・英語デー

(1) 海外研修旅行

平成30年11月13日（火）～17日（土）の4泊5日の海外研修旅行を実施した。

機械工学科：台湾、国立聯合大学、企業はヤマハモーター台湾

電気情報工学科：マレーシア、マレーシア日本国際工科院、企業は日本電気硝子マレーシア法人

電子制御工学科：ベトナム、ハノイ交通通信大学、企業はエンケイベトナム

建設システム工学科：台湾、国立高雄第一科技大学、建設関連施設の見学

舞鶴高専と協定を結んでいる大学を訪問し学生間の交流を行い、現地企業や建築物を見学することにより、技術者としての国際的視点を育成した。また、訪問国の文化に直接触れることで異文化理解の一助となった。

(2) 英語デー

平成30年11月7日（水）に「英語デー」を実施し、本科1・2年生はACEを、また本科3・4年生と専攻科1年生はTOEICの試験を受けた。専攻科における2021年度に実施される学力入試においてTOEIC試験のスコアが用いられることを考慮して、本年度より本科3・4年生と専攻科1年生は全員TOEICを受験することとし、他の学生は希望者のみ受験できるものとした。ACE受験者15名、TOEIC受験者286名であつ

た。経費については、本科3・4年生と専攻科1年生は後援会費で、他の学生は後援会費及び受験者負担で実施した。

11. インターンシップ・キャリア教育について

進路指導委員会の協力を得て、平成30年7月18日（水）にインターンシップ説明会を開催した。原則として夏季休業中に学生を希望する企業等へ派遣し、インターンシップを実施した。機械工学科で37名、電気情報工学科で29名、電子制御工学科で25名、建設システム工学科で29名、専攻科で7名（ESコース4名、MSコース1名、CAコース2名）の参加があった。なお、上記の説明会に参加できなかった学生に対して、7月27日（金）のインターンシップ説明会を開催し、機械工学科で4名、建設システム工学科で6名が参加した。実施機関による評価、インターンシップ報告書における評価およびインターンシップ報告会による評価を総合的に勘案し、教務委員会の議を経て単位認定を行った。

12. 学生の出欠確認について

本年度においても学生に係る事故発生状況を踏まえて、前期中間試験期間（6/1～6/7）、前期期末試験期間（7/31～8/7）、前期期末試験の答案返却到達度確認期間（9/26～9/28）、後期中間試験期間（11/29～12/5）、後期期末試験期間（2/13～2/22）および後期期末試験の答案返却到達度確認期間（2/26～2/28）において、学生の出欠確認を実施した。特に、学生の出欠確認の作業に従事するクラス担任や教務係職員等の負担軽減を考慮して、後期中間試験と期末試験期間については、その日の必修科目1科目を対象として出欠確認を行った。

本年度も、平成29年度に引き続き平成30年度も「学生の出欠確認システム」の積極的な運用を依頼した。また、平成31年1月25日（金）と1月29日（火）には、教員を対象とした「学生の出欠確認システム」に関する講習会も実施した。

13. 教務委員会の開催と協議内容について

○第1回教務委員会：平成30年4月2日（月）

1. 平成30年度教務委員会の基本方針について
2. 平成30年度教務委員会年間スケジュールについて
3. 平成30年度教務委員会の役割分担について
4. Webシラバスへの移行に伴うHP掲載情報について
6. 分野別工学実験・実習能力及び実質化に関する評価指標の開発（評価シート）について
7. 転科に関する受入れ条件について
8. その他

○第2回教務委員会：平成30年5月9日（水）

1. 学生表彰について
2. 平成30年度転科生・留学生・編入学生に対する補講措置等について
3. 科目再履修免除の科目リスト
4. 留学生の公欠扱いについて
5. 追試験実施要領について
6. 転科に関する受入れ条件について
7. 平成31年度新カリキュラムの学則別表について
8. 平成31年度学年暦について
9. 並列開講・専門共通選択科目変更願の様式変更について
10. その他

○第3回教務委員会：平成30年5月23日（水）

1. 追試験実施要領について
2. 転科に関する受入れ条件について
3. 知識・技能審査に係る単位認定リストについて
4. 平成29年度の未修得者数の多い科目および平均点70点以下に対する分析調査表の提出について
5. 到達レベルに応じた分野別実験書モデルと評価指標について
6. 研究生について
7. 学生の長期欠席について

8. 平成31年度新カリキュラムの学則別表について
 9. 平成31年度学年暦について
 10. 学生の表彰について
 11. その他
- 第1回臨時教務委員会：平成30年5月25日（木）
1. 試験中の不正行為（疑い）について
 2. その他
- 第4回教務委員会：平成30年7月4日（水）
1. 平成29年度の未修得者数の多い科目および平均点70点以下に対する分析調査表の提出について
 2. 学生の長期欠席について
 3. 学生の公欠について
 4. 留学生に対する「英会話」の取り扱いについて
 5. モデルコアカリキュラム推進に向けた実践校等の公募について
 6. その他
- 第5回教務委員会：平成30年9月26日（水）
1. 教室の課外活動（デザコン部）使用について
 2. 定期試験問題について
 3. 3年生のTOEIC受験について
 4. 平成31年度入学生に対する春休み中の宿題について
 5. 知識・技能審査に係る単位認定の実施年度について
 6. 英会話非常勤講師・担当科目の変更について
 7. 全国高専フォーラムの報告
 8. 近畿地区高専教務主事会議の報告
 9. CBT実施に向けた準備について
 10. 平成31年度Webシラバス・実験スキル評価シート作成について
 11. 留学生の補講による単位認定について
 12. その他
- 第6回教務委員会：平成30年11月28日（水）
1. インターンシップの単位認定について
 2. 学生の問題行動について
 3. 平成31年度学則別表について
 4. 新カリキュラム実施に伴う留年対応について
 5. 平成31年度Webシラバス作成スケジュールについて
 6. 平成31年度学年暦（案）について
 7. 学生の出欠管理システムについて
 8. 混合学級の廃止について
 9. 科目履修辞退願について
 10. 定期試験における2年生クラスの副監督廃止と技術職員へのフロア巡回担当依頼について
 11. 公欠について
 12. 新カリキュラムにおける「発展英会話」「発展英語」の開設計画について
 13. その他
- 第7回教務委員会：平成31年1月30日（水）
1. 平成31年度Webシラバスについて
 2. 混合学級の廃止について
 3. 定期試験における副監督とフロア巡回について
 4. 科目再履修免除の対象とならない科目について
 5. 追試験を実施しない科目について
 6. 非常勤講師の任用計画一覧について
 7. 欠席日数の算出方法に関する申し合わせについて
 8. 期末試験の配慮依頼について
 9. 学力補充期間について

10. ショートホームルームについて
11. その他

○第8回教務委員会：平成31年3月1日（土）

1. 学力補充期間における参加学生と対象科目について
2. 知識・技能審査に係る単位認定について
3. 学生の表彰について
4. 非常勤講師任用について
5. 学生の問題行動について
6. 次年度1年生の7・8時限目の開講科目について
7. その他

14. 教務主事・主事補会議の開催について

○第1回教務主事・主事補会議（平成30年4月3日（火））

1. 平成30年度 教務委員会の役割分担（案）について
2. 平成30年度 教務上の課題への対応スケジュール
3. その他

○第2回教務主事・主事補会議（平成30年4月9日（月））

1. 平成30年度入学生に対するモデルコアカリキュラム説明会について
2. その他

○第3回教務主事・主事補会議（平成30年5月21日（月））

1. 到達レベルに応じた分野別実験書モデルと評価指標について
2. 追試験実施要領について
3. 転科に関する受入れ条件について
4. 平成31年度新カリキュラムの学則別表について
5. 知識・技能審査に係る単位認定リストについて
6. 平成29年度の未修得者数の多い科目および平均点70点以下に対する分析調査表の提出について
7. 1-2学生の長期欠席について
8. 2-1学生の長期欠席について
9. 研究生について
10. その他

○第4回教務主事・主事補会議（平成30年9月25日（火））

1. 教室の課外活動（デザコン部）使用について
2. 定期試験問題について
3. 3年生のTOEIC受験について
4. 平成31年度入学生に対する春休み中の宿題について
5. 知識・技能審査に係る単位認定の実施年度について
6. 「平成29年度の未修得者数の多い科目および平均点70点以下に対する分析調査表の提出について
7. 全国高専フォーラムの報告
8. 近畿地区高専教務主事会議の報告
9. CBT実施に向けた準備について
10. 成31年度Webシラバス・実験スキル評価シート作成について
11. その他

○第5回教務主事・主事補会議（平成30年10月29日（月））

1. 学力入試における合否判定資料について
2. 実験スキル評価シートの作成
3. 平成31年度学年暦（案）について
4. Blackboard講習会について
5. 定期試験の試験監督業務について
6. 新カリキュラム実施に伴う留年等に関する対応
7. 学生の出欠管理システムについて
8. その他

○第6回教務主事・主事補会議（平成31年1月28日（月））

1. 平成31年度Webシラバスについて
2. 混合学級の廃止について
3. 定期試験における副監督とフロア巡回について
4. 科目再履修免除の対象とならない科目について
5. 追試験を実施しない科目について
6. 非常勤講師の任用計画一覧について
7. 欠席日数の算出方法に関する申し合わせについて
8. 期末試験の配慮依頼について
9. 学力補充期間について
10. ショートホームルームについて
11. その他

学 生 委 員 会

学生主事 小野 伸一郎

平成30年度の学生委員会、並びにその指導のもとでの学生会・クラブの活動等について

1. 新入生支援・指導

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 4月09日（月） | クラブ紹介 |
| 4月12日（木）・13日（金） | 新入生合宿研修・元気回復行動プランワークショップ |
| 4月16日（月）～24日（火） | 前期パートナシップ |
| 4月21日（土） | 学生会・寮生会共催新入生歓迎会 |
| 11月19日（月）～30日（金） | 後期パートナシップ |

2. 交通安全指導・禁煙指導

- | | |
|----------|--------------------------|
| 4月10日（火） | 駐車場仮登録 |
| 4月16日（月） | 交通安全講習会（2, 3, 4年生及び専攻科生） |
| 4月18日（水） | 交通安全講習会（5年生） |
| 4月～ 8月 | 駐車指導, 禁煙巡回指導 |
| 10月～12月 | 駐車指導, 禁煙巡回指導 |
| 1月～ 2月 | 積雪時の駐車指導, 禁煙巡回指導 |

3. 環境美化

- | | |
|-----------|-----------|
| 6月 7日（木） | 第1回環境美化清掃 |
| 8月 8日（水） | 第2回環境美化清掃 |
| 12月05日（水） | 第3回環境美化清掃 |
| 3月22日（金） | 第4回環境美化清掃 |

4. 課外活動

<学生会>

- | | |
|-----------|-------------------------|
| 4月26日（木） | 学生総会 |
| 4月26日（木） | クラブ顧問会議 |
| 5月15日（火） | スポーツフェスタ |
| 6月16日（土） | 松尾寺駅周辺ボランティア清掃 |
| 7月 3日（火） | 校長フリートーキング |
| 10月 2日（火） | 球技大会 |
| 10月 8日（月） | 舞鶴赤れんがハーフマラソン2018ボランティア |
| 10月13日（土） | 秋の音楽祭in松尾寺 |
| 10月20日（土） | 松尾寺駅周辺ボランティア清掃（雨天中止） |
| 12月19日（水） | 学生総会 |

<クラブ活動>

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| 6月09日（土） | Hondaエコマイレージチャレンジ2018鈴鹿大会 |
| 5月19日（日） | 福井高専との交歓試合 |
| 6月13日（水） | 近畿地区高専体育大会抽選会 |
| 6月30日（土） | 近畿地区高等専門学校弓道大会（綾部） |
| 7月14日（土） | 近畿地区高専体育大会陸上（丹波自然公園） |
| 7月14日（土）15日（日） | 近畿地区高専体育大会バレーボール（舞鶴文化体育館） |
| 7月14日（土） | 全国高等学校野球選手権京都大会 |
| 7月15日（日） | 近畿地区高等専門学校空手道親善試合 |
| 10月27日（土）28日（日） | 全国高等専門学校プログラミングコンテスト（徳島） |
| 10月28日（日） | 高専ロボコン2017 近畿地区大会（東大阪） |
| 11月23日（土）24日（日） | 近畿地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト（名張市） |

- 11月10日（土）11日（日） 全国高等専門学校デザインコンペティション（釧路）
12月22日（日）23日（月） 第9回 全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会
3月30日（土） 第42回関西高専合同演奏会（八幡市）

＜高専祭関係＞

- 10月27日（土） 高専祭市中パレード
11月 1日（木）2日（金） 高専祭準備・前夜祭
11月 3日（土）4日（日） 本祭（一般公開）
11月 5日（月） 高専祭片付・後夜祭

5. 講演会

- 6月11日（月） ネット被害防止講演会（1年生，情報科学センター共同開催）
6月22日（金） 性と健康の大切さ講演会（女子学生，企画室共同開催）
6月21日（木） 薬物乱用防止講演会（5年生）
6月25日（月） 薬物乱用防止講演会（3年生）
10月29日（月） メンタルヘルス講演会（2年生）

6. その他

- 6月11日（月） 第1回いじめに関するアンケート
6月12日（火） 第1回中丹高等学校補導連絡協議会
7月 2日（月） 防災訓練
10月 9日（火） 第2回中丹高等学校補導連絡協議会
11月 6日（火） 平成30年度学生顕彰式
11月30日（金）12月3日（月）4日（火） 通学生アパート訪問
12月10日（月） 第2回いじめに関するアンケート
2月12日（火） 第3回中丹高等学校補導連絡協議会

学 寮 委 員 会

寮務主事 仲川 力

平成30年度の学寮運営の理念および基本方針を以下に示します。

1. 平成30年度 学寮運営の理念

「全人教育（自主性と協調性）」

寮生活を通して1年生、2年生（低学年）は基本的な生活習慣を身に付け、人格陶冶と規則遵守の態度を養う。3年生以上（高学年）は寮生活の経験に基づき友情、相互寛容など人間関係について正しい理解と自主、自律の精神を養う。

2. 平成30年度 学寮運営の基本方針

(1) 勉学と課外活動の拠点としての学寮

- ・低学年の23時完全消灯（ブレーカーダウン）
- ・パソコンゲームの抑制（自習・就寝時間内の禁止）
- ・点呼の厳格実施

(2) 安全、安心、清潔な学寮

- ・避難訓練の実施、原子力防災の啓蒙、防犯講習会実施
- ・二足制の維持、昼食検食、清掃チェック
- ・給食検討委員会（委託業者への要望）、栄養講座実施、寮生以外の寮内立入禁止

(3) 人間性・社会性・公共性を育む学寮

- ・寮生会・指導寮生会等の自主的活動のサポート
- ・ボランティア活動のサポート

(4) きめの細かい学生指導と相談体制の整備

- ・フロアミーティングの実施（適宜）
- ・フロア巡回（適宜）、低学年登校指導
- ・年度途中の1年生の部屋替実施、寮室点検
- ・禁酒・禁煙、低学年アルバイト禁止
- ・担任との連携（早期発見・早期対応）

3. 平成30年度学寮委員会役割分担

表1 学寮委員による活動（*＝責任者）

役 割	担 当	職 務 内 容
寮生会	* 村上 喜友名	寮生会の活動（特に役員会）をサポートする。随時寮生会役員会との会合を持つ。学寮見学を企画・実施する。
指導寮生会	* 牧野 清原	指導寮生会の活動をサポートする。随時指導寮生会との会合を持つ。
給食検討・清掃	* 村上 船木	寮生会生活委員会の活動を、清掃・給食の面を中心にサポートする。給食検討委員会を主催する。1年生対象の栄養講座を実施する。
広報	* 畑 七森	寮生会文化報道委員会の活動をサポートする。鶴友たよりを年2回発行する。学寮HPを維持管理する。
防災・防犯	* 毛利 船木 高倉	寮生会防災委員会の活動をサポートする。防災・防犯に関する寮務を企画する。避難訓練を実施、防犯講習会を実施、AED講習会を実施する。学寮食堂における重食、盗食の防止。
車輛	* 牧野 渡部	寮生会車両委員会の活動をサポートする。車輛許可申請の受付。無許可車輛、駐車違反の取締り、自転車の整理等を実施する。

点呼	* 丹下 室巻	点呼結果の集計及び毎月のパソコン点呼の集計とその改善。
寮室点検	* 毛利 背戸柳	寮室の清掃と整理整頓の指導、違反物品の持込みの取締り等を実施する。
宿日直割当	* 高木	年2回宿日直割当を行う。宿日直割当表作成方法の改善を図る。
特別支援	* 畑	特別支援教育連絡協議会の支援活動をサポートする。

表2 フロア担当

・女子寮	畑・仲川
・2号棟	牧野，喜友名
・4号棟	
・3号棟	丹下，背戸柳，七森
・5号棟	毛利，舩木，高倉
・6号棟	高木，渡部，室巻
・7号棟	村上，清原

○学寮関係行事

- 4月 1日（日） 開寮
- 4月 2日（月） 学寮委員会
- 4月 3日（火） 入寮式（学生の入寮と保護者懇談の開催）
- 4月14日（土） 新入寮生挨拶指導、学生会と寮生会主催による歓迎ドッジボール大会
- 4月19日（木）～5月1日（火）フロアミーティングの実施
- 4月21日（土） 寮生会主催による新入生歓迎会
- 5月15日（火） 防災訓練
- 5月21日（月） 栄養講座
- 6月 7日（木）～6月21日（木）第1回寮室点検
- 6月16日（土） 松尾寺清掃
- 7月16日（月） サマーフェスティバル
- 8月11日（土）、12日（日）オープンキャンパス（学寮施設見学）
- 8月12日（日） 閉寮
- 9月24日（月） 開寮
- 10月 1日（月）～10月15日（月）第2回寮室点検
- 10月10日（水）～10月18日（木）フロアミーティングの実施
- 12月 6日（木） クリスマス企画
- 12月 7日（金）～12月20日（木）第3回寮室点検
- 12月10日（月） 学寮防犯講習会
- 12月11日（月） 近畿国立高専寮務主事会議（明石高専）
- 12月13日（木） 寮生総会（寮生会長、寮生副会長の選挙）
- 12月22日（土） 閉寮
- 12月22日（土） 2018高専女子フォーラムin関西
- 1月 6日（日） 開寮
- 2月 8日（金） 入寮選考結果発表
- 3月 1日（金） 学寮部屋替え
- 3月 2日（土） 閉寮

○学寮委員会等の開催

4月 3日 (月)	第1回学寮委員会
5月15日 (火)	第2回学寮委員会
6月20日 (水)	第3回学寮委員会
9月27日 (木)	第4回学寮委員会
10月25日 (水)	第5回学寮委員会
12月 3日 (月)	第6回学寮委員会
2月 7日 (木)	第7回学寮委員会

※学生指導などに関連し、複数回の主事・主事補会議を開催。

○近畿地区寮務主事会議

平成30年12月11日(火)明石高専に本校および明石高専、奈良高専、和歌山高専の近畿地区国立4高専の寮務主事が集まり、本会議が開催された。

本会議では、協議事項および承合事項について協議と情報交換が行われた。

専 攻 科

専攻科長 川田 昌克

1. 年間活動の概要

専攻科の年間活動の概要を表1に示す。

表1 活動内容

年 月	内 容
平成30年4月	・第1回専攻科委員会 (4/3) ・専攻科総合システム工学専攻入学式 (4/4) ・新入生オリエンテーション (4/4) ・1年生, 2年生研究室配属決定 ・専攻科学生へのTA募集 ・JABEE説明会 (4/24)
平成30年5月	・第2回専攻科委員会 (5/10) ・第3回専攻科委員会 (5/29)
平成30年6月	・特例適用による学位申請説明会 (6/5: 2年生, 6/26: 1年生) ・専攻科推薦特別選抜 (6/17) ・第4回専攻科委員会 (入試委員会と合同) (6/19)
平成30年7月	・第5回専攻科委員会 (7/10) ・専攻科学力選抜試験 (前期) (7/21) ・第6回専攻科委員会 (7/24) ・前期期末試験 (7/31~8/7)
平成30年8月	・特例適用学位申請手続き説明会 (8/7) ・海外インターンシップ学生派遣 (~9月) ・国内インターンシップ学生派遣 (~9月) ・第3ブロック専攻科長会議 (8/31)
平成30年9月	・学修総まとめ科目「履修計画書」の確認 (9/5~9/14) ・特例適用による学位申請入力 (学内締切: 9/27) ・特例適用専攻科変更の届出 (9/28)
平成30年10月	・第7回専攻科委員会 (10/2) ・国内インターンシップ報告会 (ESコース) (10/3) ・特別研究基礎中間発表 (10/4) ・専攻科学力選抜試験 (後期) (10/13) ・第8回専攻科委員会 (入試委員会と合同) (10/16) ・ISTS2018(International Seminar on Technology for Sustainability) 学生派遣 (10/7~10/14) ・国内インターンシップ報告会 (CAコース) (10/26) ・コース長による学生面談 (1年生)
平成30年11月	・第9回専攻科委員会 (11/6) ・海外インターンシップ発表会 (11/8)
平成30年12月	・合同学校説明会での専攻科説明 (12/8) ・第10回専攻科委員会 (12/11) ・近畿地区高専専攻科長会議 (12/17)
平成31年1月	・第11回専攻科委員会 (1/11) ・特別研究発表会 (1/17) ・特別研究論文等提出 (1/25) ・専攻科2年生後期期末試験 (1/28~2/1)

	・特別研究基礎発表会（1/29） ・学修総まとめ科目「成果の要旨」の確認（1/31～2/13）
平成31年2月	・エンジニアリング・デザイン演習成果発表会（2/4） ・第12回専攻科委員会（MDE委員会と合同）（2/6） ・専攻科1年生後期期末試験（2/13～2/22） ・特例適用による学位申請入力（学内締切：2/21）
平成31年3月	・第3ブロック専攻科研究フォーラム学生・教員派遣（名古屋）（3/1） ・第13回専攻科委員会（3/4） ・専攻科修了証書授与式（総合システム工学専攻19名） ・2020年度専攻科学生募集要項配布

2. 専攻科の運営

2.1 専攻科委員会の構成と役割分担

専攻科の活動は専攻科委員会が担い、委員長、教務主事の他、学科・部門から各1名程度の教員および学生課長と学生課長補佐が委員として所属し、教務関係担当職員が事務手続き業務に当たっている。平成30年度の人員構成と役割分担および事務手続き担当職員は表2のとおりである。

表2 専攻科の運営メンバー

氏 名	役 職	主たる役割分担	備 考
川田昌克	委員長	総括	専攻科長
高谷富也		教務関係事項への助言	教務主事
丹下 裕	電気電子システム工学コース長	当該コースの運営、進路指導、教育関係書類の整備、特別研究審査資料等の確認	電気情報工学科
野毛宏文	機械制御システム工学コース長		機械工学科
四蔵茂雄	建設システム工学コース長		建設システム工学科
伊藤 稔		教育関係書類の整備、特別研究審査資料等の確認	電子制御工学科
藤田憲司		TOEIC導入案の検討	人文科学部門
岡田浩嗣		進路指導委員会との連携	自然科学部門 進路指導副委員長（進学）
松梨英輔		事務手続きの承認	学生課長
由良耕士			学生課長補佐
嵯峨信子		事務手続きの実施	学生課職員
富田 誠			教務係長
中川清光			教務係主任

2.2 入学と修了

平成30年度入学者は、総合システム工学専攻15名（電気電子システム工学コース5名、機械制御システム工学コース5名、建設工学コース5名）であった。また、平成30年度修了者は、総合システム工学専攻19名（電気電子システム工学コース13名、機械制御システム工学コース2名、建設工学コース4名）であった。

2.3 入試関係

(1) 2020年度専攻科入学試験（2020年4月入学）から以下の事項を変更することとなった。

- ・推薦特別選抜および社会人特別選抜の出願資格
- ・推薦特別選抜の出願書類
- ・推薦特別選抜および一般学力検査選抜（前期日程）の試験日程
- ・推薦特別選抜および社会人特別選抜における面接方法
- ・外国人留学生特別選抜の廃止
- ・募集要項の配布時期（3月に配布）

- (2) 2021年度専攻科入学試験（2021年4月入学）から、一般学力検査選抜の専門科目出題範囲を変更することとなった。
- (3) 2022年度専攻科入学試験（2022年4月入学）から、学力検査選抜における英語の筆記試験に替えて、TOEICスコア（TOEIC IPを含む）による評価を行うこととなった。

2.4 本科中間試験期間中の短縮授業

期末試験後に試験返却（45分）を行っていることを鑑み、期末試験を実施しない科目を除き、平成30年度より中間試験期間中は45分の短縮授業とすることとなった。

2.5 再履修および追試験

現在、科目の開講時期によって、科目の再履修や追試験の条件が異なっていたため、これを是正するように規定を改正した（平成31年度より実施）。

2.6 特例適用専攻科変更の届出

8月までに平成31年度入学者に対する1年次と2年次のシラバスの提出を担当教員に依頼した。また、従来の紙シラバスを廃止し、Webシラバスに移行した。

平成31年度入学者に係る科目表および学修総まとめ科目担当者変更の届出を9月に行った。今回から手続が簡略化され、修正分のみでの届出となった。12月に当専攻科の届出は認められ、新たに認定された科目表に基づく教育と学位申請が行われることになった。また、学修総まとめ科目（特別研究）担当者の審査結果を各教員に通知した。なお、今回から研究指導補助教員は審査の対象ではなくなり、研究指導補助教員は年度当初に追加申請するよう変更された。

2.7 学位授与申請

「特例適用による学位申請説明会」を6月5日（2年生対象）および6月26日（1年生対象）に実施し、履修単位の確認と書類作成の説明を行った。今年度から、あらたに1年生に対しても実施したが、次年度は、受講登録締切日前の4月に本説明会を実施する予定である。

2年生については、9月に「学修総まとめ科目履修計画書」の確認作業を行い、10月に特例適用による学位申請の手続を行った。また、2月に当該学生に対する履修単位の確認と「学修総まとめ科目成果の要旨」の確認作業を行い、学位申請の手続を行った。そして、特例適用による学位申請に対する大学改革支援・学位授与機構の審査を経て、平成31年3月、申請者全員に「学士」の学位が授与された。なお、通例（従来の学位申請方式）適用による学位の申請はなかった。

3. 学生教育関係

3.1 学生の研修

2018年10月7日から13日にかけてタイのキングモンクット工科大学ラカバン校（KMUTL:King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang）行われた第8回「持続可能な社会構築への貢献のための科学技術に関するセミナー」（ISTS2018）に、機械制御システム工学コース学生1名を派遣した。高専からの参加学生68名をはじめとして日本を含む5の国・地域から総勢188名の学生が参加し、多国籍の学生で構成されたチームがタイの企業からの課題について議論を行い、課題解決策の考案や試作品の製作を行った。本事業を通じ、英語コミュニケーション能力、多様な集団での協働能力などを身につけることができた。

3.2 研究成果の発表

専攻科では、学生が自身の研究成果を積極的に学会等で発表することを奨励している。これは、研究発表技術を涵養するためだけではなく、学外での客観的な評価を受けることによって、研究に関する新たな発見や今後の方向性に繋がるためでもある。今年度の発表件数の内訳を表3に示す（本人発表のみ）。これら18件のうち、優秀な発表として表彰された発表が4件あり、本人だけでなく他の学生へのモチベーションの向上にも寄与している。

また、昨年度に引き続き、第3ブロック専攻科研究フォーラムが3月1日に名古屋で開催され、本校からは1年生が発表を行った（オーラルセッション1件、ポスターセッション10件）。

表3 学外での研究発表件数（第3ブロック専攻科研究フォーラムを除く）

所属コース名	発表件数		
	1年生	2年生	合計
電気電子システム工学	0	7(2)	7(2)
機械制御システム工学	0	3	3
建設工学	4	4	8
合計	4	14(2)	18(2)

※ 括弧内の数字は国際会議（内数）

3.3 インターンシップ

今年度は6名の学生が国内インターンシップに、3名の学生が海外インターンシップに参加した（表4）。これらの学生はインターンシップ報告会で報告を行うとともに、評価に基づいて規程に従って単位認定が行われた。なお、派遣日数が規程に満たない等のケースが3件あった。派遣先と派遣期間は表4-1、4-2のとおりである。

表4-1 国内インターンシップ派遣状況

番号	派遣先	所属コース名	派遣期間
1	TOA株式会社	電気電子システム工学	9/3～9/14
2	日新電機株式会社	電気電子システム工学	8/20～8/31
3	関西電力株式会社	電気電子システム工学	9/3～9/7
4	サントリーホールディングス株式会社	機械制御システム工学	9/4～9/8
5	西日本高速道路株式会社	建設工学	8/13～8/24
6	京都市計画局公共建築部公共建築企画課	建設工学	8/13～8/31

注：番号3、4はインターンシップ期間が規程に満たない等の理由で単位認定されていない。

表4-2 海外インターンシップ派遣状況

番号	派遣先	所属コース名	派遣期間
1	タイ国立キングモンクット工科大学ラカバン校 (KMITL)	電気電子システム工学	8/20～9/2
2	タイ国立キングモンクット工科大学ラカバン校 (KMITL)	機械制御システム工学	8/20～8/31
3	タイ国立キングモンクット工科大学ラカバン校 (KMITL)	建設工学	8/20～9/2

4. 進路状況

平成31年度の進路状況を表5に示す。専攻科の求人状況は好調であり、就職希望者全員が内定をいただいた。また、大学院への進学希望者全員が合格し、前年度と同様、1/3程度が大学院に進学することとなった。

表5 進路状況（平成30年3月）

進路	企業等・大学院
就職	株式会社GSユアサ、大阪市高速電気軌道株式会社、大津市、株式会社カシフジ、島津エス・ディー株式会社、株式会社島津製作所、東芝三菱電機産業システム株式会社、日新電機株式会社、日本信号株式会社、ネクストウェア株式会社、パナソニック株式会社オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社、日立造船株式会社、らいおん建築事務所
進学	大阪府立大学大学院、九州工業大学大学院、九州大学大学院、神戸大学大学院、東京大学大学院、豊橋技術科学大学大学院

5. その他

5.1 第3ブロック専攻科長会議

平成30年度は舞鶴高専を担当校として、8月31日（金）にキャンパスプラザ京都で開催された。協議事項では、「特例認定の学位授与機構の手続き変更に伴う最近の対応状況」、「大学との共同教育プログラムの進捗状況」について議論され、情報共有がなされた。また、承合事項では、「特例適用専攻科関係」、「JABEE関係」、「入試関係」、「履修関係」等について各校の状況が説明された。

5.2 近畿地区高専専攻科長会議

平成30年度は和歌山高専を主幹校として、12月17日（月）に大阪府立大学I-siteなんばで開催された。協議事項としては「①近畿地区専攻科長会議の継続と実施時期」、「②大学との共同教育プログラムの進捗状況」について議論された。①については平成31年度以降も12月に実施することとなった。また、②については9月以降の各校の状況等の情報共有がなされた。承合事項では、「特例適用専攻科関係」、「入試（志願者確保）関係」、「授業・カリキュラム関係」等について各校の状況が説明された。なお、「共同教育プログラム」は「連携教育プログラム」に名称変更となった。

以上

人 文 科 学 部 門

人文科学部門長 児玉 圭司

1. 授業公開

本年度は、児玉圭司教員が1月10日（木）5・6時限「法学」（4年M組）の授業時に実施した。学内評価者は人文科学部門の吉永進一教員（主査）と建設システム工学科の今村友里子教員とが務め、学外評価者を元京都府立高等学校教員・元本校非常勤講師の清水厳三郎先生、及び、いさぎ会館用務員の浦岡雄介先生に依頼した。

2. 英語デー

11月7日（水）、英語教員が実施運営主体となり、クラス担任等の協力を仰ぎ、教務委員会主催の学校行事としてTOEICおよびACEの団体受検を実施した。日頃の学習の成果および英語のリーディング・リスニング能力を評価する目的で、本科1・2年生はACE（Assessment of Communicative English）を、本科3年生から専攻科2年生まではTOEIC（Test of English for International Communication）を受検した。本年度は、本科3・4年生と専攻科1年生が全員受検（受検料無料）で、本科1・2・5年生と専攻科2年生は任意受検で、受検者が受検料の一部を負担した。

3. 英語プレゼンテーションコンテスト

第12回近畿地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテストは、11月23日（金）と24日（土）、近畿大学工業高等専門学校にて開催された（主幹校 近畿大学工業高等専門学校）。

シングル部門	電気情報工学科4年 朝山弘貴
	タイトル：Screenshot Dreams
	電気情報工学科4年 川本孝太朗
	タイトル：Something Stupid
	電気情報工学科3年 小林大輝
チーム部門	タイトル：A Stylish World
	電気情報工学科4年 尾藤大喜
	電子制御工学科4年 藤田優也
	建設システム工学科4年 林幹之
	タイトル：Can You Live with a Robot?

シングル部門では朝山君が5位入賞した。自ら開発した夢日記アプリを主題として、開発にいたる動機、既存のアプリにはない特徴、今後の展望を語り、高専生のみならず多くの聴衆の興味を引きつける発表であった。全国大会出場こそならなかったが、審査員長からはそのユニークなテーマを高く評価された。

チーム部門では、心を持ったロボットと人間の共生をテーマに、その実現可能性、起こりうる問題を掘り下げて探求する発表であった。急遽、尾藤君の欠場により、藤田君と林君の2名での出場となった。規定により審査対象外となったが、事前に録音した音声スマートフォンで出力することで、3名での発表と遜色ない出来栄であった。

なお、英語教員全員が出場者の指導にあたった。

4. 外部資金導入

本年度は、人文科学部門教員で、以下の者が科研費等の外部資金を獲得している。

○吉永進一教員

- ・（研究代表者）基盤研究（C）「雑誌メディアによる戦後日本の秘教運動の宗教史的研究—『日本神学』の変遷を追って」
- ・（研究分担者）基盤研究（C）「日米の新資料による日本仏教グローバル化過程の研究—鈴木大拙を事例として」（代表：守屋友江阪南大学教授）
- ・（研究分担者）基盤研究（C）「実験と伝統—明治・大正期の宗教と心理体験—」（岩田文昭大阪教育大学教授）
- ・（研究分担者）基盤研究（B）「日本新宗教史像の再構築：アーカイブと研究者ネットワーク整備による基盤形成」（菊地暁京都大学人文科学研究所助教）

○畑恵里子教員

- ・(研究代表者) 基盤研究 (C) 「舞鶴市糸井文庫蔵浦島伝説関連資料の基礎的研究」

○牧野雅司教員

- ・(研究代表者) 若手研究 (B) 「廃藩置県をめぐる日朝双方の対応を軸に読み解く近代日朝関係の成立」

○児玉圭司教員

- ・(研究代表者) 若手研究 (B) 「監獄学 (刑事政策学) 継受過程の再検討—「日本の特質」をめぐる言説に着目して」
- ・(研究分担者) 基盤研究 (B) 「近代日本の地域自治一村と大字の法史学的研究—」(代表: 川口由彦法政大学教授)
- ・(研究代表者) 山岡記念文化財団研究助成金「大正・昭和戦前期の監獄法改正事業—山岡萬之助関係文書を用いて」

5. 「地 (知) の拠点整備事業」関連

「地 (知) の拠点整備事業 (大学COC事業)」に関連する講義として、「現代社会と宗教Ⅰ,Ⅱ」(吉永進一教員担当)、「地域学Ⅰ,Ⅱ」(牧野雅司教員担当)、「現代日本の政治・経済と法Ⅰ,Ⅱ」(児玉圭司教員担当)が開講された。吉永教員は、馬場紀寿 (東京大学) 「釈宗演のセイロン留学—伝統知と近代知のはざままで—」と題する講演会を開催した (11月17日、西市民プラザ集会室)。このほか、牧野雅司教員は、大学COC事業を契機として設立された舞鶴高専地域テクノアカデミアの企業見学会・講演会 (11月29日、本校大会議室 (舞鶴市)) において、「丹後の海はどこまでつながる? ~明治時代の2隻の和船~」と題する講演を行った。

6. 日本語検定団体受検及び受賞

6月9日 (土)、11月10日 (土)、日本語検定団体受検を実施した (田村修一教員、畑恵里子教員)。主に1~3年生が受検し、自分の日本語運用能力を測る機会となった。

7. 「伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」への団体応募及び受賞

7月、「第29回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」において、本校の学生合計7名が「佳作」を受賞した。本校の国語の授業 (畑恵里子教員) では、「伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」の応募に取り組んでいる。

【佳作】

- 「陽炎にサンダルのうら重ねてく」(電気情報工学科3年 三浦 世那)
- 「北風が私の元気連れてった」(建設システム工学科3年 中井 美佑)
- 「野良猫の足跡たどる雪の朝」(建設システム工学科3年 田中 詩小)
- 「公園の落ち葉で描く秋の色」(建設システム工学科4年 山崎 宗太郎)
- 「北風ややる気と体温連れていく」(建設システム工学科4年 川上 春菜)
- 「草原に足を並べて見た流星」(電子制御工学科3年 高原 岳歩)
- 「畦道にあお向けで見た流れ星」(電気情報工学科3年 久木田 貴弘)

8. 国税庁「平成30年度 第57回 税に関する高校生の作文」部門の受賞

12月、本校学生は「京都府租税教育推進連絡協議会賞」(題名「税の役割について考えたこと」2年1組 矢野ひかる)、「舞鶴地区租税教育推進協議会長賞」(題名「税の重要性」2年3組 野間純也)を受賞した。本校の国語の授業 (畑恵里子教員) では本応募に取り組んでいる。

授賞式には、学校長をはじめ、人文科学部門長の児玉教員、人文科学部門・国語の田村教員、人文科学部門・国語の畑教員が立ち会い、祝意を述べた。

9. 「放課後教室」の実施

前年度に引き続き、本年度も自然・人文科学部門合同で「放課後教室」を開催した。これは、学生に学習する習慣を身につけてもらうこと、学生が教員に接しやすい環境を整えることを目的としたもので、定期試験の数週間前から週に2回程度、放課後 (16:30~18:00) に1年生の教室を利用して行った。「放課後教室」は今年度を通じて28回開かれ、延べ人数で教員104人、学生308人が参加した。

10. 教員の動き

平成29年度末をもって垂谷茂弘教員が退職された。垂谷教員には、引き続き本年度も嘱託教授として本校で教鞭をとっていただいている。

自然科学部門

自然科学部門長 背戸柳 実

1. 学力向上のための取り組み

(1) 中学数学の復習と数学基礎力診断テスト（1年生対象）

例年と同様に、1年生の中学数学の復習と数学基礎力診断テストを、年度当初の「数学演習IA」の1回目と2回目の授業時に実施しました。このテストによって基礎学力の不足が判明した学生に対しては、その後の「基礎数学I」の授業において授業担当者が特に注意を向けることにしました。

更に今年度は、平成31年4月入学の新入生に対して、入学前の時間を有効に活用することによって、入学後の学習にスムーズに繋がるようにと、入学前の数学の事前課題（宿題）とその解答を奥村先生と岡田先生が作成し、配布しました。

(2) 学習到達度試験「解答と解説」の配布（3年生対象）

学習到達度試験から、C B Tへの移行に伴い、今年度は数学の学習到達度模擬試験を実施しませんでした。例年通り数学教員が共同作成した平成29年度の学習到達度試験についての「解答と解説」（約20ページの冊子）を作成・配付しC B Tの事前準備を促しました。

物理については、3年生はC B Tを実施しないため、今年度は1年生を対象に、C B Tの実施に合わせて復習用のプリントと演習問題を作成・配付し、事前学習を促しました。

(3) 学力向上対策（編入生・留学生対象）

今年度の4年次編入学生は1名、3年次留学生は1名でしたが、学生の希望並びに学科からの要請がありませんでしたので、補習を実施しませんでした。担任からの要請を受けて教科担当者が学習相談を実施し、学習についてのアドバイスをしました。

(4) C B T（1年・2年生・3年生対象）

国立高等専門学校学習到達度試験「数学」・「物理」に替えて、C B T「数学」・「物理」・「化学」を人文科学部門教員、専門学科教員、教務係および情報科学センターの協力を得て、平成31年1月8日（火）～11日（金）にクラス毎に実施しました。具体的には、「数学」については1年から3年の全クラス、「物理」については1年と2年全クラス、「化学」については1年全クラスを対象として実施しました。今年度は学生同士の間仕切りを設けるなど、昨年度のトライアルの経験を生かしてスムーズに実施することができました。

(5) 放課後教室（主に低学年の希望者）

人文・自然科学部門が合同で、学生に学習する習慣を身につけてもらうこと、学生が教員に接しやすい環境を整えることを目的とする「放課後教室」を今年度も実施しました。

具体的には、定期試験の約2週間前から週に2回程度、放課後に人文・自然の教員が数名待機する教室に学生を集めて予復習や試験勉強の学習支援をしました。

今年度の「放課後教室」は年間を通じて28回開かれ、延べ人数で学生308人が参加しました。

2. 子育て交流授業（5年）

今年度も舞鶴市健康・子ども部子ども支援課子育て支援基幹センターと共同で「子育て交流授業」を実施しました。10月16日（火）、17日（水）の2日間の「保健体育」の授業時間において、5年生全クラスを対象として、クラスごとに分かれて2歳前後の乳児と保護者の皆さんと交流をしました。

子育て真最中の保護者の皆さんからお話を伺うことで、学生にとって将来の子育てや家族計画について考える良い機会となりました。

3. KMITL 留学生の受け入れ

今年度、試験的に人文・自然科学部門が KMITL の受け入れを行いました。実際には人文科学部門が主体となって企画・実施したプログラム、日本文化の紹介やそれとの触合い等の補助として、日本映画鑑賞補助、専攻科授業（応用解析、近代物理）体験（留学生も演習に参加。プリント課題への取り組み、専攻科学生と交流）、保健体育（柔剣道の見学、剣道に関しては模造刀を使って実技指導）等に携わりました。

4. オープン・キャンパス

平成30年8月11日（土）、12日（日）のオープン・キャンパスにおいて、本年も人文科学部門と共同での教科書展示の他、授業の板書の抜き書きや曲面模型の展示を行いました。今年度は物理において紙飛行機の重心や光の性質を用いた簡単な工作物などの展示が中学生たちの興味を惹いていました。

5. 授業公開

平成31年1月17日（木）喜友名朝也教員の授業公開を2年2組の微分積分Ⅰの授業に於いて、学外評価者2名と学内評価者2名で実施しました。

6. 人事

- ・平成30年4月1日、宝利剛氏を自然科学部門講師として迎えました。
- ・平成30年4月1日、高倉克人准教授が人事交流で鈴鹿高専から着任されました。
- ・平成31年3月31日、亀谷睦教授が定年退職されます。平成6年から25年間の長きに亘り勤められ、その功績により名誉教授の称号を授与されます。

- ・各教員の校務分担（校務分担表記載のみ）と顧問

教員名	校務分担と顧問
上杉 智子	2年4組担任、教務委員、企画室員、教育プログラム（MDE）委員、国際交流センター運営委員、学生相談室員、COCプロジェクト推進会議委員、吹奏楽部顧問、女子バレーボール部顧問
岡田 浩嗣	学生主事補、専攻科委員、国際交流センター運営委員、進路指導副委員長、軽音楽部顧問
奥村 昌司	教務主事補、1年1組担任、評価委員、FD・ICT部会長、吹奏楽部顧問、柔道部顧問、ボランティア同好会顧問
小野伸一郎	学生主事、評価委員、教育改善委員、情報公開委員、教育プログラム（MDE）委員、留学部会員、危機管理委員、交通対策検討委員会委員長。人権侵害・ハラスメント防止委員会委員長、陸上競技部顧問
亀谷 睦	2年4組担任、情報科学センター運営委員、FD・ICT部会員、教育改善委員長
喜友名朝也	2年2組担任、寮務委員、企画室員、図書館運営委員、ハンドボール顧問
木村 健二	1年3組担任、入試広報部会員、学生委員、学生相談室員、サッカー部顧問、柔道部顧問
背戸柳 実	部門長、寮務委員、情報公開委員、硬式野球部顧問、雪上スポーツ同好会顧問
高倉 克人	寮務委員、広報委員、地域共同テクノセンター運営委員、教育改善委員、バドミントン部顧問
宝利 剛	学生委員、情報科学センター運営委員、剣道部顧問、サッカー部顧問
宮崎 昭仁	図書館運営委員、広報委員、地域共同テクノセンター運営委員、教育研究支援センター運営委員

機 械 工 学 科

機械工学科長 谷川 博哉

1. 年間活動の概要

年 月	活 動 内 容
平成29年4月	・ 新入生対象学科ガイダンス (4/4)
5月	・ プレオープンキャンパス (舞鶴会場、5/13、20) ・ 工場見学 (関西電力株式会社舞鶴発電所、5/14、機械工学科3年生)
6月	・ プレオープンキャンパス (京都会場、6/10) (三田会場、6/24) ・ 出前授業「ノギスの作成と使い方」(若浦中学校、6/21)
7月	
8月	・ オープンキャンパス (8/11、12)
9月	・ 公開講座「考えて動かそう！きみにもできるロボットづくり」(9/8) ・ 公開講座「ノギスの作成と使い方」(9/8) ・ 公開講座「3D-CADを使ってみよう！パソコンで3Dモデル組立て」(9/9) ・ 出前授業「技術・家庭(木材編)～木材にヒントを得た断熱材の形成実験ならびに木工ガジェット製作～」(和田中学校、6/21)
10月	・ 公開講座「ノギスの作成と使い方」(10/8) ・ インターンシップ報告会 (10/10、11機械工学科4年生) ・ 卒業研究中間発表会 (10/18) ・ 公開講座「ペットボトル掃除機をつくってみよう」(10/20) ・ 赤れんがフェスタ出展「MDF材ネームプレートを作成しよう」(10/20、21)
11月	・ 海外研修旅行 (台湾、11/13～17、機械工学科4年生) ・ 工場見学 (一般社団法人日本血液製剤機構、11/16、機械工学科3年生) ・ 出前授業「レーザーカットした材料でそりや動物を作ろう」(やまもも保育園、11/17) ・ 海上自衛隊舞鶴基地 技術職見学 (11/26、機械工学科3年生)
12月	・ 女子中学生一日高専体験会 (12/9) ・ 工場見学 (村田機械株式会社、12/21、専攻科生)
平成30年1月	・ 工場見学 (株式会社椿本チエイン、1/9、機械工学科3年生) ・ 工場見学 (三菱ロジスネクスト株式会社、1/9、機械工学科3年生) ・ 工場見学 (ケンコーマヨネーズ株式会社、1/12、機械工学科2, 3, 4年生) ・ 工場見学 (株式会社堀場製作所、1/15、機械工学科4年生) ・ 工場見学 (株式会社イシダ、1/15、機械工学科4年生) ・ 工場見学 (株式会社ナベル、1/23、専攻科生) ・ 工場見学 (一志株式会社、1/26、機械工学科2, 3, 4年生) ・ 工場見学 (キリンビバレッジ株式会社およびキリンビール株式会社、1/26、機械工学科2, 3, 4年生) ・ 授業公開「加工学Ⅲ」(授業実施者：豊田教員、1/21)
2月	・ 卒業研究発表会 (2/12) ・ 工場見学 (ジャパンマリンユナイテッド株式会社、2/25、機械工学科2年生) ・ 工場見学 (丸玉木材株式会社、2/25、機械工学科2年生)
3月	

2. COC+事業による京都府内企業の工場見学

平成30年11月16日に、3年生27名が一般社団法人日本血液製剤機構の京都工場を見学しました。会社概要の説明を受けた後、3グループに分かれて血漿分画製剤の製造現場を見学しました。高専卒の若手社員の方に作業内容を説明していただく場面もあり、高専生の活躍を身近に感じることができました。

また平成31年1月9日には、3年生30名が三菱ロジスネクスト株式会社の京都工場を見学しました。舞鶴高専OB社員の方から業務内容について紹介していただいた後、2グループに分かれてフォークリフトの製造現場を見学しました。現場見学の最後には3種類のフォークリフトの実演および直接触れることのできる機会をいただきました。

この他にも、多くの企業の協力を得て、12件の工場見学を行い、地域企業に対する見聞を広めるとともに地域志向マインドを高めることが出来たと思います。



一般社団法人日本血液製剤機構の工場見学



三菱ロジスネクスト株式会社の工場見学

3. 地域企業の協力による製品企画の流れの体験

地元企業の協力を得て製品の企画・製作などの流れを体験できる授業を2件行いました。

1 件目は、椿本チエイン株式会社の協力により、椿本チエイン株式会社で開発されたジップチェーンアクチュエータを用いて以下の課題に取り組みました。

課題名：ジップチェーンアクチュエータを用いた装置および未来商品の創造

テーマ：人の動き（生活）を”楽（幸せ）”にする

学生は10班に分かれ、班ごとにテーマに沿った提案を発表しました。投票から3つの班を選出し11月28日（水）に本審査を行いました。本審査における成果発表には、企業技術者の方々にも参加いただき、学生には気づきの少ないコストや強度などの点にも言及頂きました。

2 件目は、オムロン株式会社の協力により、オムロン株式会社綾部事業所で導入されているLCIA（簡便自動化）課題に対する解決設計に取り組みました。具体例として、部品を整列させて供給するルールを設計しました。学生は11の班に別れて装置を考案し、2月1日（金）に考案した装置についてプレゼンテーションを行ないました。発表会では、本校OBの技術者の方からコメントを頂き、また生産コストや加工性についての指摘も受けました。

どちらも学生にとってとても実りの多い実習となりました。



企業技術者とのディスカッション



成果発表

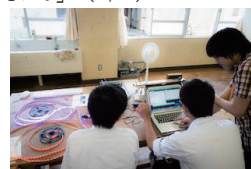
電 気 情 報 工 学 科

電気情報工学科長 片山 英昭

1. 年間活動の概要

電気情報工学科の年間活動の概要を下表に示します。

年 月	内 容
平成30年4月	・新入生を対象としたガイダンス(4/4)
平成30年5月	・プレ・オープンキャンパス(5/13, 20本校)体験学習「スマホでプログラミング体験!」
平成30年6月	・プレ・オープンキャンパス(6/10京都市)体験学習「スマホでプログラミング体験!」 ・プレ・オープンキャンパス(6/24三田市) 体験学習「スマホでプログラミング体験!」 ・出前授業「プログラムで操る楽しさ、イルミネーション・オブジェで実感!!」(6/21、若浦中学校)
平成30年7月	・出前授業「ブロックを使ったプログラミングを体験しよう」(7/2、丹後中学校) ・公開講座「夏休み太陽電池教室 ～太陽電池で遊ぼう～」(7/22) ・公開講座「夏休み太陽電池教室 ～太陽電池を作ろう～」(7/22) ・「創造工学」成果発表会(7/24)
平成30年8月	・オープンキャンパス(8/11、8/12) 体験学習:「振れば絵が出る残像イルミネーション!」「ゲーム開発を体験しよう!」 ・公開講座「夏休み親子工作教室～作って学ぶソーラーカー～」(8/31、大浦会館)
平成30年9月	・パワーエレクトロニクス公開講座「LLCコンバータの基礎から応用まで」(9/1) ・出張! 公開講座 in 三田 「デジタル画像の基礎と電子透かし」(9/8) ・公開講座「操ろう!! 東舞鶴駅イルミネーション」 (9/13、14、18、若浦中学校)(右写真) ・公開講座 in 舞鶴「ゲーム開発を体験しよう!」(9/17)
平成30年10月	・インターンシップ報告会(10/3; 4年生、企業24社、大学等2、平地) ・工学基礎研究の配属を決定(10/4) ・出張! 公開講座 in 亀岡 「デジタル画像の基礎と電子透かし」(10/8) ・電気情報工学科特別講演会(10/11; 電気三学会関西支部主催) 「電磁気学の原理が支えるIoTシステムと生体検知技術」 立命館大学 情報理工学部 教授 前田忠彦氏 ・1年生工場見学(10/10; オムロン綾部事業所)(右写真) ・卒業研究中間発表会(10/16; 上位2名 電気学会主催高専卒業研究発表会3月) ・赤れんがフェスタ出展 (10/20、21)
平成30年11月	・公開講座「クリスマスシーズンにぴったり! キュートなイルミネーション・オブジェの製作(1回目)」(11/4) ・青少年のための科学の祭典出展「プログラミング教室」(11/10) ・4年生研修旅行(マレーシア、引率; 平地、竹澤)(11/13～17) ・東舞鶴駅イルミネーション点灯式(点灯期間11/20-2/20、製作・設置: 3年生工学実験)
平成30年12月	・女子中学生1日高専体験会(12/9) ・授業公開「シミュレーション工学」(公開者: 丹下、主査: 芦澤)(12/10) ・2年生見学会 (12/14: 関西電力原子力サポートセンター) ・公開講座「クリスマスシーズンにぴったり! キュートなイルミネーション・オブジェの製作(2回目)」(12/22)
平成31年1月	・4年生工学基礎研究発表会(1/31)
平成31年2月	・科博連サイエンスフェスティバル出展協力「フルカラーLEDを用いたものづくり」(2/3) ・5年生卒業研究発表会 (2/14)
平成31年3月	・電気学会関西支部主催 高専卒業研究発表会 (3/2) ・パワーエレクトロニクス公開講座「DABコンバータの基礎から応用まで」(3/23) ・出前授業「プログラムによる計測制御」(3月複数回、若浦中学校) ・出前授業「プログラムによる音の計測制御」(3月複数回、若浦中学校)





創造工学発表会



赤れんがフェスタ



東舞鶴駅イルミネーション

2. 学生による学会発表など

電気情報工学科学生の学会発表を下表に示します。また、高専ワイヤレスIoT技術実証コンテスト（総務省主催）のワイヤレスIoT活用部門に、尾藤大喜君と山田成彩君の「スマホでつながる駅前イルミネーション」が採択されました。

年 月	発 表 学 会	発表者
平成30年9月	Japan ATフォーラム2018 in 徳山 「視覚障がい者の横断歩道の歩行を支援するウェアラブルデバイスの開発」	佐藤光
	2018年電子情報通信学会 ソサイエティ大会 「地図情報によって可変する触地図システムの試作」	吉田海斗 荒木雄斗
平成31年 3月	第11回高専パワエレフォーラム 「ヒステリシス制御による高速MPPTの評価」	山本謙太
	平成30年度電気学会関西支部高専卒研発表会 「ヒステリシス制御による高速MPPT制御システムの構築」	山本謙太
	「視覚障害者のための小型触地図システムの開発」	荒木雄斗 吉田海斗
	平成31年電気学会全国大会 「ヒステリシス制御による高速MPPT制御の提案」	山本謙太
	「相互コンダクタンスを考慮した電流不平衡モデルの検証」	山田成彩
	第66回応用物理学会春季学術講演会 「学生実験用シリコン太陽電池のフィンガー電極の検討」	笠岡奎治
	2019年電子情報通信学会 総合大会 「視覚障害者のための上方向障害物検出システムの開発」	小西智裕

3. 電気情報工学科特別講演会

平成30年10月11日(木)に本学科の特別講演会として、電気三学会関西支部主催の「准員および学生員のための講演会」を本校視聴覚教室にて開催しました。講師は立命館大学情報理工学部教授の前田忠彦先生にお願いして、「電磁気学の原理が支えるIoTシステムと生体検知技術」と題してご講演頂きました。学生達は、これまでに開発された生体検知技術について、非常に興味深く聞かせて頂きました。



電気三学会関西支部主催
「准員および学生員のための講演会」

4. 5年生の進路状況

今年度の5年生は在籍者35名で、就職希望者が21名(60%)、進学希望者が14名(40%)でした。

【就職(内定企業)】: オムロン、近計システム、三菱電機通信機製作所、旭化成、アイテック阪急阪神、かんでんエンジニアリング、京セラコミュニケーションシステム、NTTファシリティーズ関西、ミライト、オープンテクノロジー、フードテクノエンジニアリング、日新電機、住友電設、フリー、アイフォーコム、パナソニックコネクテッドソリューションズ、キヤノンメディカルシステムズ、TOA、富士電機、本田技研工業、NHK

【進学(合格先)】: 京都大学、岡山大学、豊橋科学技術大学(4名)、立命館大学、舞鶴高専専攻科(6名)、総合学院ヒューマンアカデミー京都校

5. 教員の人事

4月1日に、パワーエレクトロニクスを専門とする七森公碩助教が着任しました。

電子制御工学科

電子制御工学科長 野間 正泰

1. 年間活動の概要

電子制御工学科の年間活動の概要を下の表に示す。

月 日	活 動 内 容	備 考
2018 年 4 月 4 日	新入生・専門学科ガイダンス	電子制御工学科全教員
5 月 13, 20 日 6 月 10, 24 日	プレオープンキャンパス（舞鶴 2 回，京都，三田）	川田，町田（舞鶴）；川田，野間（舞鶴）；高木，野間（京都）；伊藤（三田）
8 月 11, 12 日	オープンキャンパス・学科展示と体験学習	電子制御工学科全教員，眞柄，畑
8 月 19 日	全日本小中学生ロボコン・舞鶴高専地区大会，公開講座「作ってみよう！ 移動ロボット」（対象：小学生，中学生）	小学生は 11 月 3 日，中学生は 11 月 4 日に競技を実施
10 月 15 日	インターンシップ報告会	対象：3S，4S
10 月 16 日	卒業研究中間発表会	2 会場で実施
11 月 6 日	電子制御工学科特別講演会 「シビック開発にかけた想いと学生の皆さんに伝えたいこと」	講師：（株）本田技術研究所 松本英樹
11 月 13～17 日	4 年生海外研修旅行：ハノイ（ベトナム） ハノイ交通通信大学，エンケイベトナム社	引率：伊藤，高木
12 月 9 日	女子中学生一日高専体験会	女子学生 5 名
2019 年 1 月 11 日	授業公開：材料力学 I（3S）	実施：野間（主査：清原）
2 月 14, 15 日	卒業研究発表会	2 日間にわたり実施
2 月 25 日	創造設計プロジェクト競技会（COC+事業）	オムロン綾部工場より 4 名出席



プレオープンキャンパス（京都）



オープンキャンパス（舞鶴）



公開講座（中学生）



創造設計プロジェクト競技会

2. 教員人事

4 月 1 日付で若林勇太氏が助教として着任された。専門はロボット工学であり，東北大学大学院工学研究科博士後期課程を 3 月に修了された。教育・研究に大いに活躍が期待される。

3. 学科特別講演会

11月6日には、株式会社本田技術研究所主任研究員の松本英樹氏に特別講演「シビック開発にかけた想いと学生の皆さんに伝えたいこと」をお願いした。電子制御工学科3～5年生および教職員が聴講した。シビック開発を例に自動車関連技術について平易に解説され、エンジニアの心得等にも言及された。松本氏は本校機械工学科21期生であり、現行シビック開発責任者として活躍中である。自動車専門誌「CAR GRAPHIC」2019年1月号には、「シビック開発責任者の訊く」と題したインタビュー記事が2ページにわたって掲載された。卒業生の活躍は学生ならびに教職員の誇りとするところである。



特別講演会



特別講演会



海外研修旅行（ベトナム）



海外研修旅行（ベトナム）

4. 女子中学生一日高専体験会

12月7日には、女子中学生一日高専体験会が開催された。学科紹介等には、小谷（5S）、谷貝（4S）、井上（3S）、竹花（2-4）、プラクストン（1-3）の女子学生5名の協力があった。



卒業研究発表会



卒業研究発表会

5. 進路状況（5年生）

最近5年間の進路状況を下の表に示す。本年度の進路指導は5S担任の清原が担当し、就職希望者と進学希望者は全員の進路が確定した。

年度	卒業予定者数	就 職	進 学 (専攻科・大学編入学)	その他 (自営業・専門学校)
平成30年度	37	22	15	0
平成29年度	27	17	10	0
平成28年度	35	18	15	2
平成27年度	33	14	18	1
平成26年度	37	19	18	0

建設システム工学科

建設システム工学科長 加登 文学

1. 年間活動の概要

建設システム工学科の活動概要を下表に示す。

年 月	活 動 内 容
30 年 4 月	・新入生対象専門学科ガイダンス (4/4)
30 年 5 月	・プレオープンキャンパス in 舞鶴 (5/13, 5/20)
30 年 6 月	・プレオープンキャンパス in 京都 (6/10) ・プレオープンキャンパス in 三田 (6/24)
30 年 7 月	・出前授業「防災学習～地震と液状化～」(城北中学校 (7/17))
30 年 8 月	・公開講座「住まいの設計と模型作成」(8/4) ・公開講座「レオナルド・ダ・ヴィンチの橋をつくろう」(8/7) ・オープンキャンパス (8/11～12)
30 年 10 月	・インターンシップ報告会 (10/18) ・卒業研究/卒業設計 中間発表会 (10/11) ・建設技術展 2018 近畿 学校ブース出展 (10/24, 25)
30 年 11 月	・出前授業 「住まいの設計」(城北中学校 (11/1. 15. 19) , 加佐中学校 (1/13)) ・3C 見学会 関西電力原子力研修センター (11/12) ・4C 海外研修旅行 台湾 (高雄, 台中) (11/13～17) ・4C 現場見学会 国立国会図書館関西館新築工事 (11/28)
30 年 12 月	・女子中学生一日高専体験会 (12/9) ・授業公開 玉田教員「構造力学ⅢB」(12/12)
31 年 1 月	・建設システム工学科全体集会 (1/9) ・4C(都市環境コース)現場見学会 舞鶴港第2ふ頭地区岸壁改良工事 (1/11) ・5C(都市環境コース)現場見学会 舞鶴港第2ふ頭地区岸壁改良工事 (1/16) ・出前授業「住まいの設計」(白糸中学校 (1/31, 2/7))
31 年 2 月	・公開講座 「住宅建築模型制作」(2/2) ・特別講演会 岩田信一氏(株式会社中村設計)「「1%への挑戦!」設計者がなすべきもの」(2/6) ・卒業研究/卒業設計 発表会 (2/15) ・まいづる土木・建築フォーラム (2/25)
31 年 3 月	・高専土木系工学教育の諸問題を話す会参加, 和歌山高専 (3/25～26)

2. 教育活動

(1) 4 年生インターンシップ・体験学習

夏期休業中に実施される企業・役所等のインターンシップ, 大学の体験学習に延べ 33 名の学生が参加した。学生はその結果を「インターンシップ報告会」で発表した。

(2) 4 年生海外研修旅行

平成 30 年 11 月 13 日 (火) から 17 日 (土) の 4 泊 5 日で、海外研修旅行として台湾の高雄市と台中市を訪問した。訪問期間中には高雄第一科技大学との交流会(写真-1), 台中国家歌劇院の見学を実施した。

(3) 現場見学会

3C の学生 37 名が関西電力原子力研修センターの見学を行った。4C の学生 37 名が国立国会図書館関西館の新築工事の



写真-1 第一科技大学での交流

見学を行った(写真-2)。4C および 5C の都市環境コースの学生計 39 名は、鶴港第 2 ふ頭岸壁の改良工事の見学を行った。

(4) 建設全体集会

平成 31 年 1 月 9 日(水)に建設全体集会を実施した。4 年生のインターンシップ報告と 5 年生および専攻科 2 年生の進路活動報告が行われた。1 年生から 4 年生が参加した。

(5) 第 7 回まいづる土木・建築フォーラム

平成 31 年 2 月 25 日(月)に当学科主催、舞鶴市共催のフォーラムを舞鶴市赤れんがパーク 4 号棟で開催した。このフォーラムでは、5 年生が卒業研究で取り組んだ地域に関連したテーマを中心に、6 件の口頭発表と 4 件のポスター発表を行った(写真-3)。

3. 学科活動

(1) 公開講座，出前授業

公開講座は住宅建築をテーマに「住まいの設計と模型作成」を 8 月に、「住宅建築模型制作」を 2 月に本校で実施した。また、「レオナルド・ダ・ヴィンチの橋をつくろう」を 8 月に舞鶴市内のショッピングセンターで実施した(写真-4)。出前授業では、7 月に防災をテーマとした授業を城北中学校で実施し、11 月から 2 月にかけて「住まいの設計」を城北中学校、加佐中学校、白糸中学校で実施した。

(2) プレ・オープンキャンパス，オープンキャンパス

舞鶴会場，京都会場，三田会場において、プレ・オープンキャンパスを実施した。本学科の概要(学習内容，進路等)について説明すると共に、授業で取り組んだ学生の建築作品やドローンなど最新の測量機器について紹介した。(写真-5)。

オープンキャンパスでは、都市環境系の実験室を公開すると共に、建築模型など学生の成果品などを展示した。また、体験学習として「篠原一男の住宅作品「白の家」の模型作り」と「レオナルド・ダ・ヴィンチの橋」の制作を実施した。フレンドリーで熱気のコもった説明等、学生の協力と活躍により、参加中学生から高い評価を得ることができた。

4. 進路状況

平成 30 年度卒業生の進路は下表のとおりである。近年は企業や官公庁の採用意欲が旺盛で就職は好調である。

表 平成 30 年度進路状況

コース	就職			進学・編入学			合計
	民間企業	官公庁	小計	専攻科	大学学部	小計	
都市環境	10	3	13	2	5	7	20
建築	8	1	9	2	5	7	16
合計	18	4	22	4	10	14	36



写真-2 国会図書館新築工事見学



写真-3 まいづる土木・建築フォーラム



写真-4 レオナルド・ダ・ヴィンチの橋

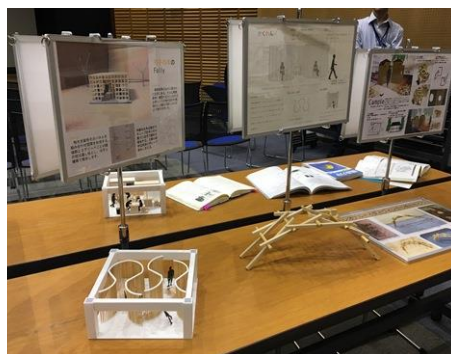


写真-5 プレ・オープンキャンパス展示

図 書 館

図書館長 尾上 亮介

1. 長岡技術科学大学・高等専門学校統合図書館システム（E-Cats）

長岡技術科学大学附属図書館が、全国立高専55キャンパスと連携し、当該システムを管理・運用している。このシステムの最大の特徴（利点）は、同大学にサーバ管理業務を集約し、システム管理やメンテナンス等を同大学が一元的に行っている点である。

なお、現行システムは第3期に当たり、平成29年3月に開始された。

2. ブックハンティング

学生会図書委員長と調整のうえ、今年度も昨年度同様、前期の土曜日（6月9日）に、大垣書店イオンモールKYOTO店で実施した。学生44名（学生会図書委員と留学生及び専攻科生代表）と引率教員が、学習参考書や教養図書等を選書し、215冊（362,749円）を購入した。

学生たちは、本を選ぶ楽しさと共に、各クラス、各学科の代表として多くの学生たちの学習や興味の対象となる書籍を選ぶことを喜んでいるようにも感じた。この活動が、学生たちの図書館活用につながる感じた。

参加者：尾上亮介、中川重康、喜友名朝也、石川一平、山根秀介、荒賀順一、松宮正明

3. 第20回（平成30年度）高等専門学校及び技術科学大学図書館情報交流集会

今年のテーマは「図書館および図書館員による学習支援」で、学生への実質的な支援を目的として、教員や授業と連携する方法や、資料や場所の活用事例について情報交換が行われた。各高専や長岡技術科学大学関係者に加えて、機構本部からも参加があった。

日 時 1日目：平成30年8月23日（木）13:00～17:00

2日目：平成30年8月24日（金）9:00～14:45

場 所 長岡技術科学大学マルチメディアシステムセンターほか

参加者 松宮正明

4. 「舞鶴高専図書館だより（NIT, Maizuru College Library Information）」第97号の発行

今年度は3月に、村上信太郎、畑 恵里子委員（図書館だより主担当）が主導して発行した。

第97号では、「特集 高専の数学を斬る」が掲載された。学生と教員の座談会の記録を掲載した。加えて、学生の読書感想文が掲載されている。

「図書館だより」が、それを手に取った学生・教職員にとって、図書館への興味や関心を喚起する一助になっている。

5. 新1年生向け図書館利用オリエンテーション

4月16日（月）のホームルームの時間に実施した。図書館利用促進を目的とし、蔵書検索の方法及び本の借り方や配架場所などを説明した。

説明者：尾上亮介、松宮正明

6. 研究支援サービス

図書館ホームページ中の「研究支援サービス」のページより、以下の電子ジャーナル及び学術情報データベースを提供している。

(1) 長岡技術科学大学によるコンソーシアムを介して提供しているサービス

・ ScienceDirect, AIP(American Institute of Physics), APS(American Physical Society), JDreamIII

(2) 機構本部によるコンソーシアムを介して提供しているサービス

・ Science, MathSciNet, CiNii

(3) ヨミダス文書館

・ 読売新聞がネットで読めるオンライン・データベース

また図書館で提供（利用）している他のサービスとして、以下のものがある。

(1) 国立情報学研究所(NII)が行っているサービス

- ・NACSIS-ILL（図書館間で行われている相互貸借サービス（文献複写や資料現物の貸借の依頼及び受付）のメッセージのやりとりを電子化したシステム）
- ・ILL文献複写等料金相殺サービス（NACSIS-ILLの料金情報を元にして参加機関同士の利用料金を相殺するシステム）
- ・Webcat Plus(NII図書情報ナビゲータ)
- ・KAKEN(科学研究費助成事業データベース)
- ・JAIRO(学術機関リポジトリポータル)
- (2) その他の機関が行っているサービス
 - ・NDL-OPAC(国立国会図書館蔵書検索、複写・貸借申込みシステム)

ScienceDirectやNACSIS-ILL等の平成30（2018）年における利用件数は以下のとおりである。

- (1) ScienceDirectの利用件数(平成30年1月～12月)

- ・アクセスされたジャーナル数：158誌
- ・アクセスされた論文件数：983件

- ・利用の多い電子ジャーナルのトップ10及びアクセスされた件数

順位	ジャーナル名	件数
1	International Journal of Heat and Mass Transfer	166
2	Renewable Energy	104
3	Journal of Computational Science	52
4	International Journal of Hydrogen Energy	46
5	Soil Dynamics and Earthquake Engineering	31
6	Fuel	28
7	Microporous and Mesoporous Materials	27
8	Solar Energy	26
8	Image and Vision Computing	22
10	Energy	21

- (2) NACSIS-ILLの利用件数(平成30年1月～12月)

- ・文献複写依頼：45件、図書貸借依頼：9件、文献複写受付：11件、図書貸借受付：0件

- (3) 国立国会図書館への文献複写等の依頼件数(平成30年1月～12月)

- ・文献複写依頼：1件、図書貸借依頼：0件

7. 「研究支援サービス」で挙げた資料についての補足説明

- ・ScienceDirect

エルゼビアが提供するデータベース。エルゼビア発行の2,500タイトル以上の電子ジャーナルが搭載され、バックファイルについては、1995年以降のものが収録されている。検索雑誌の本文全てを閲覧できる「フルテキストデータベース」であり、オンライン上での閲覧やダウンロードが可能である。

- ・JDreamIII

JSTより提供されてきたJDreamIIを引き継ぎ、(株)ジー・サーチにより提供されている科学技術や医学などの文献情報検索システム。データベースに収録されている学術論文の抄録等の情報を閲覧することが可能である。

- ・Science

アメリカ科学振興協会(AAAS)発行「Science」誌のオンライン版。1997年以降の本文閲覧が可能である(本校は平成25年1月からコンソーシアムへ参加)。

- ・MathSciNet

米国数学会が提供するデータベース。1940年以降の世界の数学文献情報を包括的に収録。検索した学術論文の抄録及びレビュー等の情報を閲覧することが可能である。

- ・CiNii

国立情報学研究所が提供するデータベース。国内の学術論文情報を中心に収録し、一部の論文に関

しては、本文の閲覧が可能である。



館内風景



1年生向け図書館利用オリエンテーション



ブックハンティング

情報科学センター

情報科学センター長 片山 英昭

情報科学センターには、「教育・研究部門」と「機器運用部門」の2つの部門がある。教育・研究部門では、学术交流に関する講演会、全学生対象のネットワーク講習会、情報科学センター年報の発行などを行っている。機器運用部門は、校内の教育、研究および業務において使用するサーバやネットワーク機器類の維持管理と教育用電子計算機システムの運用を行っている。

1. 教育・研究部門

(1) 情報学センター講演会

情報科学センターでは産官学の技術交流の一環として、学内外の技術者や研究者が一堂に会し、活発に情報交換ができる場を提供するとの主旨のもと、情報科学センター講演会の企画・開催を継続してきており、今回で42回を数えることとなった。本年度の講演内容を表1に示す。

若林勇太助教の講演要旨は、以下のとおりであった。生産年齢人口の減少や賃金の上昇などを背景に産業用ロボットによる工場の自動化が進んでいる。また、日常生活や一般業務の支援など、様々な用途でロボットシステムが利用され、実用化が進んでいる。本講演では、東北大学小菅研究室に在籍中に行った実用化を視野に入れたロボットシステムについて、システムの詳細と実用化を行う際に生じた課題などを説明する。

山根秀介講師の講演要旨は、以下のとおりであった。「哲学」という学問について、皆さんはどのようなイメージをお持ちでしょうか。実生活で役に立たないことについて、ああでもないこうでもない、何の意味があるのかよくわからない理屈をこねまわしている営みだ、そもそもあんなものを「学問」と呼べるのか、といった辛辣なご意見をお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。あるいは、何か深遠なことについて議論しているのだろうが、自分には何のことか理解できないし関係ないと、敬遠されている方もいらっしゃることでしょう。本講演では、これまで哲学者たちによって議論されてきた有名なトピックや思考実験をいくつか取り上げてご説明いたします。それを通して、連綿と続く哲学の歴史のなかで、多くの人々が何をどのように考えてきたのか、哲学は他のもろもろの学問とどのように違っているのか、そして哲学に意義があるとするならばそれはどのようなものか、そのようなことを少しでも皆さんにお示ししたいと思います。講演後、哲学というものもまあ存在してもいいだろうと思っていただけでもつけの幸いですし、いややはりこんなものはダメだと思っていただいても、それはそれで結構です。ともあれ、短い時間だけでも、哲学研究者が日々行っている営為について一緒に考えてくだされば大変ありがたく存じます。

いずれの講演においても活発な質疑応答が行われ、今年度も成功であった。今年の参加者数は昨年より8名増えて、42名となった。この人数を最低でも維持できればと考える。

表1 2018年度情報科学センター講演会

第43回講演会（2018年12月4日（火） 15：00～16：50）

参加者42名（教職員33名、外部聴講者2名、学生2名）

(1) 電子制御工学科 若林勇太助教：

「ロボットシステムの実用化と研究～作業支援システムの紹介～」

(2) 人文科学部門 山根秀介講師：「「哲学」とはどのような学問か」



写真1 若林助教の講演



写真2 山根講師の講演

(2) 情報科学センター年報

情報科学センターでは、情報科学および研究・教育上の有益な情報を提供する機関誌として毎年3月に情報科学センター年報を発行している。本年度は、報文に7件、利用の手引きに3件、各種報告に10件の報告があった。本年報にはISSN（国際標準逐次刊行物番号：ISSN1346-8537）が付与されており、国立国会図書館に保管されるとともにその出版情報が国内外から検索可能となっている。

2. 機器運用・セキュリティ部門

(1) 教育用電子計算機システムの管理・運営

教育用電子計算機システムは、平成29年3月に更新されて丸2年が経過した。大きな障害が発生することなく、4部屋同時使用時のWindows起動においても大きな遅延なく授業や自習にフル活用されている。サーバはハードウェア・ソフトウェアともに障害は発生しなかった。端末はメモリ不良による起動障害が2件、ディスプレイの故障が2件あった。どちらも交換および修理にて復旧している。また、1つの演習室に限り画像転送装置の電源障害が数回発生している。アダプタの差し直しと装置の再起動により毎回復旧しているものの、原因特定には至っていない。

今年度はCBTでも大いに活用された。CBT実施の科目・学年が増え、担当部署では日程調整等に苦労されたと思う。実施にあたっては本システムの端末一斉起動や一斉匿名ログオンの機能を活用することができ、今年度のCBTを無事に終えることができそうである。

一方で、将来検討されているPC演習室削減に対応すべく、学生の持ち込みPCによる授業も試行されているおり、授業開始時などにインターネットへ一斉アクセス時に繋がらない端末が出る問題が見つかっている。

(2) 校内LAN基幹システムの運用

校内LAN基幹システムは、リース・保守期間を1年延長し6年目の運用となったが、大きな障害は発生しなかった。ソフトウェア障害としては、学生用プロキシサーバのプロセスがダウンする障害が1件発生した。プロセスの手動起動後には安定しているため、様子を見ている。本システムは、今年度末にリース・保守期間延長を終了し更新を迎えるため、次期システムの仕様策定と入札を行った。学内サーバを削減すべく、メールサーバと外向きDNSは外部サービスを使用する方向とし、プロキシサーバ等についても若干の見直しを行った。3月末の切り替えに向けて目下更新準備作業中である。

昨年度の夏に導入された高専統一ネットワークシステムにおいても、大きな障害はなかった。比較的影響の少ないサービスのハングアップ、意図しないエラー表示、アンチウイルスソフトの誤検知、証明書の期限切れなどがあったが、業者から提供された案内とパッチの適用で解消している。同時に導入された無線LAN環境も、教職員用・学生用の接続手順書を用意し、学内に展開することができた。また、この無線LAN環境導入でカバーできなかった校舎内外のエリアをカバーすべく、アクセスポイントの増設が計画された。本校教職員によりデモ機を使用して電波強度測定などの現地調査を行い、設置台数と場所を決定した。残念ながら予算の都合上、屋外を含めた構内全域をカバーするには至らなかったが、主要な建屋や学生の利用が見込まれる場所はカバーできたと考える。こちらも3月末にはケーブル工事、機器の設定、設置が完了する予定である。

学術情報ネットワークSINETへの外部接続回線が今年度3月に契約を終える。この回線の仕様策定と入札があり、現行業者が引き続き対応することとなったため、更新時には大きな混乱は無さそうである。

(3) センター内自習室の整備

情報科学センター建屋内に自習室を設け、教育用端末2台とプリンタ2台、自習用デスクを複数台設置し、1台のプリンタは無線LAN環境下に接続して学生の持ち込みPCから印刷できるように整備した。演習室が授業中で使用できない時も、教育用端末と同じ環境を使用した印刷が可能であり、また文字どおり自習ができるため、利用率は非常に高い。また、自習室を含むセンター内の3部屋の入口をガラス窓付きの扉とした。これにより、自習室内の様子も分かるようになり、見通しの良いオープンな環境となり、今までよりも開かれたセンターになったと考える。

3. その他

本稿では、平成30年度の取り組みについて概要を報告した。情報科学センターの取り組みについては、情報科学センター年報第47号を参照して頂きたい。

教育研究支援センター

教育研究支援センター長 篠原 正浩

教育研究支援センターでは、昨年度に引き続いて、教育研究の支援ならびに地域貢献等に関連して、さまざまな取組みを行った。現在、常勤12名体制で職務を遂行している。

以下に、本年度に技術職員が取り組んだ活動および成果について報告する。

1. 教育研究支援

本年度も昨年度までと同様に、実験・実習を中心として教育研究支援の役割を果たしてきた。本年度はその支援の中で得たノウハウや新たな技術を基に、西日本地域高等専門学校技術職員特別研修会（機械系）に1件、平成29年度 全国高専フォーラムに1件、総合技術研究会2019 九州大学に1件、高専技術教育研究発表会in木更津に1件等、その成果を発表し、技術職員としての業績の積み重ねが積極的に行われた。

研究支援においては、卒業研究や受託試験等、技術職員の視点で支援を行っている。

また、各学科で行われている地域貢献や学校PR事業も多数支援し、学科学校運営に大きく貢献している。

2. 公開講座および出前授業

平成30年度は公開講座1件、出前授業1件を行った。受講生の皆さんに、なぜ？と不思議に感じてもらうことや、身近にある材料で作成できることなどを考慮し、公開講座や出前授業用の教材を開発している。当センターの公開講座等WGでは、ものづくりの楽しさを感じてもらおうと同時に、さまざまな科学技術にも触れてもらうことなども考慮し、公開講座や出前授業の教材を開発している。

平成30年8月3日には、教育研究支援センター主催の出前授業「水中UF0キャッチャーをつくろう」を開催した。開催日が夏休みなので、自由研究の題材になりそうな、浮沈子の原理を用いた「水中UF0キャッチャー」と簡単な科学実験を行った。

浮力に関する実験や工作を通して浮力の性質を知り、科学に親しんでもらうことが目的で、プールやお風呂に入るとからだが軽くなることをイメージして、なぜからだが軽くなるのか（アルキメデスの原理）を学んでもらった。また、水中での浮力を調節して浮沈子に輪ゴムを拾い上げる「水中UF0キャッチャー」を作った。浮沈子からパスカルの原理とアルキメデスの原理を遊びながら学んでもらえたと思う。

初めに原理と簡単な実験を行い、「水中UF0キャッチャー」の作成を行った。浮沈子（魚型の調味料入れ）の水の量の調整に苦労しながらも楽しく取りくんでいる様子が見受けられた。科学実験としては、「つかめる水」と「空気砲」を行った。

今回の出前授業が、身近なものにも目を向け、科学に興味を持ってもらうための手助けになればと思う。

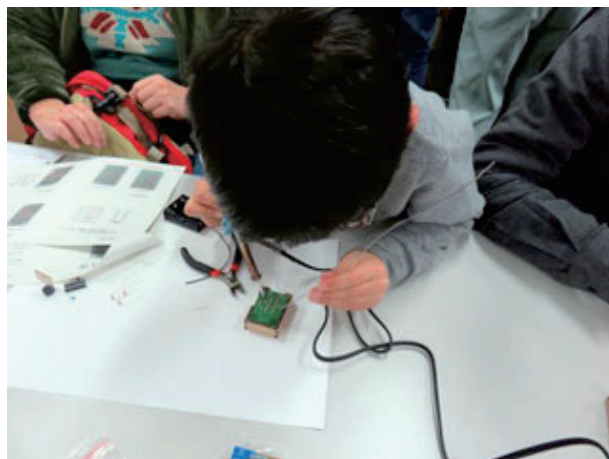
平成30年12月8日には、教育研究支援センター主催の公開講座「カラフルな色でメロディをつくろう～電子オルゴールを組み立てよう～」を開催した。

今回の教材は、光センサを用いて紙に印刷された色を判別し、その色に応じた音を鳴らす電子オルゴールとした。対象物にフルカラーLEDの光を当てて、その時に反射する光の強さをフォトトランジスタで計測することにより色を判別する電子回路を用いている。

初めに、音や光の三原色（赤、緑、青色）、色の判別方法について説明し、その後、はんだ付けや部品組み立て時の要点について説明した。次に、基板に電子部品をはんだ付けして頂いた。はんだ付けが初めての方もおられ、予定より時間がかかる場合もあったが、完成させることができた。



電子工作の間、4名ずつメロディ作成を行った。Excelシートのセル上に音階に応じた色を塗り、紙に印刷していった。その後、メカ本体の組み立てに移った。予めレーザ加工機で加工したMDF（中密度繊維板）材の組立キットから部品を取り出し、輪ゴムを取付けたり、くさびを打ち込んだりする作業を行った。最後に、印刷した紙を本体にセットし、音の確認を行った。



3. 舞鶴工業高等専門学校 技術職員研修

本研修は、技術職員研修で講義・実習・校外学習を実施することにより、他分野を交えた相互啓発の機会を与え、技術系職員の資質向上を図るとともに、自らの見識を広めることを目的としたものである。はじめての開催なので、本校と関係の深い近隣にある高専・大学を中心にお声かけをして、本校教育研究支援センター主催で技術職員研修を開催した。

平成30年度 第1回 舞鶴工業高等専門学校 技術職員研修

開催日：平成30年9月7日（金）

場 所：赤れんがパーク内 赤れんが4号棟 赤れんが工房および海上自衛隊 舞鶴地方隊

参加者：高等専門学校および大学職員

開会に先立ち、本校内海校長の挨拶で幕を開け、本校教育研究支援センター北代副技術長による研修日程の説明があった。午前中は、赤れんがパーク4号棟 赤れんが工房において、本校建設システム工学科加登教授による講義「防災のお話」、本校建設システム工学科毛利講師・教育研究支援センター西村第1部門主任・高本第1部門員による実習「セメントで文鎮をつくろう」を行った。午後からは、海上自衛隊舞鶴地方総監部に移動し、昼食後の校外学習では、海上自衛隊の広報の方を中心に、それぞれの専門の方が、第23航空隊・東郷邸・海軍記念館を説明していただいた。最後は、本校篠原教育研究支援センター長の閉会挨拶で幕を閉じた。本研修は、5の高専・1の大学から38名の参加があった。

4. 活動発表会

平成24年度から実施している活動発表会は、各技術職員が年度の初めに年度目標・計画を立て、年度の終わりに目標・計画がどの程度達成できたかを、教育研究支援センター長および全技術職員に対して発表するものである。この開催により、各技術職員がどのような目標を持ち、どのような姿勢でその目標を達成しようとしているか、どのような問題に直面しているか等、活動状況をお互いが理解し合うことができ、問題解決にあたるヒントを全体で探り出すこともできる。本年度も3月に実施した。

地域共同テクノセンター

地域共同テクノセンター長 玉田 和也

地域共同テクノセンターは地域貢献活動の推進、および地域の企業や官公庁との連携の強化を目的として、種々の活動を実施しています。平成30年度の主な活動内容を以下に報告します。

1. 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）

地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）は、地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）で築いた地域の拠点としての役割と経験を生かして、地域に貢献できる技術力を有する学生を育成し、学生の地域への定着を目指す事業です。地域共同テクノセンターはCOC+事業の推進にも貢献しています。

2. 舞鶴高専地域テクノアカデミア

舞鶴高専地域テクノアカデミアは、本校と地域産業界の連携強化のために設立された企業団体です。地域共同テクノセンターはその活動推進を担当しています。今年度は、7月26日に総会、11月29日に以下の2件の講演会と、国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所様のご協力により、アイ・コンストラクション（i-Construction）の実証現場となっている西舞鶴道路の建設現場見学会を実施しました。

- ・電子制御工学科 清原修二准教授

「室温ナノインプリントによるダイヤモンドの超微細加工ーIoT時代を迎えてー」

- ・人文科学部門 牧野雅司准教授

「丹後の海はどこまでつながる？～明治時代の2隻の和船～」



清原准教授の講演



急斜面の養生の施工状況を見学

3. 舞鶴高専技術通信

舞鶴高専技術通信は、毎年発行している地域共同テクノセンターの機関誌です。平成30年度も3月に発行しました。舞鶴高専の産学官連携活動の状況などを紹介しています。京都北都信用金庫の各支店などで配布していただきました。

4. 展示会

舞鶴高専および教員の研究成果をPRするために積極的に展示会に出展しています。平成30年度は次の3つの展示会に出展しました。

- (1) 建設技術展2018近畿（10月24日、25日）



建設技術展2018近畿

「マイドームおおさか」にて開催、舞鶴高専の学校紹介、学生募集、学科紹介、iMecの紹介などのパンフレットの配布を行いました。多くの進路先企業の皆様と情報交換を行うとともに、舞鶴高専のOB/OGがブースにたくさん足を運んでくれました。また、2日目には「学生のためのキャリア支援～相談にのります、将来への道づくり～」が開催され、専攻科生が参加しました。

(2) 近畿地区7高専マッチング交流会（1月18日）

「クリエイション・コア東大阪」にて開催、学校紹介と研究事例紹介のブースを出展し、多くの企業様にお越しいただきました。

(3) 京都ビジネス交流フェア（2月14日、15日）

「京都パルスプラザ」にて開催、イノベーション連携促進コーナーへ出展し、舞鶴高専の技術や研究を紹介しました。200を超えるブースでの出展があり、商談、マッチングおよびイノベーション連携促進など出会いの場として賑わっていました。

5. 公開講座・出前授業

舞鶴高専では、地域貢献の重要な手段として、公開講座と出前授業に積極的に取り組んでいます。平成30年度は111件実施しました。地域共同テクノセンターは公開講座・出前授業を管轄しており、その推進のための環境を整備しています。



公開講座「光であそぼう」



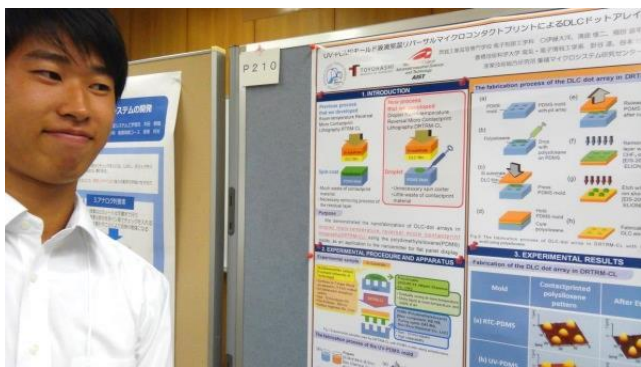
ナノテクノロジー体験教室



手作り顕微鏡の製作

6. ナノテクノロジー教育センター (ntec)

IoT時代を迎えた今、ナノテクノロジーの基礎となる知識と技術が高専においても必要とされており、舞鶴高専地域共同テクノセンター内に「ナノテクノロジー教育センター(ntec)」を立ち上げました。ナノテクノロジー教育センターには、真空蒸着装置、走査型電子顕微鏡（電子ビーム描画可能）、走査プローブ顕微鏡などの装置がクリーンルーム（クラス1000）内に設置されています。現在、4つの研究室が使用しており、得られた研究成果は、日本高専学会第24回年会講演会、THE高専@SEMICON Japan 2018、国際会議ODF' 18 (11th International Conference on Optics-photonics Design & Fabrication) や応用物理学会で発表しました。日本高専学会では優秀ポスター賞、SEMICON Japan 2018ではプレゼン大会準優勝の成果をあげました。



日本高専学会第24回年会講演会



The高専@SEMICON Japan 2018

また、この機器を利用して、公開講座「小・中学生のためのナノテクノロジー体験教室」を開催し、身近なところで活用されているナノテクノロジーの紹介とそれに関する実験を行いました。

今後、ナノテクノロジー教育センターは、ナノテクノロジーの基礎知識の習得の場として、また地元企業に対して最先端のナノテクノロジー（超微細加工技術）に触れる場として産学共同研究の拠点となることを望んでいます。



**IoT時代が求める
先端技術者育成機関**



ntec
ナノテクノロジー
教育センター

ntecとは

ナノテクノロジーに関する
実践的教育施設

ナノテクノロジー教育センターは、
超微細加工技術に関する実践的な教育シ
ステムを達成するため、2018年10月に舞鶴工業高
等専門学校地域共同ナノテクノロジー内に設置され
ました。専攻生や小・中学生、京都北部地域の企
業などを対象にナノテクノロジーに特化した人材
育成を行っています。

**京都北部地域の中核的施設
として地域社会に貢献**

京都北部地域において、ナノテクノロジー
分野の新たな研究が生まれ、その技
術を活用することで、大きな教育研究価値を得ら
れる可能性があります。センターの共同利用設備
とすることで、枠を超えた学術的な融合研究も期待
でき、ナノテクノロジーの中核的施設として地域
社会に貢献します。

ntecビジョン

ナノテクノロジー教育センター
〒625-8511 京都府舞鶴市白雲 234 番地
独立行政法人 国立高等専門学校機構
舞鶴工業高等専門学校内

【募集】 舞鶴駅東口 舞鶴駅 IC から 10 分
【バスで】 JR 舞鶴線 舞鶴駅から 京都交通バス
「舞鶴駅前」に乗り換えて「舞鶴駅西口」下車
【徒歩で】 JR 小浜線「松尾駅」下車 徒歩 25 分

【お問合せ】
舞鶴工業高等専門学校内
ナノテクノロジー教育センター
TEL: 0773-62-5600 (代番)
E-mail: ntec@maizuru-ct.ac.jp

【ホームページ】
<http://www.maizuru-ct.ac.jp/ntec/>

ntec 舞鶴 施設

ナノテクノロジー教育センター
Nano Technology Educational Center

独立行政法人 国立高等専門学校機構
舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

◆ 学校案内図



◆ 校内配置図



舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

《所在地》
〒625-8511 京都府舞鶴市白雲 234 番地
独立行政法人 国立高等専門学校機構
舞鶴工業高等専門学校内

《アクセス》
【車】 舞鶴駅東口 舞鶴駅 IC から 10 分
【バスで】 JR 舞鶴線 舞鶴駅から 京都交通バス
「舞鶴駅前」に乗り換えて「舞鶴駅西口」下車
【徒歩で】 JR 小浜線「松尾駅」下車 徒歩 25 分

《お問合せ》
舞鶴工業高等専門学校内
ナノテクノロジー教育センター
TEL: 0773-62-5600 (代番)
E-mail: ntec@maizuru-ct.ac.jp

《ホームページ》
<http://www.maizuru-ct.ac.jp/ntec/>

ntec 舞鶴 施設

ナノテクノロジー教育センター
Nano Technology Educational Center

独立行政法人 国立高等専門学校機構
舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

ntec

ナノテクノロジー教育センター
Nano Technology Educational Center

独立行政法人 国立高等専門学校機構
舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

**ナノ
テクノロジー
教育
センター**

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

舞鶴工業高等専門学校
National Institute of Technology, Maizuru College

公開講座

国・府内に様々な分野において、創造力のあるグローバルエンジニアとして将来活躍するためには、ナノテクノロジーの基礎的な知識と技術が重要であるという必要が感じられています。

ナノテクノロジーの基礎知識を学ぶためには、基礎、リソグラフィ、ドライエッチング、検査のプロセスが必要で、それに対する装置と士に現在、ナノテクノロジー教育センターには高度先端装置、高度電子技術施設（電子ビーム一括利用型）、走査型プローブ顕微鏡などの最先端装置、リサーチ（20から3000万円）に設置されています。

この実験室の機能を最大限に活用、平成20年度（平成26年度）〜平成22年度（平成28年度）に「ナノテクノロジー体験教室」を実施して冬の期間に開催します。

装置概要

【午前 (13:00~13:40)】

小学生を対象に、理科実験と検査の応用として高度先端装置と最先端電子技術施設（電子ビーム一括利用型）の紹介を行います。最新の装置と最先端電子技術施設（電子ビーム一括利用型）の紹介を行います。

【午後 (13:40~15:30)】

中学生を対象に、電子ビームリソグラフィについて学び、実際に高度電子技術施設（電子ビーム一括利用型）で実験を行います。最新の装置と最先端電子技術施設（電子ビーム一括利用型）の紹介を行います。

装置概要

【電子線3次元顕微鏡と解析装置】

この装置は3次元の物体の形状を、電子線を用いて測定します。最新の装置と最先端電子技術施設（電子ビーム一括利用型）の紹介を行います。

【ドラフトチャンバー】

電子ビームリソグラフィの装置は、ドラフトチャンバーの中に設置されています。最新の装置と最先端電子技術施設（電子ビーム一括利用型）の紹介を行います。

【真空乾燥装置】

電子ビームリソグラフィの装置は、真空乾燥装置の中に設置されています。最新の装置と最先端電子技術施設（電子ビーム一括利用型）の紹介を行います。

授業での取り組み

高度先端装置の最先端電子技術施設（電子ビーム一括利用型）の活用、平成20年度（平成26年度）〜平成22年度（平成28年度）に「ナノテクノロジー体験教室」を実施して冬の期間に開催します。

【電子線3次元顕微鏡と解析装置】

この装置は3次元の物体の形状を、電子線を用いて測定します。最新の装置と最先端電子技術施設（電子ビーム一括利用型）の紹介を行います。

【ドラフトチャンバー】

電子ビームリソグラフィの装置は、ドラフトチャンバーの中に設置されています。最新の装置と最先端電子技術施設（電子ビーム一括利用型）の紹介を行います。

【真空乾燥装置】

電子ビームリソグラフィの装置は、真空乾燥装置の中に設置されています。最新の装置と最先端電子技術施設（電子ビーム一括利用型）の紹介を行います。

装置を用いた研究例

専攻生は先端研究施設と先端研究、5年生は卒業研究、また国内外の学会発表を行った後にナノテクノロジー教育センターを利用します。最新の装置と最先端電子技術施設（電子ビーム一括利用型）の紹介を行います。

【電子線3次元顕微鏡と解析装置】

この装置は3次元の物体の形状を、電子線を用いて測定します。最新の装置と最先端電子技術施設（電子ビーム一括利用型）の紹介を行います。

【ドラフトチャンバー】

電子ビームリソグラフィの装置は、ドラフトチャンバーの中に設置されています。最新の装置と最先端電子技術施設（電子ビーム一括利用型）の紹介を行います。

【真空乾燥装置】

電子ビームリソグラフィの装置は、真空乾燥装置の中に設置されています。最新の装置と最先端電子技術施設（電子ビーム一括利用型）の紹介を行います。

ナノテクノロジー教育センターのパフレット

社会基盤メンテナンス教育センター (iMec)

社会基盤メンテナンス教育センター長 玉田 和也

安全・安心な暮らしには、橋梁やトンネル、高速道路等の社会基盤（インフラ）の適正な維持管理が不可欠です。インフラの老朽化が全国的に問題となる中、市町村では技術力不足のため適切な維持管理が困難な状況にあります。『建設』から『維持管理』へ思考を転換し、インフラの維持管理や修繕等に対応できる人材の育成が急務となっています。

○社会基盤メンテナンス教育センター (iMec) 講習会

iMecでは、e+iMec講習会において、全国の建設系の高専生、行政機関技術職員、民間企業技術者等を対象に、地域インフラを守る建設技術者のためのメンテナンス技術力向上プログラムを実施しています。

e+iMec講習会では、事前学修として講習会2週間前よりeラーニングを行い、iMecでの講習会は体験型学修に重点を置いてアクティブ・ラーニングを行うことで、効率的かつ効果的な教育を行っています。学修ニーズに対応して、橋梁点検、舗装と防水層、コンクリートの品質管理、地盤と斜面、鋼構造物の非破壊検査の講習会を実施しており、今年度はe+iMec講習会を22回開催し、185名が受講しました。また、平成31年3月末時点での累計受講者数は、813名です。

橋梁点検技術者育成のステップアップ型教育プログラムとして、基礎編（橋梁点検）と応用編（橋梁点検）を実施しており、講習会修了後に実施する技術資格認定試験の合格者には、(独)国立高等専門学校機構として技術資格（准橋梁点検技術者及び橋梁点検技術者、橋梁点検技術者は国土交通省登録資格）を認定しています。平成31年3月末時点での資格登録者数は、准橋梁点検技術者269名、橋梁点検技術者は17名です。

“e+iMec講習会”

produced by Infrastructure Maintenance Educational Center



～地域インフラを守る建設技術者のためのメンテナンス技術力向上プログラム～

eラーニングと講習会を組合せたアクティブ・ラーニング（能動的学修）

オンデマンド型自己学修支援システム

- ・講習会前の事前学修
- ・講習会後の継続学修

e-learning + iMec講習会
Active-Learning

社会基盤の維持管理に関する実践的教育施設で座学と体験型学修による効果的な教育を実施

《橋梁点検技術者育成のためのステップアップ型教育プログラム》

e+iMec講習会
【橋梁点検】

応用編

「橋梁点検技術者」認定講座

国土交通省が発注する
全ての橋梁形式の点検業務
を実施できるレベル

基礎編

「准橋梁点検技術者」認定講座

地方自治体が発注する
一般的な橋梁形式の点検業務
を実施できるレベル

導入編

	開催概要	受講実績 (H31.3月時点)		
基礎編	毎年度10回程度 4月～12月に開催 (月1・2回程度) 2日間講習@iMec	行政	94人	410人
		民間	266人	
		学生	50人	
応用編	毎年度2回程度 8月～9月に開催 3日間講習@iMec	行政	15人	53人
		民間	38人	

- (独)国立高等専門学校機構認定技術資格(『准橋梁点検技術者』及び『橋梁点検技術者』)を取得可能
- 『橋梁点検技術者』は国土交通省登録資格(品確技資第170号・品確技資第183号)

技術資格認定登録状況 (H31.3月時点)

准橋梁点検技術者 269人 橋梁点検技術者 17人

舞鶴工業高等専門学校
社会基盤メンテナンス教育センター

○高専生向け教育コンテンツの実証・検証

9月10日（月）から14日（金）の5日間にわたり、i M e c及び舞鶴市内の橋梁現場において、本センターが高専生向けに開発に取り組んでいる橋梁点検に関する教育コンテンツの実証・検証を行いました。検証モニターとして、福島、和歌山、明石、阿南、木更津、舞鶴の全国各地の高等専門学校から計16名が参加しました。舞鶴高専からは、本科5年生3名が参加しました。

1日目に参加者の交流や座学、劣化サンプルを用いた実習を行い、2日目はコンクリート橋の現場実習と維持管理計画立案演習を行いました。3日目に鋼橋の現場実習と非破壊検査の実習を行い、4日目に舞鶴クレーンブリッジでの現場演習と本カリキュラムで実習した内容をプレゼンテーションにして発表しました。5日目に学修到達度確認試験、モニターアンケートを実施しました。試験の合格者は、准橋梁点検技術者として技術資格を認定しました。



○外部研修の受け入れ

（独）国際協力機構（JICA）主催の2018年度JICA研修（都市内道路整備コース）を受入れ、i M e cにおいて「地方自治体における社会基盤メンテナンス人材育成について」の研修会を行いました。1回目（平成30年7月27日）は、インドネシア、イラク、ミャンマー、ネパール、パプアニューギニア、ベトナム、イエメンの7カ国から7名、2回目（平成30年10月4日）は、ナイジェリア、ルワンダ、ウガンダ、エチオピア、タンザニア、カメルーン、リベリアの7カ国から7名が参加しました。研修会では、日本の橋梁の維持管理や技術者教育の実態について講義した後、i M e cのコンクリート教材部材を用いて打音点検や電磁波レーダー法による鉄筋探査、赤外線サーモグラフィによる空洞探査などの体験学習を行いました。

i M e c は、今後もインフラメンテナンス技術者の育成にますます尽力するとともに、予防保全の中核的施設として地域固有のニーズに応え、地域社会に貢献してまいります。



国際交流センター

国際交流センター長 竹澤智樹

1. 海外協定校からの留学生受け入れ（キングモンクット工科大学サマー・トレーニング）

平成 30 年 6 月 11 日（月）から 7 月 14 日（土）にかけて、協定校のタイ王国キングモンクット工科大学（KMITL）の学生 4 名（男子）をインターンシップ生として受入れた。KMITL からの留学生受け入れは、中部日本海高専国際化推進委員会の 5 高専で連携して行っている。

タイ留学生を関西国際空港で竹澤が出迎え、本校に引率後、岡田、藤田、ケイ教員がオリエンテーションを行った。今年度は新しい取り組みとして、人文、自然科学部門の 2 部門が、本校での研修を担当した。日本文化をテーマとし、日本映画鑑賞を中心に研修を行った。また留学生は本校近隣にある企業 2 社（株式会社日進製作所と日東精工株式会社）でも研修を行った。本校では、2 部門での研修に加え、保健体育Ⅲ（畠山教員、斎藤教員）や専攻科の授業を参観した。保健体育Ⅲの参観では、剣道、柔道を体験した。華道部（畑教員担当）では、コーチの田中先生にご指導いただき、華道体験と華道部員との交流の機会を持った。また、市内見学（上杉、今村教員）も実施した。研修の最後に、本校学生、指導教員、教職員等を交え、報告会を行い、内海校長より修了証が授与された。

2. 海外インターンシップ

専攻科 1 年生を対象に、タイとマレーシアで夏季休業期間内の約 2～3 週間で実施する海外インターンシップを計画した。専攻科の各コースから 1 名、合計 3 名の応募があり、全員をタイの KMITL に派遣した。研修期間は平成 30 年 8 月 20 日から 9 月 2 日までで、2 名が工学部に、1 名が建築学部を受け入れられた。



平成 30 年度 海外インターンシップ（タイ KMITL）

Malaysia-Japan International

Institute of Technology (MJIIT)（クアラルンプール）への派遣を希望する学生はいなかった。

3. 海外研修旅行

研修旅行 WG（座長：高谷教務主事）の要請を受け、現地訪問先との連絡調整を行った。国際交流委員の村上、野間、今村教員、竹澤が日系企業等との連絡調整を、藤田教員と竹澤が協定校を含む各大学との連絡調整を行なった。また訪問校における交流のための学生指導を、藤田、ケイ、荒川教員、竹澤が行った。学生は訪問校において、折り紙やけん玉、福笑いなどの日本の伝統的な遊びを紹介し、活発に現地学生と交流した。今年度は新規にマレーシア訪問を計画し、実施した。研修期間は平成 30 年 11 月 13 日（火）から 17 日（土）までで、各学科の主な訪問先、引率者は以下の通りである。なお、今年度もタイのバンコク渡航に対しては外務省から注意が出ていたため、4 年生研修旅行でのタイ KMITL 訪問は見送った。

- ・機械工学科 [台湾]：国立聯合大學，ヤマハモーター台湾（山田教員，西山教員）
- ・電気情報工学科 [マレーシア]：マレーシア日本国際工科院，日本電気硝子マレーシア（平地教員，竹澤）
- ・電子制御工学科 [ベトナム]：国立ハノイ交通通信大学，エンケイ・ベトナム（伊藤教員，高木教員）
- ・建設システム工学科 [台湾]：国立高雄第一科技大學，台中国家歌劇院など（渡部教員，毛利教員）

4. その他の活動

- ・中部日本海高専国際化推進委員会（主幹校、舞鶴高専）

参加高専：長岡，富山，石川，福井，舞鶴高専

- ・「トビタテ！留学 JAPAN」奨学金申請支援（高校生コースに 1 名が応募）

留 学 生 部 会

留学生部会長 高谷 富也

1. 在籍状況について

本年度、本校には国費外国人留学生3名、マレーシア政府派遣留学生1名、モンゴル政府派遣留学生1名の計5名の留学生が在籍しています。所属学科、学年等は次表のとおりです。高専の留学生は、3年次に編入学し、本人が学習を希望する学科に受け入れられます。

平成30年4月現在

名前（通称名）	性別	国 籍	所属学科・学年	入学年度	備考
アーミー	男	タイ	電子制御工学科5年	28	国費留学生
リキ	男	マレーシア	電子制御工学科4年	29	政府派遣留学生
イポリテ	男	ルワンダ	建設システム工学科4年	29	国費留学生
エルデネ	男	モンゴル	機械工学科3年	30	政府派遣留学生
ビー	男	ラオス	建設システム工学科3年	30	国費留学生

平成31年3月には、アーミー君（東北大学に編入学）が卒業しました。

2. 留学生支援について

留学生の勉学及び日常生活を支援するため、本部会（部会長：教務主事）を開催して当該年度の事業計画を協議しています。留学生支援として見学旅行及び交流会の他に、相談員（チューター）等に経費支弁を行っています。

また、留学生用教材の購入、日本語教室の設備充実を図っています。

平成30年度行事

近畿地区留学生交流会：10月6日（土）・7日（日） 1泊2日 当番校：明石高専

竹田城趾見学・姫路城見学・書写山圓教寺見学と写経体験・カマボコ作り体験等

本校参加者：留学生5名、伊藤教員 計 6名（4国立高専参加者 留学生34名、引率教職員 7名）

見学旅行：12月15日（土）・16日（日） 1泊2日

鳥羽水族館見学・ミキモト真珠島散策・伊勢神宮散策・食品サンプル作り体験・サンドブラスト体験

参加者：留学生5名、田村教員、嵯峨学生課員 計 7名

学内交流会：12月18日（火）午後16時30分～ 青葉会館学生食堂

参加者：留学生、チューター、寮生会役員、学生会役員、卒業留学生クラスメート、教職員 約45名

3. 留学生の地域交流について

舞鶴国際交流協会との懇話交流会

6月16日（土）田辺城・西総合会館 4Sリキ、4Cイポリテ、3Mエルデネ、3Cビーが参加

4. 次年度の受入予定について

平成31年度は国費外国人留学生1名（モンゴル）が新たに3年生に編入学することになります。

なお、国費留学生は東京日本語教育センターで1年間日本語の勉強をしてから、本校に入学する予定です。

知的財産委員会

知的財産委員会委員長 玉田 和也

特許セミナーの開催

本科4、5年生を対象とした知的財産セミナーを平成30年11月21日（水）に開催しました。弁理士 後利彦氏および越場 洋氏に知的財産権の紹介（各学科に沿った特許の紹介も含めた具体的な内容）、事例紹介（コンテンツ使用）、きき湯（バスクリン社）の開発と知財権、ミニテスト（講義の内容を踏まえた〇×式のミニテスト）、弁理士の仕事紹介（2名の講師の実務）について講義していただきました。

具体例を交えながら知的財産に関する基礎知識、また社会人になるに当たって最低限必要な特許の知識を学びました。非常に興味深く聞き入る学生が多く、積極的にミニテストに解答する学生たちの姿が見られました。



情報セキュリティ推進委員会

情報セキュリティ推進委員長 片山 英昭

情報セキュリティ推進委員会は、本校の情報セキュリティに関わる専門的及び技術的問題の審議と、情報セキュリティの推進を行うことを目的にしている。

標的型攻撃やフィッシング詐欺など、インターネットにおける脅威は増加しており、最近ではランサムウェアなど新しい脅威も生まれている。また、攻撃対象は企業や個人だけでなく、教育機関を標的とする脅威も増えている。このようなことから、高専機構 CSIRT では脅威や事例を紹介し、各高専に注意喚起を行っている。本委員会では、その学内周知だけでなく、学内で発見された怪しいメールについても、緊急度に応じて注意喚起を行った。また、情報セキュリティインシデント発生時の対応手順（フロー図）を見直し、利用者目線の図に修正し学内に周知した。

学内用ウイルス対策ソフトについては、本校で契約していた ESET 製品から高専機構で一括調達された Trend Micro の法人向け製品に移行するべく、昨年度末から今年度初めにかけてテストを実施し、夏に全面移行した。ESET 製品に比べ重い感はあるが、エンドユーザーのセキュリティ対策に一役買ってくれることを期待している。

高専機構では、IT 資産管理ソフトウェアを使用してソフトウェアを含む情報資産の管理を行っており、ソフトウェア管理規則に基づきソフトウェアライセンスの検査結果を毎年報告することになっている。昨年度より、この IT 資産管理ソフトウェアが株式会社内田洋行の「ASSETBASE」に変更された。検査手順も見直し、教職員の協力の下検査報告を完了することができた。

ソフトウェアのライセンスについて、例年通り Microsoft 製品や教育機関向け無償版 AUTODESK 製品についての問い合わせが多かった。また、情報科学センターで一括管理しているソフトウェアがあり、Adobe 製品もその一つである。Adobe 製品に関しては、TLP や VIP といったライセンス形態での購入相談や購入が数件あった。

Windows 7 は 2020 年 1 月 14 日に延長サポートが終了する。そのため、来年度当初より、OS のアップデートや OS の新規購入を計画的に行ってもらうように依頼したい。

機構本部による情報セキュリティ監査は 2016 年度に行われており、3 年毎の実施が計画されていることから、来年度が監査年度となる。前回監査の指摘事項に対して、これまでに適切に対策を行ってきており、パソコンの持ち込み・持ち出し対策のみが残っている。今後は、情報セキュリティ管理委員会と連携し、実施手順書を整備するとともに、インシデント発生時の対応力を強化していきたい。

企 画 室

企画室長 西山 等

1. 年間活動の概要

舞鶴高専の第3期中期計画に基づき平成30年度計画の策定と、各部門、各学科、委員会等への周知、年度計画の取りまとめ、中間フォローアップ、および年度末の成果の取りまとめを行った。以下に企画室が主として行った代表的な活動を以下に示す。

2. 女子学生交流会

6月21日（木）、女子学生全員を対象に学生委員会と共催で女子学生交流会を開催した。京都教育大学の関口久志氏を講師に迎えて、「あなたのみんなの生と性、もっと大切に、もっと幸せに」という演題で講演いただいた。学生たちにとって、性についての認識を深め、より良い人間関係を築いていくための貴重な指導をいただいた。その後、本校企画室長西山教員から男女共同参画社会における女性のワーク・ライフ・バランスについて説明があった。談話会では学年ごとに各グループで、学校生活を良いよりものにするため、学校設備、学寮、授業、行事等について意見交換を行った。提出された意見を今後の改善に役立てていく。



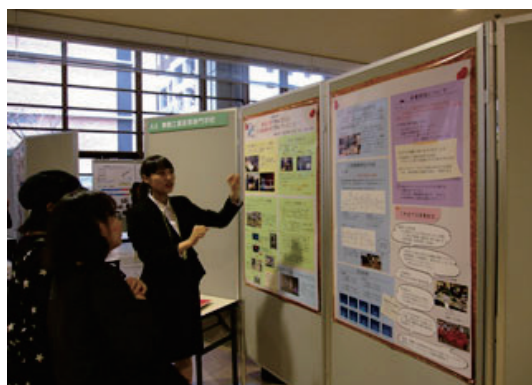
関口久志氏の講演



交流会の様子

3. 高専女子フォーラムin関西の参加および発表

高専女子フォーラムin関西2018は12月23日（日）に近畿大学11月ホールで開催された。（主催：近畿地区高等専門学校7校、代表幹事校：本校）。高専女子フォーラムin関西の目的は、学生支援活動の一つとして、女子学生のキャリア教育の場とするとともに、高専女子学生による研究紹介、学生生活紹介、高専教育紹介を通じて、高専学生の実力を企業関係者や中学生および保護者に向けて発信する場とするものである。本フォーラムでは、近畿地区を中心とした女子高専生約100名が自身の成長・活躍を発表し、また、企業約60社から、男女共同参画等の取り組みを発表していただいた。本校からは、専門教育紹介3件、研究紹介1件、学生生活紹介2件について、合計13名の女子学生が発表した。また、女子学生5名が他高専の学生と協力して運営に取り組み、円滑にフォーラムを終えることができた。



女子中学生・保護者に向けての発表



企業関係者に向けての発表



企業関係者から学生に向けての発表



受付での学生による対応

4. その他：企画室としての会議参加

平成30年度第3ブロック男女共同参画推進推進協議会（平成31年3月7日（木）富山市）

評 価 委 員 会

評価委員会副委員長 四蔵 茂雄

1. 自己点検・評価の実施

平成29年度の本校の年度計画と実績について自己点検・評価を実施し、本校ホームページで自己点検・評価書を公表した。点検項目は、高専機構が定めた第3期中期計画およびこれに基づいて定められた平成29年度計画に対応させて本校で設定した平成29年度計画に記載されている59項目である。

計画通りの活動が行われた案件は56項目、50%を超えているが100%に満たなかった案件が2項目、活動は行われたが計画に対して50%以下の実施となった案件が1項目確認された。

平成30年度の年度計画に基づく実績のとりまとめは平成30年度初めに完了することから平成30年度の自己点検・評価書の完成は平成31年度となる。

2. 外部評価委員会の開催

平成30年度の外部評価委員会委員は下記の学外有識者の皆様に就任していただいた。

長岡技術科学大学	学長	東 信彦 氏
明石工業高等専門学校	校長	笠井 秀明 氏
舞鶴市中学校長会	会長	山口 茂 氏（舞鶴市加佐中学校長）
株式会社日進製作所	総務部長	田中 孝幸 氏
舞鶴市政策推進部	部長	西嶋 久勝 氏
京都新聞舞鶴支局	支局長	多和 常雄 氏
舞鶴工業高等専門学校後援会	会長	番場 隆史 氏

平成30年12月7日に、本校で外部評価委員会を開催した。議題は以下の4項目で、学校長ならびに本校の各担当教員から状況説明を行った。

1. 高専の概要について（内海康雄 校長）
2. 教務、国際交流について（高谷富也 教務主事）
3. 学生支援・寮生活について（小野伸一郎 学生主事）
4. 産学連携について（玉田和也 テクノセンター長）

委員からの質問・コメント等の議事内容は、本校ホームページに掲載される。



校長挨拶



教務・国際交流報告



産学連携報告



高専の概要報告

F D ・ I C T 部 会

FD・ICT部会長 奥村 昌司

本部会は評価委員会の下部組織として、主として教員の授業方法、教育指導等の改善に資する目的で、種々の取り組みを行っている。今年度の部会員（協力職員を含む）の構成と役割分担は表1のとおりである。

表1 FD・ICT部会構成員と役割分担

氏 名	所 属	主たる役割	氏 名	所 属	主たる役割
奥村 昌司	自然	全体の連絡調整	窪田 仁	総務課	総務課連絡調整
吉永 進一	人文	授業アンケート	松梨 英輔	学生課	学生課連絡調整
山根 秀介	人文	教育連絡会議、 授業アンケート	吉田 善弘	総務課	全体事務の掌 握、連絡調整
亀谷 睦	自然	授業アンケート	石井 貴弘	支援センター	授業アンケート 設定及び集計
篠原 正浩	機械	授業アンケート	山崎 基史	教務係（協力）	授業アンケート 設定補助
井上 泰仁	電気情報	教育連絡会議、 授業アンケート	能勢 嘉朗	支援センター （協力）	授業アンケート
町田 秀和	電子制御	授業アンケート			
渡部 昌弘	建設システム	教育連絡会議、 授業アンケート			

1. 授業アンケート・達成度評価の実施

平成25年度から、1)「シラバスに沿う授業だったか」という設問と、2) 教育理念・教育方針の認知状況調査と図書館及び情報科学センターにかかる満足度調査を、それぞれ追加した。また、平成27年度JABEE受審への対応のために平成27年度から、「自習時間の調査」と「COC関係科目の調査」の2項目を追加した。また平成28年度から、他教員の結果も含む本校で開講されている全科目の結果を参考資料として全教員に開示することになった。これは、自分のものだけでなく、他の教員の結果も見ることにより、教員間の議論が促され、学校全体の授業改善に繋がるのではないかと考えることに基づいたものである。

アンケートの実施期間は、前期分が平成30年9月25日～10月24日、後期分は平成31年2月5日～3月8日とした。

2. 授業参観の実施

平成30年7月9日～23日に実施した。全教員は他の教員の授業を一つ以上参観し、その結果を授業参観報告書にまとめ提出した。参観教員は、参観結果に基づいて自身の授業改善に参考になる点について整理できた。

3. 教育連絡会議

平成25年度から教育連絡会議の開催回数を年1回に変更している。年度ごとに主たる検討テーマを設定し、全教員を4つのグループに分けて、11月30日～12月5日にグループごとに会議を開催した。今年度は4グループすべて「31年度からの新カリキュラムとその対応について」をテーマとして討議した。

各グループでは上記の議題のうち一つをテーマとして活発な議論が展開され、それらの結果は各グループの主査から当部会へ報告された。

4. FD・ICT特別講演会

今年度の特別講演会は学生相談室とFD・ICT部会の共催で、8月6日に開催した。

日 時：平成30年8月6日（水） 13:30～14:50

第1部

講演者：後野文雄 氏（舞鶴工業高等専門学校 学生相談室 特命教授）

題 目：「発達障害の理解と具体的な支援のあり方」

第2部

講演者：児玉圭司 氏（舞鶴工業高等専門学校 学生相談室長）

題 目：「本校の特別支援体制と取組事例について ～ 障害者差別解消法への対応を踏まえて」

後野先生は、舞鶴市・京都市・広島市・天津市・伊丹市教育委員会で「学校経営スーパーバイザー」、「特別支援教育アドバイザー」及び全国特別支援学級設置学校長協会参与他様々な分野で活躍されている。本校でも、今年の5月から特別支援教育士スーパーバイザーとして、要支援者個々に対応した学習、社会適応訓練等の立案・助言等にご尽力いただいている。第1部では後野先生に、発達障害とその支援のあり方についてご説明いただいた。第2部では児玉先生に、障害者差別解消法への対応を踏まえて、本校の特別支援体制と取り組み事例について説明いただいた。非常に興味深い話で、今後の本校における教育の改善にむけて大変に参考になった。

5. 授業公開の実施

今年度は表2に示すとおり授業公開を実施した。

表2 授業公開実施内容

番号	授業科目	クラス	実施教員	実施日	主 査
1	総合英語ⅡB	2-1	藤田 憲司	H31/1/10	吉永 進一
2	微分積分Ⅰ	2-2	喜友名 朝也	H31/1/17	背戸柳 実
3	加工学Ⅲ	5M	豊田 香	H31/1/21	西山 等
4	シミュレーション工学Ⅱ	5年 専門選択	丹下 裕	H30/12/10	芦澤 恵太
5	材料力学Ⅰ	3S	野間 正泰	H31/1/11	清原 修二
6	構造力学ⅢB	4C	玉田 和也	H30/12/12	加登 文学

授業を公開した教員は、学内評価者と学外評価者による授業評価、学生の意見および教員や保護者によるアンケート結果を基にして授業改善プランを検討し、報告書を提出した。なお平成26年度から、授業公開時間を従来の75分間から60分間に短縮することにより、従来は90分間の授業コマの終業ベル後に行っていた「授業公開後の主査・学内評価者・学外評価者と授業担当者との意見交換」を、授業コマ内に行うように実施スケジュールを変更した。この変更により、当該授業公開の直後のコマに授業をもつ教員も主査や学内評価者になることが可能になった。平成28年度まで授業公開の実施期間が後期に固定されていた状態に対して、前期科目の授業公開が実施できないことを指摘してその改善を求める声があり、平成29年度から1年ごとに前期後期を交互に実施することになった。今年度は授業公開を後期に実施した。

広 報 委 員 会

広報委員会副委員長 伊藤 稔

広報委員会の活動概要

2018年度の広報委員会の活動概況は次の通りである。

1. 役割分担

学校概要	伊藤稔, 竹澤智樹 (事務部: 総務係)
学校だより	徳永泰伸, 町田秀和 (事務部: 総務係)
紀要	室巻孝郎, 荒川吉孝 (事務部: 学術情報係)
年報	伊藤稔, 宮崎昭仁 (事務部: 総務係)
ホームページ	室巻孝郎, 伊藤稔, 高倉克人, ジョナサン・ケイ, 能勢嘉朗 (事務部: 総務係, 教務係, 学生支援係, 財務係)
写真	町田秀和 (事務部: 総務課)

2. 広報誌等の刊行について

2018年度「学校概要」では、これまでの日本語と英語の併記を取り止めた。また、この変更に合わせて紙面デザインの変更とコンテンツの整理を行った。これから編集作業に入る2019年度版についても、この方針で編集を進めていく計画である。今回取り止めた英語版の「学校概要」については、今後、別の形で作成することを計画している。つづいて、「学校だより」についても紙面デザインの変更とコンテンツ整理などを行った。今年度よりコンテンツに応じた季節感のある紙面デザインへの変更を行った。そして、「紀要」については、広報委員会が担当するのは2018年度が最後となる。今年度の「紀要」については、現在、編集作業中であるが10件の論文が投稿されている。2019年度の「紀要」からは、情報科学センターと図書館が一つとなり新設される学術情報センターが発行を担当することとなる。新しい組織のもとで、教職員の教育研究活動の発表媒体として、今以上に活性化していくことを期待している。

3. 学校ホームページのリニューアルについて

広報委員会の報告として適切でないかもしれないが、学校の基幹系サーバが2018年度末に更新された。今回のサーバ更新では、これまで校内で管理運用してきたWebサーバの更新が行われない。ただし、経過措置として2019年度末まで運用が行われることになっている。このようなことから、広報委員会では学校ホームページのクラウドサーバへの移行とリニューアルについての検討を行った。ホームページのリニューアルにあたっては、CSS+HTML形式の現在のホームページからCMSを導入した形式への変更とスマートフォンなどでの閲覧を想定したデザインへの変更を基本方針として議論を行った。CMSを導入することで、コンテンツの管理・更新作業が簡略化されることが期待できる。また、スマートフォンの普及により、それらに対応したホームページにすることは、入試広報などの側面からも必要不可欠と考えられる。このようなことから、広報委員会では、高専機構が利用しているマイクロソフト社のクラウドサービスAzuruで学校ホームページのテストページを作成し議論を行った。本格的な移行作業は2019年度に行われるが、新しいホームページがメンテナンス性に優れセキュリティ性が高くなり、かつ、舞鶴高専の魅力が中学生や保護者、地域の皆様により伝わるホームページになることを期待している。

4. その他

広報委員会では、例年、学校行事などで写真撮影を行っている。今年度は諸事情により、卒業式の写真撮影を電子制御工学科の高木教員に依頼することになった。広報委員ではないにも関わらず快諾してくれたことに、感謝の意を示します。

教育プログラム (MDE) 委員会

教育プログラム (MDE) 委員会委員長 西山 等

1. JABEE説明会について

本年度は、下記の通り、JABEE説明会を実施した。

4月24日（火）専攻科1年生全員対象：15名参加

4月26日（木）本科5年生専攻科進学希望者対象：33名参加

2. 「総合システム工学」教育プログラム修了生数について

2018年度の「総合システム工学」教育プログラム修了生は、電気電子システム工学コース13名、機械制御システム工学コース2名、建設工学コース4名、計19名である。現在までのプログラム修了生の数を以下に示す。

修了年度	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
プログラム修了生	21	16	17	15	16	18	22	19
専攻科修了生	20	17	17	15	16	19	22	19

3. 教育プログラム (MDE) 委員会の活動記録

○平成30年4月13日（木） 第1回教育プログラム (MDE) 委員会の開催

（協議事項）

1. 他高专からの専攻科入学生の対応について
2. 「舞鶴工業高等専門学校専攻科単位の修得に関する規程」の一部改正案について
3. 委員会及び委員数の削減案について
4. 平成29年度教育点検システムにおける点検項目に関する報告書について
5. 4年生以上の授業に係わる答案・レポートの整理について

（報告事項）

1. JABEE 説明会について

○平成30年6月5日（火） 第2回教育プログラム (MDE) 委員会の開催

（協議事項）

1. 平成29年度教育点検システムにおける点検項目に関する報告書について
2. 規約の改正について
3. 他高专からの入学生の対応について

（報告事項）

1. JABEE説明会について
2. その他

○平成31年2月6日（水） 第3回教育プログラム (MDE) 委員会の開催（専攻科委員会との合同開催）

（協議事項）

1. 専攻科2年生の修了認定について
2. 専攻科2年生の教育プログラム修了認定について

（報告事項）

1. JABEE基準の改訂について
2. 平成30年度教育点検システムにおける点検項目に関する報告書について

4. JABEE 2019年度基準改定説明会への参加

平成30年12月18日(火)に大阪市の大阪大学中之島センターで開催されたJABEE2019年度基準改定説明会に教育プログラム(MDE)委員会委員長が参加した。JABEEは2012年度に認定基準の体系化を含む改定と、新たな自己点検方法や審査方法の適用を行った。その後の認定・審査結果の推移やプログラム・審査員へのアンケート結果等に基づくJABEE内での議論・検討、さらには文部科学省の工学系教育改革の動向やJABEEと認証評価機関との連携など、様々な状況を考慮して、今般、認定基準及び審査規則を改定し、2019年度から適用される。以上のことから、本校の「総合システム工学」教育プログラムも順次対応していく。

進路指導委員会

進路指導委員長	豊田 香
進路指導副委員長（就職）	芦澤 恵太
進路指導副委員長（進学）	岡田 浩嗣

1. 平成30年度の活動報告

1. 1 委員会報告事項、協議事項

○第1回進路指導委員会（平成30年4月2日）

- (1) 進路指導委員会の実施体制について (2) 就職活動について (3) 進学活動について
(4) 報告書の提出方法 (5) インターンシップについて (6) 年間スケジュールについて

○第2回進路指導委員会（平成30年7月11日）

- (1) 予算案について (2) 進路関係スケジュール (3) 進路活動状況
(4) 2年生進路ガイダンスについて (5) インターンシップについて

○第3回進路指導委員会（平成30年9月26日）

- (1) 進路活動状況について (2) 進路活動報告書および就職活動報告書について
(3) 指定校推薦について (4) キャリアセミナーについて (5) 合同学校説明会について

○第4回進路指導委員会（平成30年11月21日）

- (1) 進路活動状況について (2) 会社面談記録について
(3) 進路活動報告書および就職活動報告書について (4) 合同学校説明会について
(5) キャリアセミナーについて (6) 図書購入について (7) 旅費について

○第5回進路指導委員会（平成31年1月24日）

- (1) 進路活動状況について (2) 予算執行について (3) 進路活動報告書および就職活動報告書提出
について (4) 規約等の改正について (5) 進学書籍について

1. 2 進路ガイダンス

今年度の進路ガイダンスの実績を表1に示す。進路選択の動機づけのために、本科2年生でのガイダンスを今年度も実施した。また昨年度と同様に、本校進路指導委員によるガイダンスの他に、外部から講師をお招きして「身だしなみ講座」（本科3、4年生、専攻科1年生対象）および「履歴書作成講習」（本科4年生、専攻科1年生対象）を実施した。

1. 3 合同学校説明会（平成30年12月8日開催）

本科3、4年生と専攻科1年生を対象とする合同学校説明会を本校で開催した。（約140名の学生が参加し、保護者も約50名の参加があった。）今年度は10校（本校専攻科を含む）の参加があった。学生の進路選択にとって有意義な説明会となった。表2に参加校を示す。

1. 4 個別の大学説明会

合同学校説明会とは別に、大学、大学院からの要望に応じて適宜、放課後に単独の説明会を実施している。平成30年度は長岡技術科学大学、九州工業大学、奈良先端科学技術大学院大学および大阪大学（開催日程順）の説明会を実施した。

1. 5 キャリアセミナー（平成30年12月15日、16日開催）

対象は本科3、4年生、専攻科1年生およびその保護者、専攻科進学予定の本科5年生、本科2年生の希望者であり、参加学生数は延べ448名であった。1日目、2日目それぞれ59団体（地方自治体等を含む）、合計で118団体の参加があった。

1. 6 三者懇談会

進路に係る三者懇談会を平成31年3月16日（土）、17日（日）の2日間、実施する予定である。対象学年は本科4年生ならびに専攻科1年生である。

2. 平成30年度の進路状況

2. 1 求人会社数

平成23年度以降、求人会社数は順調に増加し、リーマンショック前の平成19年度、20年度の値を超え、900社を超える企業から求人を頂いている。しかし、今般の社会情勢を考え、企業訪問や企業面談を引き続き丁寧に積み重ねる必要がある。

2. 2 進路状況

本科において、就職希望者の割合が62%、進学希望者の割合が38%である。進学希望者の割合が平成27年度、28年度はおおよそ45%、平成29年度はおおよそ36%であることから、就職希望者が増加傾向にある。

表1 進路ガイダンス

対象	開催日	備 考
本科1年生	H30年 4月12日	新入生合宿研修における講話
	H30年 5月 8日	進路ガイダンス（勉強法）
	H30年 11月6日	進路ガイダンス（勉強法）
本科2年生	H30年 5月 8日	進路ガイダンス（勉強法）
	H30年 7月 9日	進路ガイダンス（昨年の動向とこれからの心構え）
	H30年 11月6日	進路ガイダンス（勉強法）
本科3年生	H30年 6月14日	進路ガイダンス（昨年の動向とこれからの心構え）
	H30年 7月 5日	進路ガイダンス（身だしなみ講座：外部講師）
	H30年10月 3日	進路ガイダンス（5年生の就職活動体験談）
	H30年10月 4日	進路ガイダンス（5年生の進学活動体験談）
	H30年12月 5日	進路ガイダンス（合同学校説明会について）
本科4年生 専攻科1年生	H30年 5月17日	進路ガイダンス（昨年の動向とこれからの心構え）
	H30年 7月 5日	進路ガイダンス（身だしなみ講座：外部講師）
	H30年 7月18日	進路ガイダンス（インターンシップ事前説明会）
	H30年10月 3日	進路ガイダンス（5年生の就職活動体験談）
	H30年10月 4日	進路ガイダンス（5年生の進学活動体験談）
	H30年12月 6日	進路ガイダンス（合同学校説明会について）
	H30年12月13日	進路ガイダンス（キャリアセミナーについて）
	H30年12月20日	進路ガイダンス（ガイドライン・履歴書・進路アンケートについて）
	H31年 1月31日	進路ガイダンス（履歴書作成講習：外部講師）
	H31年 2月25日	進路ガイダンス（就職希望者に対する諸注意）
	H31年 2月26日	進路ガイダンス（進学希望者に対する諸注意）

表2 合同学校説明会参加校（五十音順）

岡山大学（工学部）	岡山大学（理学部）	岐阜大学
九州工業大学	京都工芸繊維大学	電気通信大学（資料配布のみ）
豊橋技術科学大学	長岡技術科学大学	福井大学
和歌山大学	舞鶴高専専攻科	

学 生 相 談 室

学生相談室長 児玉 圭司

1. 学生相談室スタッフ

本年度は、学生相談室長・児玉圭司（人文）のほか、田村修一（人文）、牧野雅司（人文）、上杉智子（自然）、木村健二（自然）、村上信太郎（機械）、井上泰仁（電気）、石川一平（制御）、毛利聡（建設）、松梨英輔（学生課長）、由良耕士（学生課長補佐）、清水智苗美（看護師）、黒田友基（カウンセラー[精神科医]）、中川亜希（カウンセラー[臨床心理士]）、坂口なぎさ（カウンセラー[臨床心理士]）の体制で相談室を運営した。

2. 相談体制・相談件数

昨年度から、自殺予防対策の一環として、臨床心理士のカウンセラーに原則として週3日おいでいただいていたが、今年度はさらに、「学生指導支援体制の再整備」事業に伴い、週に4日程度、カウンセラーの先生にご対応いただける体制を整えた。精神科医のカウンセラーには従来通り月1回（原則として第2週の火・水曜日のいずれか）来ていただいた。

教職員のスタッフによる相談も随時受け付けているが、その大部分は看護師の清水先生に担っていた。

本年度の相談件数は延べ614件、うち教職員への相談件数が286件、精神科医への相談件数が7件、臨床心理士への相談件数が321件であった。件数は、昨年度と比べて減少傾向にある。

3. 「こころと体の健康調査」・「学校適応感尺度調査」の実施

昨年度同様、「こころと体の健康調査」を5月の連休明けに実施した。担任・コース長または学生相談室員が面談を行い、必要に応じてカウンセラーに繋ぐなどの対応をとった。面談対象者は、昨年に比べて増加している。

また、10月には全学生に対して「学校適応感尺度調査」を実施した。本調査は、学生が抱える不安や悩み・問題などを初期の段階から把握し、状況に応じた支援するためのものであり、その実施にあたって本校ではMoodleを利用した。調査結果を踏まえて面談対象者を選定し、139名の学生に対して面談を行った。

4. 教職員研修の実施ほか

本年度は、教職員を対象に以下の研修・講演を実施した。なお、「学生指導支援体制の再整備」事業との関係で、本来の学生相談室業務とは異なるものの、発達障害や特別支援に対する理解を深めるための研修に力を注ぐ形となった。

6月29日（金） 舞鶴高専新任教職員向け研修「学生のメンタルヘルス 危機状況への理解と対応」

講師：坂口なぎさ先生（本校カウンセラー、臨床心理士）

8月6日（月） 「発達障害の理解と具体的な支援のあり方」（FD・ICT部会と共催）

講師：後野文雄先生（本校特命教授、特別支援教育士スーパーバイザー）

10月2日（火） 「学生指導体制の構築と特別支援の実施」

講師：本江哲行先生（国立高専機構学生総括参事）

「気になる学生の理解と支援」

講師：後野文雄先生（本校特命教授、特別支援教育士スーパーバイザー）

5. 学生向けの活動

通常の相談業務以外にも、学生を対象として以下の事業に取り組んでいる。昨年度から実施している「学生相談室 de ティータイム」では、今年度、クリスマスリースの製作や持ち寄った本の交換会などにも取り組んでもらえる場を設けたところ、多くの学生に参加してもらうことができ、学生相談室を身近に捉えてもらう機会となっている。このほか、相談室員の教員について親近感を持ってもらおうと、「相談室員によるブログ」を11月に開設し、月1回の頻度で更新している。

4月13日（金） 新入生合宿研修「舞鶴高専PEER～出会いと回復のピアプログラム」

（本科1年生対象、学生委員会を支援）

7月24日（火） 学生相談室 de ティータイム（企画：中川亜希先生）

- 10月29日（月）「メンタルヘルス講演会」（本科2年生対象、学生委員会と共催）
講師：中川亜希先生（本校カウンセラー、臨床心理士）
11月22日（木） 学生相談室 de ティータイム（企画：坂口なぎさ先生）
2月5日（火） 学生相談室 de ティータイム（企画：中川亜希先生）

6. 各種研究会、研修会、協議会への参加

学生相談に関する研鑽を積むため、また他校との学生相談に関する情報交換のため、下記に示す各種研究会、研修会、協議会に参加した（[]内は参加者名、敬称略）。

- 舞鶴市学校保健会総会
6月25日（月）西総合会館[児玉]
- 平成30年度府立高等学校両丹地区保健研究協議会第1回総会・研究協議
7月2日（月）京都府立峰山高等学校[児玉、由良]
- 第56回舞鶴市学校保健研究大会・三師懇談会
8月25日（土）舞鶴市総合文化会館[由良]
- 第15回全国国立高等専門学校学生支援担当教職員研修
9月13・14日（木・金）国立オリンピック記念青少年総合センター[児玉]
- 第62回京都府学校保健研究大会
11月8日（木）宇治市文化センター[由良]
- 平成30年度児童生徒の自殺予防に関する普及啓発協議会
11月8日（木）滋賀県庁[児玉]
- 近畿地区高専カウンセリング連絡協議会
11月30日（金）ホテルアウリーナ大阪（本年度主管校：和歌山高専）[児玉、清水]
- 近畿学生相談研修会
12月1日（金）同志社女子大学[児玉]
- 平成30年度第1回府立高等学校両丹地区保健研究協議会
12月3日（月）京都府立峰山高等学校[清水]

入 試 広 報 部 会

入試広報部会長 山田 耕一郎

1. 平成30年度役割分担

平成30年度の役割分担を次の表（敬称略）に示す。

業 務	責任者	
中学訪問 入試説明会	川田	木村（OC・POとの連携） 内海（パンフレット・HPとの連携）
パンフレット チラシ 冊子	内海	木村（OCとの連携） 野毛（POCとの連携）
オープンキャンパス（OC） プレオープンキャンパス（POC）	木村（OC） 野毛（POC）	山田（主に、学生委員会管轄に関すること） 牧野（主に、寮務委員会管轄に関すること）
キャンパスウォーク 女子中学生体験会	牧野	野毛（H29年度アドバイザー） 木村（主に、学生委員会管轄に関すること） 牧野（主に、寮務委員会管轄に関すること）
新入生アンケート	野毛	川田 牧野（分析・各種業務へのフィードバック）
出前授業 公開講座	川田	丹下（E科担当・テクノとの連携） 徳永（C科担当） 川田（S科担当）
HP（入試広報）	内海	牧野（広報委員会との連携）
各種説明用PP	川田	木村（OCとの連携） 野毛（POCとの連携）
ポスター・刊行物	徳永	木村

2. プレオープンキャンパス

プレオープンキャンパス開催、参加人数について以下の表に示す。

	日 時	場 所	参加生徒数	参加保護者数
舞鶴	H30.5.13（日） 午前 9:00～12:00 H30.5.20（日） 午後 12:30～16:00	本校	H30.5.13（日）午前 28名 H30.5.13（日）午後 33名 H30.5.20（日）午前 37名 H30.5.20（日）午後 37名	31名 36名 41名 41名
京都	H30.6.10（日） 12:30～16:00	京都テルサ	88名	133名
三田	H30.6.24（日） 13:00～15:30	さんだ市民センター	29名	41名

3. オープンキャンパス

オープンキャンパス開催、参加人数について以下の表に示す。

	日 時	場 所	参加生徒数	参加保護者数
1日目	H30. 8. 11 (土) 8:30～15:20	本 校	218名	303名
2日目	H30. 8. 12 (日) 8:30～15:20		203名	312名

4. 中学校訪問

中学校訪問について以下の表に示す。

	期 日	訪問校数	備 考
第1期	～H30. 5. 9 (水)	73校	湖西 (6), 湖北 (9), 但馬 (19), 丹後 (11), 中丹 (14), 舞鶴 (7), 嶺南 (7)
第2期	～H30. 6. 1 (金)	134校	湖東 (8), 湖南 (16), 湖北 (4), 大津 (12), 京都市・山城 (82), 南丹 (12)
第3期	～H30. 6. 15 (金)	43校	阪神北 (21), 丹波 (12), 北播磨 (10)
第4期	～H30. 7. 13 (金)	38校	湖北 (2), 湖東 (10), 京都市・山城 (17), 東近江 (9)

5. 学校説明会

個別に中学校から依頼を受け、23校の中学校で学校説明会を行った。

6. 入試説明会

9～12月にかけて本校、京都、三田、守山、大津、亀岡、豊岡、福知山で中学生、保護者、中学教員、塾講師向け入試説明会を計12回行った。全体で、生徒199名、保護者253名が参加した。

7. その他の入試広報イベント

その他の主な入試広報イベントについて以下の表に示す。下の表の他に、公開講座等を行い、それらのイベントにおいて学校説明を行った。

イベント	日時	場 所	参加生徒数	参加保護者数
高専祭キャンパスウォーク	H30. 11. 3 (土) 10:30～ H30. 11. 4 (日) 10:30～	本 校	58名 37名	81名 62名
女子中学生一日高専体験会	H30. 12. 9 (土) 13:10～15:15	本 校	31名	33名

教育改善委員会

教育改善委員会委員長 亀谷 睦

教育改善委員会は、本校の継続的改善システムを円滑かつ効果的に機能させるための活動を行っている。具体的には、教育プログラム（MDE）委員会および評価委員会でCHECKされた事項についてACTIONを行う役割であり、当委員会が必要と認めるときは、各学科・部門及び他の委員会に提議、付託または協力要請を行うことができる。今年度実施した事項を以下に挙げる。

1. 平成29年度の教育プログラム（MDE）委員会の教育プログラム点検結果について

教育プログラム（MDE）委員会で作成された「平成29年度教育点検システムにおける点検項目に関する報告書」について第1回委員会（7月3日開催）において審議し、単なる誤植の類いは当委員会において修正し、確認が必要と判断されたものについては各点検部署宛に修正依頼を行った。それらの回答内容はその後のメール審議（7月30日～8月8日）に付された後、それらの修正を含む点検結果が、完成版として本校の教職員用グループウェアdesknet's NEOに掲載された。

2. 評価委員会副委員長からの相談案件について

10月5日に、評価委員会副委員長から教育改善委員長あてに1件の相談があった。

その内容は、評価委員会の下部組織であるFD-ICT部会が行なっている授業アンケートを受けて各授業担当教員が提出する「分析」「授業改善策」に関して、（学生とのフリー・トーキングにおいて）「授業アンケートで授業の問題点を指摘したがその後どうなっている」との学生の意見を聞いた校長から、実際に提出された授業改善策を実行したかどうかのフォローアップがないのは問題ではないかという指摘があり、その改善を教育改善委員会で取り扱ってこないかというものだった。

そこで、委員長として以下のように回答した。当委員会の協議事項として「継続的な教育改善システムに関すること」とある（当委員会規則）のは確かであるが、相談された内容はシステムの問題ではなく、むしろ改善策を提出した（あるいはしていない）教員個人の資質の問題であるし、そうであれば、評価委員会が該当教員への個別指導方法を考えるべきであり、それを教育改善システムに求めるのは筋が違うと感じられる。

この回答を受けて、評価委員会副委員長は校長に今回の相談結果を伝えることになった。

交通対策検討委員会

交通対策検討委員長 小野 伸一郎

1. 校内の駐車場および標識の整備

学生委員会から、学生と外来者駐車場の区分を示すライン明示と校内交通標識の更新の強い要望があった。これを受け駐車場および標識について検討し、整備することとなった。

安全衛生委員会

安全衛生委員会委員長 事務部長 桑原 豊

本委員会は、教職員の安全管理及び衛生管理の向上を図るため（舞鶴工業高等専門学校安全衛生管理実施規程 第11条）に設置されており、重要な事項について調査、審議を行っている。今年度の委員会構成は以下のとおりである。

表1 平成29年度安全衛生委員会構成

職 名	氏 名	任 期	備 考
事務部長	桑原 豊		一号委員：委員長
医師	西村 正人		二号委員：産業医
事務職員	中村 仁美		三号委員：衛生管理者・副委員長
総務課長	窪田 仁		四号委員：安全管理者、五号委員
看護師	清水智苗美		六号委員
教授	亀谷 睦	H30.4.1～H31.3.31	七号委員：自然科学部門
教授	片山 英昭	H30.4.1～H31.3.31	七号委員：電気情報工学科
講師	毛利 聡	H30.4.1～H31.3.31	七号委員：建設システム工学科
技術職員	福井 繁雄	H30.4.1～H31.3.31	七号委員：教育研究支援センター
総務係長	芦田 康弘		オブザーバー
総務課課長補佐	岸脇 智英		オブザーバー

1. 定期巡視の実施

委員（産業医、オブザーバーを除く）8名を4班に分け、例示されたチェックポイントを目安に、学内の定期巡視（毎週1回）を実施した。なお、学内をA～Eの5地区に分けて、各班が順に各地区を担当するように計画した。巡視結果は委員会に報告され、定例委員会で審議された。

2. 定例委員会の開催

毎月1回定例の委員会を開催することを基本とし、各班からの巡視結果について審議した。審議結果は、昨年度に引き続き、保留、連絡（調査）、連絡（対策）の三つに分けて対応した。「連絡」と判断された事項については、該当部署または該当教職員に通知した。「保留」は学校としての対応が必要と判断した事項で、施設係を中心に検討していただいた。また、定例委員会では毎回、西村産業医より、本校における健康管理および健康の保持増進に関するコメントをいただいた。

3. 安全衛生環境の改善

定例委員会で審議された事項について、当該部署や事務部へ連絡・調整を行った。これにより、安全衛生環境が改善された。本年度は、安全衛生に関するリスクの定量化（リスクアセスメント）について検討を行い、巡視において試行的に指摘事項の定量化を実施した。

4. ストレスチェックの実施

本校教職員を対象にストレスチェックを実施し、約95%の教職員が受検した。京都大学環境安全保健機構健康科学センター長・川村 孝教授の協力を得て、本人申し出に基づく面接指導も行われた。

人権侵害・ハラスメント防止委員会

人権侵害・ハラスメント防止委員長 小野 伸一郎

1. 人権侵害・ハラスメント防止講演会

9月19日（水）、教職員を対象に、福岡ともみ氏（株式会社京都ウィメンズカウンセリング京都 講師）による講演会「ハラスメント攻略法～防ぎ方と対処の仕方～」を実施し、67人が参加した。

緊急連絡／安否確認システムワーキンググループ

座長 高谷 富也

本ワーキンググループは、危機管理委員会の下部組織として、緊急連絡／安否確認システムの管理・運用およびシステムを用いた訓練を継続的に行っている。今年度のワーキンググループの構成員を表1に示す。

今年度は、学生及び教職員を対象とする、本システムを用いた安否確認訓練を、7月2日（水）に実施した。実施までの手順は例年とほぼ同様であり、①特活で担任から訓練実施について説明していただく、②アドレス変更した者は再登録をするよう担任から指導していただく、③緊急連絡が正常に送受信できない者は相談窓口（情報科学センター）へ行くよう担任から指導していただく、である。手順③について、以前の訓練では、登録確認のメールを学生に一斉送信し、正常に送受信できない者のリストをクラス別に集計し、担任より相談窓口へ行くよう指導していただいた。昨年度より、安否確認訓練の案内直前に緊急連絡メールを送信していた場合には、クラス毎のリストも作成せず、緊急連絡メールが受信できなかった学生に相談窓口に行くように指導していただいている。今年度も4月末に「クマの目撃情報」の緊急連絡を行ったため、送信の確認メールは送付しなかった。

表2は今年度の安否確認訓練結果である。訓練における返信率は85.9%であり、昨年度の6月実施の78.6%と比較して7.3%増加しており、年度当初の実施としては3年連続で増加している。今年度は避難訓練と同じ日に安否確認訓練を実施したことにより対象者の訓練に対する意識が高くなったことと、避難訓練終了時の講評において安否確認訓練の返信状況を報告したことが、返信率の向上につながったと考える。このように意識向上の取り組みを継続していければと考える。また、学生と教職員ともに返信率は増加しており、昨年度の実施において事務職員の返信率が減少したことに対する対策が功を奏している。学生の返信率では、学生全体平均87%に対して2年生が81%と低くなっている。昨年度までは3年生が低くなる傾向があったが、今年度は92%と学年ごとでは2番目に良くなっている。一方で、4年生が84%と2年生の次に低くなっており、昨年度からの改善があまりみられない。これらのことより、学年による特徴があるのではないかと考えられる。

緊急連絡／安否確認システムは、現在のところ、警報発令などに伴う休講情報などの緊急連絡、および授業アンケート実施など全学生への周知などに利用されている。災害発生時などに学生の安否確認や緊急連絡がスムーズに行える環境を維持しておくために、安否確認の訓練は継続して実施する必要がある、来年度以降も訓練を毎年実施していきたい。来年度より1年次の全学科共通科目「情報リテラシー」が各学科科目となることより、安否確認訓練システムの使用方法などの説明を該当授業で行ってもらうことが必要である。そのうえで、今年度と同じ時期に実施することが良いと考える。ただし、今年度も2回目の訓練を実施していないため、来年度の早い段階で、登録されたメールアドレスにデータ送信可能か確認を行う必要があると考える。

表1 緊急連絡／安否確認システムワーキンググループ構成員

氏 名	所 属	氏 名	所 属
高谷 富也	座長、危機管理副委員長、教務委員会	芦澤 恵太	学生委員会
町田 秀和	広報委員会	片山 英昭	情報科学センター
窪田 仁	総務課	松梨 英輔	学生課
福井 繁雄	教育研究支援センター	能勢 嘉朗	教育研究支援センター

表2 安否確認訓練結果

実施日	対象者	対象人数	返信有	返信無	無効回答
7月2日	学生	841名	729名 (86.7%)	112名 (13.3%)	2名 (4.4%)
	教職員	164名	134名 (81.7%)	30名 (18.3%)	1名 (2.5%)
	合計	1,005名	798名 (85.9%)	142名 (14.1%)	3名 (4.1%)

学科・部門別教員一覧 (平成31年3月現在)

人文科学部門

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
荒川 吉孝 (修士〔文学〕)	特任教授		①総合英語ⅡA, ⅡB ⅢA, ⅢB, ⅣB, ⅤA ②現代英語Ⅰ	英文学	①シェイクスピア喜劇 ②ジェイムズⅠ世の『悪魔学』
垂谷 茂弘 (修士〔文学〕)	嘱託教授		①人間論Ⅰ, Ⅱ ②哲学 ③宗教と「こころ」Ⅰ, Ⅱ	宗教と心理学	①ユング思想 ②力動精神医学の思想史的位置づけ
吉永 進一 (修士〔文学〕)	教授		①総合英語ⅠA, ⅠB ⅢA, ⅢB, ⅣB, ⅤA ②現代社会と宗教Ⅰ, Ⅱ	近代宗教史	①近代仏教 ②近代の秘教思想
田村 修一 (博士〔文学〕)	教授	・学級担任(1-4)	①現代文Ⅰ, Ⅱ ②総合国語ⅡA, ⅡB ③日本語ABCDEF ④日本文化論	日本近代文学	①芥川龍之介 ②阿部知二 ③日本近代文学史
児玉 圭司 (修士〔法学〕)	教授	・人文科学部門長 ・学生相談室長	①法学 ②経済学 ③現代日本の政治・経済と法Ⅰ, Ⅱ	法制史 (日本近代)	①行刑(監獄制度)史 ②刑事法・刑事政策史
畑 恵里子 (博士〔文学〕)	准教授	・学級担任(2-3) ・寮務主事補	①総合国語ⅠA, ⅠB ②総合国語ⅡA, ⅡB ③国語国文Ⅰ, Ⅱ	日本古典文学	①日本古典文学 ②リメディアル教育
藤田 憲司 (修士〔文学〕)	准教授	・学級担任(2-1) ・学生主事補	①総合英語ⅡA, ⅡB ⅢA, ⅢB, ⅣB, ⅤA ②現代英語Ⅱ	英文学	①18世紀イギリス詩 ②批評理論
Kay, Jonathan-David Robert (学士〔文学〕)	准教授		①英会話ⅠA, ⅠB ②総合英語ⅢA, ⅢB ⅣA, ⅣB, ⅤA, ⅤB	International Political Economy	Maintenance of Welfare State Legitimacy in Social Democratic Societies (e.g. Denmark, Sweden, Norway)
牧野 雅司 (博士〔文学〕)	准教授	・寮務主事補	①日本史 ②世界史Ⅰ, Ⅱ ③地域学Ⅰ, Ⅱ	日本近代史 対外関係史	①幕末維新期の日朝関係 ②地域史料の保存と活用
山根 秀介 (修士〔文学〕)	講師	・学級担任(1-2)	①総合英語ⅡA, ⅡB ②総合英語ⅢB ③総合英語ⅣB ④総合英語ⅤA	近代哲学	①ウィリアム・ジェイムズ ②現代フランス哲学

自然科学部門

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
背戸柳 実 (修士〔理学〕)	教授	・ 自然科学部門長	①微分積分Ⅱ,Ⅲ ②応用数学 ⅡA,ⅡB	①微分代数 ②p進解析	①常微分方程式の Liouville 解 ②冪級数解のp進収束 半径
小野 伸一郎 (学士〔教育学〕)	教授	・ 学生主事	保健体育Ⅰ,Ⅳ,Ⅴ	①運動生理学 ②運動方法学	①運動制御に対する 呼吸・代謝と不安心 理 ②身体活動と健康
亀谷 睦 (博士〔理学〕)	教授	・ 教育改善委員長 ・ 学級担任(2-4)	①基礎数学Ⅲ ②微分積分 Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ ③応用数学 ⅠA,ⅠB	微分方程式	①複素領域における 偏微分方程式 ②KAM理論
上杉 智子 (博士〔理学〕)	准教授	・ 理科主任	①物理ⅠA,ⅠB ②物理ⅢA,ⅢC ③応用物理Ⅰ,Ⅱ ④近代物理学 ⑤防災リテラシー	①素粒子論 ②初期宇宙論	①宇宙論的相転移の 解明 ②宇宙磁場,物質の起 源
宮崎 昭仁 (博士〔理学〕)	准教授		化学ⅡA,ⅡB, ⅢA,ⅢB	①分析化学 ②錯体化学 ③社会地球化 学 ④環境化学	①新機能性リガンド のトポロジーを用 いたナノテクノロ ジー ②物質移動の社会地 球化学的地域研究
高倉 克人 (博士〔理学〕)	准教授		化学ⅠA,ⅠB	①有機化学 ②界面化学	①自己複製するベシ クルの構築 ②微小疎水反応物を 用いた有機化学反 応の開発
岡田 浩嗣 (博士〔理学〕)	准教授	・ 学生主事補 ・ 進路指導委員会副 委員長(進学)	①基礎数学Ⅰ,Ⅱ ②応用数学 ⅡA,ⅡB	①微分方程式 ②力学系 ③特異摂動論	①反応拡散系におけ る内部遷移層と界 面のダイナミクス ②特異摂動法の非局 所方程式への応用
奥村 昌司 (博士〔理学〕)	准教授	・ FD・ICT部会長 ・ 教務主事補 ・ 学級担任(1-1)	①基礎数学Ⅰ,Ⅱ ②数学演習Ⅱ ③微分積分Ⅰ	①非線形方程 式 ②微分幾何学 ③数理物理	自己双対方程式のパ ンルベ解析

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
梅垣 浩二 (修士〔体育学〕)	准教授			スポーツバイ オメカニクス	ハンマー投げの加速 のメカニズムとその 技術
木村 健二 (修士〔体育学〕)	講師	・学級担任(1-3) ・体育主任	保健体育 Ⅰ, Ⅱ, Ⅳ, Ⅴ	①スポーツバ イオメカニ クス ②トレーニング 科学	素早く移動方向を変 更させるためのスト ラテジーに関する研 究
喜友名 朝也 (博士〔数理学〕)	講師	・学級担任 (2-2) ・数学主任	①基礎数学Ⅲ ②微分積分 Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ ③数学演習Ⅱ ④応用解析1, 2	整数論	①保型形式環 ②保型微分方程式
宝利 剛 (博士〔理学〕)	講師		①物理ⅡA, ⅡB ②物理ⅢB, ⅢD ③応用物理 Ⅰ, Ⅱ	相対論	ブラックホール時空 の数理

機械工学科

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
西山 等 (博士〔工学〕)	教授	・企画室長 ・教育プログラム(MDE)委員長 ・学級担任(3M)	①創造演習 ②工作実習Ⅰ ③機構学 ④流れ学Ⅰ,Ⅱ ⑤機械工学実験Ⅱ ⑥知能機械工学 ⑦医工学 ⑧計算機援用工学 ⑨制御工学Ⅰ ⑩卒業研究	①流体力学 ②生体力学	①エアリフトポンプに関する研究 ②生物模倣工学に関する研究
篠原 正浩 (博士〔工学〕)	教授	・教育研究支援センター長	①創造演習 ②工作実習Ⅱ ③材料力学ⅡA,ⅡB ④機械工学実験Ⅱ ⑤材料力学Ⅲ ⑥設計工学 ⑦卒業研究 ⑧弾塑性力学 ⑨材料強度学 ⑩特別実験 ⑪エンジニアリング・デザイン演習	①材料力学 ②複合材料工学	①自己融着による熱可塑性コンポジットの修復について ②熱可塑性樹脂複合材料の二次加工が力学的特性に及ぼす影響
谷川 博哉 (博士〔工学〕)	教授	・機械工学科長	①入門機械実習 ②情報処理Ⅱ ③材料力学ⅠA,ⅠB ④機械工学実験Ⅰ ⑤創造設計製作 ⑥設計製図Ⅳ ⑦流体力学 ⑧卒業研究 ⑨流体力学 ⑩特別研究基礎	流体力学	①振動重力場における流体の挙動 ②集風体に関する研究
豊田 香 (博士〔工学〕)	准教授	・進路指導委員長	①設計製図ⅡA,ⅡB ②設計製図Ⅲ ③機械設計法Ⅰ ④機械設計法Ⅱ ⑤熱工学 ⑥加工学Ⅲ ⑦工作実習Ⅱ ⑧システム設計学 ⑨卒業研究 ⑩特別研究基礎	①エネルギー工学	膜沸騰熱伝達の研究

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
山田 耕一郎 (博士〔工学〕)	准教授	・入試広報部会長 ・学生主事補 ・学級担任 (4M)	①入門機械実習 ②加工学I, II ③工作実習II ④創造設計製作 ⑤機械力学I, II ⑥機械工学実験I, II ⑦卒業研究 ⑧設計製図III	①計算力学 ②材料力学	①ねじの疲労試験 ②ねじ焼入れの強度に関するシミュレーション
小林 洋平 (博士〔工学〕)	准教授	・教務主事補	①テクニカルドローイング ②計測概論I, II ③マリンエンジニアリングI, II ④機械工学実験I ⑤卒業研究 ⑥プラント工学 ⑦特別実験 ⑧特別演習	熱流体工学	①浮体式洋上風車に関する研究 ②廃炉ロボットの研究
野毛 宏文 (博士〔工学〕)	准教授	・機械制御システム工学専攻コース長	①機械工学実験I ②熱力学I, II (3, 4S) ③熱力学I, II (4M) ④工業英語 ⑤エネルギー環境学 ⑥エネルギー工学 ⑦卒業研究	熱工学	パーム酸油を燃焼用燃料として有効利用するための研究
村上信太郎 (博士〔工学〕)	講師	・寮務主事補	①機械工学実験I ②設計製図IIA, IIB ③情報処理I ④工学基礎 ⑤数学演習 ⑥力学基礎I, II ⑦卒業研究 ⑧特別実験	①熱流体工学 ②数値流体力学	マイクロスケール圧縮性流れの流動・伝熱
室巻 孝郎 (博士〔工学〕)	講師	・学級担任 (5M)	①機械工学実験II ②設計製図III ③入門機械電気電子情報工学 ④システム工学 ⑤電気工学I, II ⑥制御工学II ⑦卒業研究 ⑧特別演習 ⑨動的設計論 ⑩特別研究	①数値最適化 ②システム工学	①FA機器の開発 ②福祉機器の開発

電気情報工学科

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
平地 克也 (博士〔工学〕)	特任教授	・学級担任 (4E)	①電子回路Ⅱ ②アクチュエータ工学 ③電気機器Ⅰ・Ⅱ ④電気情報工学実験 ⅢA・ⅢB ⑤エネルギー工学Ⅰ ⑥工学基礎研究 ⑦卒業研究 ⑧特別研究	パワーエレクトロニクス	インバータ, DC/DCコンバータ, UPS等各種電力変換装置の研究
金山 光一 (博士〔工学〕)	特任教授		①防災リテラシー ②電気情報工学実験 ⅠA・ⅠB ③電気磁気学Ⅰ ④通信工学Ⅰ・Ⅱ ⑤創造工学 ⑥工学基礎研究 ⑦卒業研究 ⑧特別実験 ⑨電子デバイス工学Ⅰ ⑩技術者倫理	①電子デバイス工学 ②超音波エレクトロニクス	①圧電デバイスの研究 ②非破壊検査技術に関する研究 ③センサーに関する研究
中川 重康 (博士〔工学〕)	教授		①インターフェースⅠ・Ⅱ ②アナログ信号処理Ⅱ ③デジタル信号処理 ④電気情報工学実験 ⅡA・ⅡB ⑤創造工学 ⑥工学基礎研究 ⑦卒業研究 ⑧特別実験 ⑨パワーエレクトロニクス ⑩特別研究	①電力工学 ②太陽エネルギー利用	①日射量予測を導入した太陽光発電・蓄電システムの開発 ②日射量モデルの評価に関する研究
片山 英昭 (博士〔工学〕)	教授	・電気情報工学科長 ・情報科学センター長	①情報理論 ②数値解析実習 ③創造工学 ④工学基礎研究 ⑤過渡現象論 ⑥情報システム論 ⑦電気情報工学実験 ⅣA・ⅣB ⑧卒業研究 ⑨特別実験 ⑩情報工学 ⑪特別演習 ⑫特別研究	①情報システム工学 ②視覚情報処理	視覚障害者用歩行支援システムに関する研究

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
竹澤 智樹 (博士〔理学〕)	教授	・学級担任 (3E) ・国際交流センター長	①電気情報工学実験ⅠA・ⅠB ②交流回路Ⅰ・Ⅱ ③回路理論 ④創造工学 ⑤工学基礎研究 ⑥電気磁気学Ⅱ・Ⅲ ⑦電磁気計測 ⑧卒業研究 ⑨特別研究	物性物理学	第一原理電子状態計算による物性評価 ・物質設計 ・超伝導 (Pd, Fe) ・高圧物性 (水素)
船木 英岳 (博士〔工学〕)	准教授	・学級担任 (5E)	①コンピュータグラフィックス ②ネットワーク論Ⅰ・Ⅱ ③電気情報工学実験ⅢA・ⅢB ④工学基礎研究 ⑤オペレーティングシステムⅠ・Ⅱ ⑥卒業研究 ⑦ネットワークシステム論 ⑧エンジニアリングデザイン演習 ⑨特別研究	情報システム工学	①複数ARマーカを用いたソフトウェアの開発 ②Kinectを用いた障がい者支援ツールの改良 ③視線を用いたコミュニケーションツールの開発
内海 淳志 (博士〔工学〕)	准教授	・教務主事補	①電気概論 ②電気回路 ③電気情報工学実験ⅡB ④アナログ回路 ⑤電子工学Ⅰ・Ⅱ ⑥創造工学 ⑦工学基礎研究 ⑧半導体工学 ⑨卒業研究 ⑩電磁気応用工学 ⑪特別実験 ⑫特別研究	①光電子工学 ②半導体工学	①近接場光応用技術の開発 ②電子デバイス教材の開発
芦澤 恵太 (博士〔理学〕)	准教授	・学生主事補 ・進路指導委員会副委員長 (就職指導)	①情報基礎 ②電気概論 ③C言語 ④アナログ信号処理Ⅰ ⑤C言語実習 ⑥電気情報工学実験ⅡA・ⅡB ⑦画像工学 ⑧工学基礎研究 ⑨卒業研究 ⑩特別研究基礎 ⑪特別研究	①画像処理 ②数値調和解析	①画像圧縮アルゴリズムの開発 ②ギブス現象軽減に関する研究

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
丹下 裕 (博士〔工学〕)	准教授	・専攻科コース 長 ・寮務主事補	①創造工学 ②工学基礎研究 ③伝送工学 ④シミュレーション 工学Ⅰ・Ⅱ ⑤電気情報工学実験 ⅣA・ⅣB ⑥卒業研究 ⑦応用通信工学 ⑧特別研究	医用生体工学	①癌温熱治療装置の開発 ②障がい者支援に関する 研究
井上 泰仁 (博士〔工学〕)	准教授	・学生主事補	①工学基礎 ②情報数学 ③ディジタル回路 ④論理回路 ⑤電気情報工学実験 ⅢA・ⅢB ⑥工学基礎研究 ⑦卒業研究 ⑧医療工学	情報科学	膜タンパク質の機能予測
七森 公碩 (博士〔工学〕)	助教		①電気機器Ⅰ・Ⅱ ②電気情報工学実験 ⅠA・ⅠB ③創造工学 ④工学基礎研究 ⑤電気情報工学実験 ⅣA・ⅣB ⑥エネルギー工学 Ⅰ・Ⅱ ⑦卒業研究	パワーエレクトロニクス	①GaN, SiCの電力変換器応 用 ②半導体並列接続駆動に 関する研究

電子制御工学科

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
野間 正泰 (博士〔工学〕)	教授	・電子制御工学科長	①力学Ⅱ ②材料力学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ③水力学Ⅰ・Ⅱ ④計測工学Ⅰ ⑤機械工学実験 ⑥卒業研究 ⑦流体工学特論 ⑧エンジニアリングデザイン演習	①トライボロジー ②可視化情報計測	①テラー渦とキャビティ流れの相互作用 ②移動物体まわりの流れの可視化 ③簡易風洞装置の設計製作と理科教育への適用 ④トライボロジー実験教材の開発
仲川 力 (博士〔工学〕)	教授	・寮務主事	①情報処理Ⅲ ②CAD演習ⅠB ③電子制御実験 ④創造設計プロジェクト ⑤CAD演習ⅡC ⑥卒業研究 ⑦特別演習	機械工学	①クローラ走行体の走行性能に関する研究 ②人工筋肉の開発
川田 昌克 (博士〔工学〕)	教授	・専攻科長	①工学基礎 ②制御工学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ③数値計算法 ④制御工学Ⅰ・Ⅱ(5E) ⑤制御工学実験 ⑥卒業研究 ⑦システム制御工学 ⑧特別研究	制御工学	①数値最適化による制御系解析／設計と実システムへの応用 ②制御工学教育のコンテンツ開発
伊藤 稔 (博士〔工学〕)	教授	・学級担任(4S) ・広報委員会副委員長 ・教務主事補	①情報処理Ⅰ・Ⅱ ②メカトロニクス演習 ③情報学 ④画像処理 ⑤電子制御実験 ⑥卒業研究 ⑦知識情報工学 ⑧特別実験	ソフトコンピューティング	①進化計算の工学的応用 ②SLAMに関する研究
町田 秀和 (博士〔情報工学〕)	准教授		①計算機工学Ⅰ・Ⅱ ②電子制御実験 ③創造設計プロジェクト ④電子回路Ⅴ ⑤CAD演習ⅡB ⑥卒業研究 ⑦信号処理特論 ⑧制御工学特論	①ハードウェア(IC)実現 ②ディジタル信号処理	①2重ループPLL/PWMモータコントローラの解析と実現 ②PWM/PDM-1bit信号演算処理のFPGA実現 ③Java言語によるWebベースの教育システム(CAI)の開発 ④DSPによるリアルタイム信号処理

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
清原 修二 (博士〔工学〕)	准教授	・学級担任 (5S)	①電子制御実習Ⅰ・Ⅱ ②電子工学Ⅰ・Ⅱ ③電気磁気学Ⅰ・Ⅱ ④ディジタル電子回路 ⑤卒業研究 ⑥電子回路特論 ⑦特別研究基礎	①ナノテクノロジー ②超微細加工学 ③電子・イオンビーム工学	①液滴室温インプリント法による機能性DLCナノデバイスの開発 ②ポータブル室温ナノインプリントシステムを用いたナノテクノロジー教育
石川 一平 (博士〔工学〕)	准教授	・学生主事補	①電気基礎Ⅰ・Ⅱ ②防災リテラシー ③メカトロニクス演習 ④電子回路Ⅰ ⑤電子制御実験 ⑥電子物理 ⑦卒業研究 ⑧特別実験 ⑨先端材料工学 ⑩電子デバイス工学Ⅱ	①電子物理 ②応用物理 ③材料工学	①微細発光デバイスの作製 ②プラスチックを用いた放射線計測に関する研究
高木 太郎 (博士〔工学〕)	講師	・学級担任(3S) ・寮務主事補	①数学演習 ②ロボット工学Ⅰ・Ⅱ ③CAD演習ⅡA ④システム制御Ⅰ・Ⅱ ⑤制御工学実験 ⑥卒業研究 ⑦特別実験 ⑧特別演習	制御工学	①概強正実性に基づく適応制御系のモデルフリー構成法 ②マルチレートシステムに対する適応予測制御系構成法
若林 勇太 (博士〔工学〕)	助教		①振動工学Ⅰ・Ⅱ ②機械工学実験 ③創造設計プロジェクト ④卒業研究 ⑤ロボットシステム制御 ⑥特別実験	ロボット工学	①人とロボットの協働作業に関する研究 ②機械メカニズムによる省アクチュエータ・省センサ化

建設システム工学科

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
高谷 富也 (博士〔学術〕)	教授	・教務主事	①構造力学ⅠA, B ②構造力学ⅡA, B ③構造解析 ④建設振動学 ⑤耐震工学 ⑥卒業研究 ⑦応用情報工学 ⑧建築耐震工学 ⑨特別実験	①構造・耐震工学 ②振動工学 ③動土質	①木造建築物の地震時倒壊過程解析に関する研究 ②地震時における地盤の増幅特性の評価手法およびその適用に関する研究 ③耐震建具を用いた既存木造住宅の耐震補強工法の開発に関する研究 ④3Dソフトウェアの都市計画および各種シミュレーションへの適用に関する研究
四蔵 茂雄 (博士〔工学〕)	教授	・CAコース長	①環境衛生学Ⅰ, Ⅱ ②環境工学ⅠA, ⅠB ③環境工学Ⅱ ④建設システム工学実験ⅡB ⑤応用測量学Ⅰ, Ⅱ ⑥卒業研究 ⑦地球環境政策学 ⑧特別演習	①環境工学 ②環境政策学	①途上国のエネルギー環境問題 ②循環型社会形成の政策論
玉田 和也 (博士〔工学〕)	教授	・地域共同テクノセンター長	①工学基礎 ②構造力学Ⅲ ③情報処理Ⅱ ④鋼構造学ⅠⅡ ⑤応用構造力学 ⑥卒業研究 ⑦応用構造工学 ⑧メンテナンス工学 ⑨特別研究 ⑩特別実験	①メンテナンス工学 ②橋梁工学 ③構造工学	①地方自治体が管理する橋梁の維持管理 ②橋梁の健全度評価 ③アセットマネジメント ④応急復旧橋の開発 ⑤構造力学教育
尾上 亮介 (博士〔芸術文化学〕)	教授	・学級担任(5C) ・図書館長	①建設システム工学概論Ⅰ, Ⅱ ②都市計画 ③建設製図Ⅰ ④建設製図Ⅱ ⑤建設製図制作 ⑥建築計画Ⅱ ⑦建築デザインⅠ ⑧卒業研究 ⑨特別研究 ⑩まちづくり学 ⑪設計製図	①建築設計 ②都市計画 ③まちづくり	①空き屋の活用に関する研究 ②民家改修における意匠・形態に関する研究 ③歴史的景観を形成する建築意匠に関する研究

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
加登 文学 (博士〔工学〕)	教授	・学科長	①防災リテラシー ②建設システム工学 概論Ⅰ,Ⅱ ③建設製図制作 ④建設システム工学 実験ⅠA,ⅠB ⑤地盤工学ⅠA,ⅠB ⑥地盤工学ⅡA,ⅡB ⑦防災工学 ⑧卒業研究 ⑨地盤工学設計論 ⑩特別研究 ⑪特別研究基礎	①地盤工学 ②土質力学	①地盤材料の力学特性に 関する研究 ②強震動予測に関する研 究 ③斜面安全管理に関する 研究
徳永 泰伸 (博士〔工学〕)	准教授	・教務主事補	①建築環境Ⅰ,Ⅱ ②建築設備Ⅰ,Ⅱ ③建設製図制作 ④建設システム工学 実験ⅠA,ⅠB ⑤工学基礎 ⑥卒業研究 ⑦特別実験 ⑧特別研究 ⑨建築環境工学特論	①建築環境学	①室内音環境に関する研 究 ②視覚と聴感の相互作用 に関する研究 ③室内視環境に関する研 究
渡部 昌弘 (博士〔工学〕)	講師	・学級担任(4C)	①建築一般構造 ②建築構造Ⅰ,Ⅱ ③情報処理Ⅰ ④数値解析Ⅱ ⑤エンジニアリング デザイン演習 ⑥卒業研究 ⑦特別研究基礎	①木質構造学 ②建築構法 ③建築構造	①歴史的木質建築物の構 造特性・耐震性能の解明 および保存・改修に関す る研究 ②BIMおよび物理演算エン ジンを用いた木質系構 造を有する歴史的文化的 資産の復元 ③近現代の組積造建築物 の構工法・構造特性の解 明 ④近代の歴史的遺構の実 態調査および保存・再生 の提案
毛利 聡 (博士〔工学〕)	講師	・学級担任(3C) ・寮務主事補	①測量実習 ②建設材料学 ③建設システム工学 実験ⅠA,ⅠB ④コンクリート構造 学Ⅰ,Ⅱ ⑤卒業研究 ⑥建設材料特論 ⑦特別実験	①建築材料施 工 ②コンクリ ート工学	①建築部材の補修・改修・ 維持管理技術の高度化 ②鉄筋コンクリート造建 築物の耐久性評価 ③公共建築物の維持管理 ④施工技術教育

氏 名	職 名	校 務 分 担	担 当 科 目	専 門 分 野	研 究 テ ー マ
今村 友里子 (博士〔工学〕)	助教		①建設製図Ⅱ ②建築論Ⅰ ③建築論Ⅱ ④建築デザインⅡ ⑤建設設計製図Ⅰ ⑥建築計画Ⅰ ⑦建設計画学 ⑧卒業研究	①建築論 ②建築史	①20世紀建築における制作論 ②近現代建築保存活用
上野 卓也 (修士〔工学〕)	助教		①水理学ⅠA, ⅠB ②水理学ⅡA, ⅡB ③建設システム工学 実験ⅡA ④河川工学 ⑤河川計画 ⑥海岸工学 ⑦卒業研究	①海岸工学	①津波氾濫数値モデルの開発と適用 ②砂浜海岸の地形変化と自然外力の解析

教 職 員 数

平成 31 年 3 月 1 日現在

校 長		1					
教 員	区 分	教授	准教授	講師	助教	特任等	計
	人 文 科 学 部 門	3	4	1	0	2	1 0
	自 然 科 学 部 門	3	6	3	0	0	1 2
	機 械 工 学 科	4	3	2	0	0	9
	電 気 情 報 工 学 科	3	5	0	1	2	1 1
	電 子 制 御 工 学 科	4	3	1	1	0	9
	建設システム工学科	5	1	2	2	0	1 0
	計	2 2	2 2	9	4	4	6 1
事 務 職 員	事 務 部 長	1					
	総 務 課	1 4					
	学生課(看護師含む)	1 4					
	再雇用事務職員	2					
	計	3 1					
技 術 職 員	教育研究支援センター	1 2					
	施 設 系	2					
	再雇用技術職員	0					
	計	1 4					
非常勤教職員	事 務 補 佐 員 等	3 7					
	特 命 教 授	1					
	特 命 助 教	2					
	非 常 勤 講 師	3 0					
	学 校 医 等	5					
	計	7 5					
合 計		1 8 2					

注 1) 「特任等」…「特任教授」「嘱託教授」

注 2) 「事務補佐員等」…「事務補佐員」「技術補佐員」「技能補佐員」「課外活動指導員」「学生寮指導員」「非常勤看護師」

注 3) 「学校医等」…「学校医」「学校歯科医」「産業医」「カウンセラー」

学校行事日程

月	日	曜日	行 事 名
4	1	日	開寮
	3	火	新入生入寮日・入寮式
	4	水	入学式、後援会総会
	5	木	始業式、オリエンテーション、身体計測・心電図・胸部レントゲン
	6	金	授業開始
	12	木	新入生合宿研修（～13日）
	16	月	交通安全講習会（本科2・3・4年生・専攻科）
	18	水	交通安全講習会（5年生）
	24	火	JABEE説明会（専攻科1年生）
	26	木	JABEE説明会（5年生）、学生総会 開校記念日
5	13	日	プレオープンキャンパス（舞鶴）
	15	火	スポーツフェスタ
	19	土	福井高専との交歓試合
	20	日	プレオープンキャンパス（舞鶴）
	30	水	特別授業
6	1	金	本科前期中間試験（～7日）
	5	火	学位申請説明会（専攻科2年生）
	10	日	プレオープンキャンパス（京都）
	16	土	編入学試験
	17	日	専攻科推薦特別選抜試験
	24	日	プレオープンキャンパス（三田）
	30	土	近畿地区高専弓道大会
7	2	月	防災訓練
	14	土	近畿地区高専体育大会（陸上競技・バレーボール）（～15日） 公開講座「光であそぼう～立体像の浮かぶ箱」
	21	土	専攻科学力検査選抜試験（前期） 公開講座「舞鶴高専の工作教室」
	22	日	公開講座「夏休み太陽電池教室～太陽電池で遊ぼう～（午前）」 「夏休み太陽電池教室～太陽電池で学ぼう～（午後）」
	27	金	特別授業 公開講座「丹後の昔話を知ろう」（舞鶴市大浦会館）
	31	火	本科・専攻科前期期末試験（～7日）
8	3	金	公開講座「水中UF0キャッチャーをつくろう」（舞鶴市大浦会館）
	4	土	公開講座「住まいの設計と模型作成」
	7	火	公開講座「レオナルド・ダ・ヴィンチの橋をつくろう！～模型で学ぶ橋の仕組みと形～」（ショッピングセンターらぼーる）

月	日	曜日	行 事 名
8	9	木	夏季休業（～9月24日）
	10	金	公開講座「丹後の昔話を知ろう」（舞鶴市大浦会館）
	11	土	オープンキャンパス（～12日）
	12	日	閉寮
	13	月	夏季一斉休業
	18	土	公開講座「空気抵抗の小さな浮子とルアーを作ってみよう」
	19	日	公開講座「6足歩行ロボットをつくろう！」 「リモコンロボットをつくろう！」
	25	土	公開講座「電子顕微鏡で絵を描こう」 公開講座「夏休み親子工作教室～作って学ぶソーラーカー～」
9	1	土	公開講座「第8回舞鶴高専パワーエレクトロニクス公開講座」
	2	日	出張！公開講座in京都「LEGOロボット製作とiPadを利用したプログラミング」
	8	土	公開講座「考えて動かそう！きみにもできるロボットづくり」 出張！公開講座in三田「ノギスの作成と使い方～長さの測定～」 「デジタル画像の基礎と電子透かし」
	9	日	公開講座「3D-CADを使ってみよう！パソコンで3Dモデル組立て」
	13	火	公開講座「操ろう!!東舞鶴イルミネーション!!」（～14日、18日、10月27日）
	17	月	公開講座入試説明会同時開催in舞鶴 「エンジンを作ろう！」 「ゲーム開発を体験しよう！」 「LEGOロボット製作とiPadを利用したプログラミング」 「建築家が設計した住宅建築の模型を作ってみよう！」
	23	日	出張！公開講座in滋賀「LEGOロボット製作とiPadを利用したプログラミング」 「レオナルド・ダ・ヴィンチの橋をつくろう！～模型で学ぶ橋の仕組みと形～」
	24	月	開寮
	25	火	授業開始、特別授業
	26	水	試験返却等到達度確認期間（～28日）
	28	金	全校集会
10	2	火	球技大会
	4	木	特別研究基礎中間発表（専攻科1年生）
	6	土	近畿地区国立高専留学生交流会（～7日）

月	日	曜日	行 事 名
10	8	月	出張！公開講座in亀岡「ノギスの作成と使い方～長さの測定～」 「デジタル画像の基礎と電子透かし」
	13	土	専攻科学力検査選抜試験（後期等）
	20	土	公開講座「ペットボトル掃除機をつくってみよう」(京都進学セミナー峰山校) 滋賀けんせつみらいフェスタ2018出展「実験で学ぶ土木と防災」 赤れんがフェスタin舞鶴2018出展「MDF材ネームプレートを作成しよう」 「ハローウィンのLEDライトスタンドを作ろう」 「ペーパークラフトを作ろう」 「女子プロジェクト 女子目線でものづくりを考える」(～21日) 「本校学生の作品を用いた電気情報分野の体験と理解」
	21	日	赤れんがフェスタin舞鶴2018出展「本校学生の作品を用いた情報通信分野の体験と理解」 出張！公開講座in京都「水をきれいにする試み～快適な環境の創造実験～」
	27	土	高専祭市中パレード プロコン全国大会（～28日）
	28	日	ロボコン近畿地区大会
11	3	土	高専祭, キャンパスウォーク(～4日) 公開講座「6足歩行ロボットをつくろう！」 公開講座「光であそぼう」
	4	日	公開講座「リモコンロボットをつくろう！」 公開講座「防災について学ぼう」 公開講座「3Dプリンターを用いたクリスマスオブジェの制作」
	7	水	午前；英語デー 午後；特別授業
	10	土	デザコン全国大会（～11日） 第23回青少年のための科学の祭典出展「プログラミング教室」
	13	火	4年生研修旅行（～17日）
	18	日	公開講座「小中学生のためのナノテクノロジー体験教室」
	25	日	ロボコン全国大会
	27	火	金曜日授業
	28	水	特別授業
	29	木	本科後期中間試験（～12月5日）
12	8	土	合同学校説明会 公開講座「カラフルな色でメロディをつくろう～電子オルゴールを組み立てよう～」
	9	日	女子中学生1日高専体験会
	13	木	寮生総会

月	日	曜日	行 事 名
12	14	金	午前；金曜午前授業 午後；キャリアセミナー準備
	15	土	キャリアセミナー（～16日）
	19	水	学生総会
	22	土	閉寮 公開講座「フルカラーLEDで七色に光るクリスマスオブジェを作ろう!!」
	23	日	高専女子フォーラムin関西
	25	火	冬季休業（～1月6日）
1	6	日	閉寮
	7	月	授業開始
	17	木	特別研究発表会（専攻科2年生）
	18	金	午前；金曜日午後授業
	20	日	特別選抜入試
	24	木	月曜日授業
	26	土	公開講座「さわやかエネルギー風車入門」
	28	月	5年生・専攻科2年生後期期末試験（～2月1日）
2	29	火	特別研究基礎発表会（専攻科1年生）
	2	土	公開講座「住宅建築模型制作」
	3	日	科博連サイエンスフェスティバル出展「MDF材を用いてネームプレートを作ろう」 「フルカラーLEDを用いたものづくり」
	12	火	特別授業
	13	水	1～4年生・専攻科1年生後期期末試験（～22日）
	17	日	学力検査選抜入試
	18	月	臨時休業（～19日）
	23	土	公開講座「ドローンを飛ばそう」
	25	月	特別授業
	26	火	試験返却等到達度確認期間（～28日）
3	28	木	学寮部屋替（～3月1日）
	2	土	閉寮
	3	日	入学説明会
	4	月	学力補充期間（～8日） 学年末休業（～31日）
	15	金	卒業証書・修了証書授与式
	16	土	進路に関する三者懇談会（～17日） 舞鶴地方史研究会共催「眠れる近代化遺産 海軍第三火薬廠跡～その過去・現在・未来について考える～」
	23	土	公開講座「第9回舞鶴高専パワーエレクトロニクス公開講座」

教 育 活 動

学生数	8 9
本科学学生定員，現員	8 9
外国人留学生入学者数	8 9
専攻科学学生定員，現員	8 9
学生寮現員	9 0
奨学生数，授業料免除該当者数及び入学料免除・猶予	9 1
高等学校就学支援金受給者数	9 1
入試状況	9 2
本科志願者数	9 2
本科合格者数	9 2
編入志願者数及び合格者数	9 2
専攻科入学志願者数及び合格者数	9 2
就職状況（本科）	9 3
求人及び決定状況	9 3
決定先の所在地域別状況	9 3
決定先の業種別状況	9 3
就職状況（専攻科）	9 4
求人及び決定状況	9 4
決定先の所在地域別状況	9 4
決定先の業種別状況	9 4
進学状況（本科）	9 5
進学状況（専攻科）	9 5
進路先一覧（本科）	9 6
進路先一覧（専攻科）	9 7
卒業研究題目	9 8
機械工学科	9 8
電気情報工学科	9 8
電子制御工学科	9 9
建設システム工学科	1 0 0
専攻科特別研究題目（第2学年）	1 0 2
インターンシップ受入先（本科）	1 0 3
インターンシップ受入先（専攻科）	1 0 4
課外活動成績	1 0 5
課外活動に対する教員の活動状況	1 0 6

学 生 数

本科学学生定員

学 科	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
入学定員	40	40	40	40	160
学生総定員	200	200	200	200	800

本科学学生現員

H30.5.1 現在

学年・学科	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
第1学年	47(3)	45(5)	42(3)	43(11)	177(22)
第2学年	39(2)	43(7)	45(4)	47(10)	174(23)
第3学年	34(5)	45(7)	37(3)	39(11)	155(26)
第4学年	42(4)	37(7)	37(3)	38(7)	154(21)
第5学年	39(1)	35(4)	37(1)	36(7)	147(13)
計	201(15)	205(30)	198(14)	203(46)	807(105)

() 内は女子学生数を示す。(内数)

外国人留学生入学者数(第3学年編入学生数)

学 科	機械工学科	電気情報工学科	電子制御工学科	建設システム工学科	計
人 数	1	0	0	1	2

専攻科学生定員

専 攻	総合システム工学専攻		
コ ー ス	電気電子システム工学コース	機械制御システム工学コース	建設工学コース
入学定員	16		
総 定 員	32		

専攻科学生現員

H30.5.1 現在

専 攻	総合システム工学専攻			計
コ ー ス	電気電子システム工学コース	機械制御システム工学コース	建設工学コース	
第1学年	5(0)	5(0)	5(1)	15(1)
第2学年	13(0)	2(0)	4(0)	19(0)
計	18(0)	7(0)	9(1)	34(1)

() 内は女子学生数を示す。(内数)

学生寮現員

H30. 5. 1 現在

学 年	男 子	女 子	合 計
第1学年	139	21	160
第2学年	128	21	149
第3学年	96	20	116
第4学年	79	16	95
第5学年	67	5	72
専攻科1年	2	0	2
専攻科2年	6	0	6
計	517	83	600

奨学生数（平成31年2月現在）

奨 学 金 の 種 類		奨 学 生 数							
		1年	2年	3年	4年	5年	専1年	専2年	計
日本学生支援機構奨学金	第一種	7	9	4	13	19	2	3	57
	第二種	対象外			0	1	4	0	5
	給付型	対象外			2	0	0	0	2
京都府高等学校等修学資金		6	3	3	3	5	対象外		20
その他 府県奨学金		0	2	1	2	4	0	0	9
市町村奨学金		1	2	2	1	0	0	0	6
法人等の奨学金		1	1	0	1	2	0	0	5

授業料免除者数

区 分		免 除 者 数				
		4年	5年	専1年	専2年	計
前 期	全額免除	11 (2)	5	1	1	18
	半額免除	4	2	0	1	7
後 期	全額免除	11 (2)	5	1	2	19
	半額免除	4	4	0	1	9

※括弧書きは国立高等専門学校機構への超過免除申請による免除者数で内数

入 学 料 免 除 者 数 …………… 0名

入 学 料 徴 収 猶 予 者 数 …………… 2名

授業料免除における特別措置 対象者数

（高等学校就学支援金受給者については、支給後の本人負担額を免除）

免除者数 前期…0名

後期…0名

卓越した学生に対する授業料免除

免除者数 後期…4年生4名（半額免除）

平成30年度高等学校就学支援金 受給者数（平成30年7月現在）

（加算および所得制限に係る該当者は平成30年7月分以降申請者）

		1～3年
	受 給 者 数	398
内 訳	2.5倍加算該当者（※）	36
	2倍加算該当者	53
	1.5倍加算該当者	132
	加算なし該当者	177
	所得制限等による非該当者数（※）	108
	合 計	506

※就学支援金制度の変更に伴い追加された項目（平成26年4月以降入学者対象）

入 試 状 況

本科志願者数(都道府県別)

府県名 学科	京都府	福井県	兵庫県	滋賀県	大阪府	その他	計
機械工学科	20 (2)	2 (0)	14 (2)	10 (0)	8 (1)	1 (0)	55 (5)
電気情報工学科	30 (4)	1 (0)	10 (1)	16 (2)	7 (3)	2 (1)	66 (11)
電子制御工学科	31 (4)	4 (0)	14 (1)	11 (0)	5 (0)	2 (0)	67 (5)
建設システム工学科	33 (11)	0 (0)	9 (4)	16 (7)	5 (0)	3 (0)	66 (22)
計	114 (21)	7 (0)	47 (8)	53 (9)	25 (4)	8 (1)	254 (43)

H31. 2. 1 現在, () 内数字は女子学生で内数。

本科合格者数(都道府県別)

府県名 学科	京都府	福井県	兵庫県	滋賀県	大阪府	その他	計
機械工学科	17 (3)	1 (0)	11 (2)	4 (0)	8 (1)	0 (0)	41 (6)
電気情報工学科	18 (2)	1 (0)	6 (0)	11 (2)	3 (2)	2 (1)	41 (7)
電子制御工学科	18 (4)	1 (0)	9 (1)	8 (0)	5 (1)	1 (0)	42 (6)
建設システム工学科	23 (7)	0 (0)	6 (3)	7 (3)	4 (0)	1 (0)	41 (13)
計	76 (16)	3 (0)	32 (6)	30 (5)	20 (4)	4 (1)	165 (32)

H31. 2. 21 現在, () 内数字は女子学生で内数。

編入学志願者数及び合格者数

学科	志願者数	合格者数
機械工学科	3 (0)	0 (0)
電気情報工学科	3 (0)	2 (0)
電子制御工学科	0 (0)	0 (0)
建設システム工学科	1 (0)	0 (0)
計	7 (0)	2 (0)

H31. 2. 21 現在, () 内数字は女子学生で内数。

専攻科入学志願者数及び合格者数

専攻	コース	志願者数	合格者数
総合システム工学専攻	電気電子システム工学コース	13 (0)	10 (0)
	機械制御システム工学コース	8 (0)	5 (0)
	建設工学コース	9 (1)	5 (0)
計		30 (1)	20 (0)

H31. 2. 21 現在, () 内数字は女子学生で内数。

就職状況（本科）

求人及び決定状況

平成31年3月31日現在

区分	卒業者数	就職希望者数	内定者数	大学・専攻科進学希望者数	合格者数	その他	求人会社数（社）	求人数（人）	求人倍率
機械	37	25	25	10	10	2	799	834	33.4
電気情報	35	21	21	13	13	1	797	825	39.3
電子制御	37	22	22	15	15	0	766	787	35.8
建設システム（都市環境）	20	13	13	7	7	0	549	590	45.4
建設システム（建築）	16	9	9	7	7	0	513	546	60.7
合計	145	90	90	52	52	3	3424	3582	39.8

求人会社数は、学科間の重複を含む。

決定先の所在地域別状況

区分	京都府	大阪府	兵庫県	滋賀県	中京地域	京浜地域	その他	合計
機械	6	7	1	2	2	6	1	25
	24.0%	28.0%	4.0%	8.0%	8.0%	24.0%	4.0%	100.0%
電気情報	3	7	2	0	0	9	0	21
	14.3%	33.3%	9.5%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%	100.0%
電子制御	8	4	0	3	2	5	0	22
	36.4%	18.2%	0.0%	13.6%	9.1%	22.7%	0.0%	100.0%
建設システム（都市環境）	5	5	0	0	1	2	0	13
	38.5%	38.5%	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	0.0%	100.0%
建設システム（建築）	2	3	1	0	0	3	0	9
	22.2%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%
合計	24	26	4	5	5	25	1	90
	26.7%	28.9%	4.4%	5.6%	5.6%	27.8%	1.1%	100.0%

上段の数字は人数を示す。

決定先の業種別状況

区分	建設	食品	繊維	出版・印刷	化学	鉄鋼・金属	機械	電気機器	輸送用機器	精密機器	電力・ガス	その他製造	情報通信	運輸・通信	卸売・小売	不動産・賃貸	生活・娯楽	学術サービス	その他サービス	官公庁	合計
機械	0	0	1	0	0	2	5	5	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	25
	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	8.0%	20.0%	20.0%	24.0%	16.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	0.0%	100.0%
電気情報	0	0	0	0	1	0	3	6	1	1	0	0	7	0	0	0	0	2	0	0	21
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	14.3%	28.6%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	100.0%
電子制御	0	0	0	0	0	0	6	2	0	5	1	0	1	0	0	0	0	7	0	0	22
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	27.3%	9.1%	0.0%	22.7%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	31.8%	0.0%	0.0%	100.0%
建設システム（都市環境）	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	3	0	3	13
	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	23.1%	0.0%	23.1%	100.0%
建設システム（建築）	4	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	9
	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	100.0%
合計	6	0	1	0	2	2	14	15	7	10	3	0	8	3	0	1	0	12	2	4	90
	6.7%	0.0%	1.1%	0.0%	2.2%	2.2%	15.6%	16.7%	7.8%	11.1%	3.3%	0.0%	8.9%	3.3%	0.0%	1.1%	0.0%	13.3%	2.2%	4.4%	100.0%

上段の数字は人数を示す。

就職状況（専攻科）

求人及び決定状況

平成31年3月31日現在

区分	修了者数	就職希望者数	内定者数	大学・専攻科進学希望者数	合格者数	その他	求人会社数（社）	求人数（人）	求人倍率
電気電子	13	11	11	2	2	0	743	756	68.7
機械制御	2	0	0	2	2	0	737	746	
建設	4	2	2	2	2	0	525	561	280.5
合計	19	13	13	6	6	0	2005	2063	158.7

求人会社数は、専攻間の重複を含む。

決定先の所在地域別状況

区分	京都府	大阪府	兵庫県	滋賀県	中京地域	京浜地域	その他	合計
電気電子	5 45.5%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	11 100.0%
機械制御	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
建設	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
合計	5 38.5%	4 30.8%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	3 23.1%	0 0.0%	13 100.0%

上段の数字は人数を示す。

決定先の業種別状況

区分	建設	食品	繊維	出版・印刷	化学	鉄鋼・金属	機械	電気機器	輸送用機器	精密機器	電力・ガス	その他製造	情報通信	運輸・通信	卸売・小売	不動産・賃貸	生活・娯楽	学術サービス	その他サービス	官公庁	合計
電気電子	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 27.3%	3 27.3%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%
機械制御	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
建設	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	2 100.0%
合計	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 23.1%	3 23.1%	1 7.7%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	13 100.0%

上段の数字は人数を示す。

進学状況（本科）

平成31年3月31日現在

大 学 ・ 専 攻 科	機 械 工 学 科	電 気 情 報 工 学 科	電 子 制 御 工 学 科	建 設 シ ス テ ム 工 学 科	計
舞鶴工業高等専門学校専攻科	4	6	2	4	16
東北大学			1		1
金沢大学				1	1
千葉大学			1		1
電気通信大学			1		1
長岡技術科学大学	1		4	1	6
福井大学				1	1
三重大学	1				1
岐阜大学				2	2
豊橋技術科学大学	1	4	3	3	11
京都工芸繊維大学	1				1
京都大学		1			1
和歌山大学			2	1	3
岡山大学	1	1	1		3
九州大学				1	1
立命館大学	1	1			2
計	10	13	15	14	52

進学状況（専攻科）

平成31年3月31日現在

大 学 院	E S	M S	C A	計
東京大学大学院			1	1
豊橋技術科学大学大学院	1			1
大阪府立大学大学院	1			1
神戸大学大学院		1		1
九州大学大学院			1	1
九州工業大学大学院		1		1
計	2	2	2	6

E S：電気電子システム工学コース

M S：機械制御システム工学コース

C A：建設システム工学コース

進路先一覧（本科）

平成31年3月31日現在

科	進路先	人数	科	進路先	人数	科	進路先	人数
機械工学 科	(株)インダ	1	電気 情報 報 工 学 科	キャノンメディカルシステムズ(株)	1	電子 制御 工 学 科	(株)LIXIL	1
	ANAラインメンテナンス テクノス(株)	1		京セラコミュニケーション システム(株)	1		舞鶴工業高等専門学校 専攻科	2
	(株)エクセディ	1		(株)近計システム	1		長岡技術科学大学	4
	オムロン(株)	1		住友電設(株)	1		豊橋技術科学大学	3
	キャノン(株)	1		TOA(株)	1		東北大学	1
	キャノンマシナリー(株)	1		日新電機(株)	1		千葉大学	1
	グンゼ(株)	1		日本放送協会	1		電気通信大学	1
	(株)シーアールイー	1		パナソニック(株)コネク ティッドソリューションズ社	1		和歌山大学	2
	(株)シマノ	1		フードテクノエンジニアリ ング(株)	1		岡山大学	1
	シャープ(株)	1		富士電機(株)	1	小 計		37
	ジャパン マリンユナイ テッド(株)	1		フリー(株)	1	建 設 シ ス テ ム 工 学 科	旭化成(株)	1
	ダイキン工業(株)	1		本田技研工業(株)	1		NTTインフラネット(株)	1
	(株)ダイゾー エアゾール 事業部	1		三菱電機(株)通信機製作 所	1		(株)NTTファシリティーズ 関西	1
	トヨタ自動車(株)	1		(株)ミライト	1		大阪ガス(株)	1
	(一社)日本血液製剤機構	1		舞鶴工業高等専門学校 専攻科	6		亀岡市	1
	日本電産テクノモータ (株)	1		豊橋技術科学大学	4		関西電力(株)	1
	ハードロック工業(株)	1		京都大学	1		京都市	1
	二九精密機械工業(株)	1		岡山大学	1		(一社)近畿建設協会	1
	(株)堀場製作所	1		立命館大学	1		ケイコン(株)	1
	本田技研工業(株)	1	小 計		34		JR西日本不動産開発(株)	1
	マルホ発條工業(株)	1	電 子 制 御 工 学 科	(株)アイエイアイ	1		ショーボンド建設(株)	1
	三菱電機エンジニアリン グ(株)	1		(株)NTTフィールドテクノ	1		住友林業(株)	1
	三菱電機ビルテクノサー ビス(株)	1		関西電力(株)	1		精華町	1
	三菱日立パワーシステム ズ(株)	1		キャノンメディカルシステ ムズ(株)	1		ダイキン工業(株)	1
	(株)村田製作所 八日市 事業所	1		京セラ(株)京都綾部工場	1		(株)竹中工務店	1
	ヤンマーエネルギーシス テム(株)	1		京セラ(株)滋賀蒲生工場	1		東海旅客鉄道(株)	1
	舞鶴工業高等専門学校 専攻科	4		サムコ(株)	1		(株)中村設計	1
	長岡技術科学大学	1		三精テクノロジーズ(株)	1		西日本旅客鉄道(株)	2
	豊橋技術科学大学	1		シキボウ(株)	1		(株)長谷工リフォーム	1
	三重大学	1		(株)SEBACS	1		舞鶴市	1
	京都工芸繊維大学	1		(株)テックインテック	1		(株)ユーズ	1
	岡山大学	1		TOWA(株)	1		舞鶴工業高等専門学校 専攻科	4
	立命館大学	1		日新イオン機器(株)	1		長岡技術科学大学	1
	小 計	36		(株)日新システムズ	1		豊橋技術科学大学	3
電気情報 工学 科	アイテック阪急阪神(株)	1		日本オーチス・エレベー タ(株)	1		金沢大学	1
	アイフォーコム(株)	1		パナソニック(株)アプライ アンス社	1		福井大学	1
	旭化成(株)	1		パナソニック(株)エコソ リューションズ社	1		岐阜大学	2
	(株)NTTファシリティーズ 関西	1		パナソニックホームエレ ベーター(株)	1		和歌山大学	1
	オープンテクノロジー(株)	1		三菱電機システムサービ ス(株)	1		九州大学	1
	オムロン(株)	1		村田機械(株)	1	小 計		36
	(株)かんでんエンジニアリ ング	1		ムラテックCCS(株)	1	合 計		143

進路先一覧（専攻科）

平成31年3月31日現在

コース	進路先	人数	コース	進路先	人数
電気電子システム工学コース	大阪市高速電気軌道(株)	1	エシ機 学ス械 コテ制 ーム御	九州工業大学大学院	1
	(株)カシフジ	1		神戸大学大学院	1
	(株)GSユアサ	1		小計	2
	島津エス・ディー(株)	1	ム建 工設 ス学シ スコ ーテ	(株)らいおん建築事務所	1
	(株)島津製作所	1		大津市	1
	東芝三菱電機産業システム(株)	1		東京大学大学院	1
	日新電機(株)	1		九州大学大学院	1
	日本信号(株)	1		小計	4
	ネクストウェア(株)	1		合計	19
	パナソニック(株)AIS社	1			
	日立造船(株)	1			
	豊橋技術科学大学大学院	1			
	大阪府立大学大学院	1			
	小計	13			

卒業研究題目

学科	題 目	指導教員
機械工学科	トンボの翅型風力発電装置の試作	西山 等
	エアリフトポンプにおける揚固性能の向上	
	ジャミング転移を利用したグリップパーの試作と性能評価	
	カエデ種子飛翔の基礎研究	
	自己融着による熱可塑性コンポジットの修復について	篠原 正浩
	熱可塑性樹脂複合材料の二次加工が力学的特性に及ぼす影響	
	運転が楽しいミニカーの製作	谷川 博哉
	新たな風レンズの実験的研究	
	自動車用触媒コンバータ内部の流れの数値解析	
	新たな風レンズの数値解析	
	高回転型コアレス発電機の試作	豊田 香
	長楕円体からの飽和膜沸騰熱伝達の実験(長径 100mm および短径 50mm の場合)	
	偏楕円体からの飽和膜沸騰熱伝達の実験(長径 100mm および短径 50mm の場合)	
	CBN 系ホーニング砥石の湿式摩擦摩耗特性に関する研究	山田耕一郎
	中学生向けスターリングエンジン教材の製作	
	セルフタッピングねじの疲労試験	
	中学生向けスターリングエンジン教材の開発	
	デブリ取り出しロボットの開発 (アームとギアボックス)	小林 洋平
	デブリ取り出しロボットの開発 (クローラ部と第 2 関節の設計)	
	小型風車のナセル形状に関する研究	
	燃料温度と燃料種が磁場印加燃焼に及ぼす影響の調査	野毛 宏文
	パーム酸油混合燃料による NOx 低減特性調査のための液体用層流拡散バーナ開発	
	MgO 固体触媒によるパーム酸油の接触分解と直鎖飽和炭化水素の生成	
	パーム酸油-軽油混合燃料による NOx 還元	
	マイクロチューブ直径測定装置の開発	村上信太郎
	小型可視化風洞の設計製作	
	球体ロボットの開発	
	マイクロ熱交換器の流動・伝熱実験装置製作	
	起立補助椅子の設計を目的とした自然な起立動作の調査	室巻 孝郎
	跳躍動作を行う脚型ロボットの製作	
	産業用モノレールの改良に関する取り組み	
	生産ラインの半自動化箱詰め装置の設計・開発	
電気情報工学科	他励式電流不連続モードフライバックトランス方式 DC/DC コンバータの研究	平地 克也
	電流共振型昇降圧チョッパ回路の動作解析に関する研究	
	渦電流とブリッジ回路を用いた金属検知の研究	金山 光一
	自転車乗車の臨場感を向上させる VR 用振動発生ユニットの研究	
	光信号による同期検波の研究	

学科	題 目	指導教員
電気情報工学科	公共施設における局所音響装置の試作	中川 重康
	太陽光発電蓄電設備における発電電力推定の精度の改善	
	I-V 特性推定およびヒステリシス制御を用いた高速 MPPT 制御の提案	
	日射変動の解析に関する研究	
	YOLO を用いた単眼カメラでの人物の流れ確認と追跡	片山 英昭
	Raspberry Pi を用いた物体検出システムの評価	
	ステレオカメラを用いた簡易な人物検出手法の検討	
	生体センシングによる身体情報解析	竹澤 智樹
	水素化アルミニウムの水素脱離の第一原理計算Ⅰ ～表面原子置換の効果～	
	水素化アルミニウムの水素脱離の第一原理計算Ⅱ ～表面酸化膜の影響～	
	ARtoolkit を用いた漢字・単語学習ソフトの開発	船木 英岳
	イラスト作成機能を付加した視線入力コミュニケーションツール	
	簡易なモーショントラッキングツールの開発	
	描いた魚が泳ぎだすデジタル遊具の開発	
	シリコン太陽電池教材の作製プロセスの検討	内海 淳志
	ショットキーバリアダイオードの作製における後工程の検討	
	フォトリソグラフィ法を用いたショットキーバリアダイオードの作製とその評価	
	周波数変換係数を用いた文字識別アルゴリズムの開発	芦澤 恵太
	YOLOv3 の前過程としての画像水増し手法の検討	
	機械学習から見た周波数帯域別重要度の検討	
	画像圧縮アルゴリズム開発のための統合 GUI の作成	
	スマート触地図システムの地図情報変換部の制作	丹下 裕
	入出力一体型の指点字システムの開発	
	視覚障がい者のための障害物検出システムの改良	
	スマート触地図を実現するための触地図デバイス部の製作	
	Python を用いた Pepper モジュールの開発と音声認識の改善	井上 泰仁
	Android Studio を用いた AR アプリの開発	
	G スタイル行列を用いたフィルタの考案及び画像検索エンジンの開発	
	GaN の誤点弧に関する研究	七森 公碩
電子制御工学科	トライボロジー実験教材の開発に関する研究 -1 軸ステージによる摩擦係数の測定-	野間 正泰
	トライボロジー実験教材の開発に関する研究 -傾斜法による摩擦係数の測定-	
	身近な物体まわりの流れの可視化と理科教育への適用に関する研究	
	移動物体まわりの流れの可視化に関する研究	
	IoT を用いた制御機器の制作及び実験	仲川 力
	HMD を用いた建設機械シミュレータの開発と実験	
	レーザーを用いたプリント基板加工機の製作	
	教育用磁気浮上系のパラメータ同定と制御系設計に関する研究	川田 昌克
	LEGO MINDSTORMS EV3 を利用した二軸ヘリコプタの教材開発に関する研究	
	インホイールモータを利用した二輪スケートボードの開発	

学科	題 目	指導教員
電子制御工学科	MinsegMega を利用した慣性ロータ型倒立振子の開発	川田 昌克
	Artificial Bee Colony を用いた関数最適化に関する研究	伊藤 稔
	Firefly Algorithm を用いた関数最適化に関する研究	
	粒子群最適化手法の群の分散効果に関する研究	
	適応的差分進化に関する研究	
	多状態位相比較器による 2 重 PLL モーション制御の位相同期外れ防止	町田 秀和
	フリーズドライ工程を含む製造ラインでの IoT システムの構築	
	両方向巻き取り繰り出しコントローラに関する研究	
	ネジ締め機械の低速高精度制御に関する研究	
	ナノテク教育のためのポータブルナノインプリントシステムの開発と応用	清原 修二
	液滴室温ナノインプリント用 PDMS モールドの耐久性評価	
	液滴室温ナノインプリントにおける転写レジストの挙動解析	
	超音波液滴室温ナノインプリントによる DLC ドットアレイの作製	
	Web カメラの CMOS センサを用いた放射線の可視化教材に関する研究	石川 一平
	放射線教育プラスチック検出器のエッチング特性改善に関する研究	
	薄膜型固体飛跡検出器の製造方法の開発	
	真空加熱による固体飛跡検出器の製造方法の開発	
	ロボットアーム制御装置の改良と実験	高木 太郎
	産業用ロボットの視覚フィードバックによる耐故障制御	
	ツインロータヘリコプタの制御手法に関する研究	
	ヒューマノイドロボットの動作制御のための運動学解析	
	ピッキングカートの自動化に関する研究	若林 勇太
	キッティング作業計測システムに関する研究	
	ディスプレイを用いたキッティング情報提示システムに関する研究	
	光情報を用いたキッティング情報提示システムに関する研究	
	昇圧チョッパのサージ電圧発生メカニズムに関する研究	平地 克也
	LLC 方式 DC/DC コンバータの変圧器設計方法の研究	
建設システム工学科	商店街の活性化を目指した街路景観評価に関する研究 ー京都市太秦キネマストリートを対象としてー	高谷 富也
	InfraWorks を用いた由良川の 3 次元洪水シミュレーションに関する研究	
	伝統的木造建築物の地震時倒壊解析を踏まえた耐震性評価に関する研究	
	伝統的木造建築物の保存と活用に関する研究 ー久美浜町の旧浜茶屋旅館を対象としてー	
	常時微動観測による大規模盛土造成地の地盤構造の推定に関する研究 ー舞鶴市白浜台を対象としてー	高谷 富也
	経済成長と二酸化炭素排出のデカップリングに関する評価	四蔵 茂雄
	舞鶴市の里地里山の環境価値と保全政策	
	世界のバイオマス利用に及ぼす影響要因評価	
	耕作放棄地はなぜ増える？ 耕作放棄地の現状と要因分析	
	トランスログモデルによるバイオマスエネルギー消費分析	

学科	題 目	指導教員
建設システム工学科	被災した橋梁の復旧に関する構造提案	玉田 和也
	修繕工事を行う橋梁の振動計測	
	舞鶴市管理橋梁のレイティングに関する研究	
	「学び直し」構造力学演習問題の開発	
	舞鶴市における空き家の活用提案及び計画 ―舞鶴市居住促進住宅事業による空き家の活用―	尾上 亮介
	市計画道路工事に伴うファサード整備の提案 ―宮津市街地の本町通りを題材として―	
	舞鶴高専の女子寮生増加に伴う学生寮4号館改修の提案	
	宮津市西堀川通りにおける道路景観整備計画の提案 ―まちなか観光における西堀川のあり方―	
	飽和領域に着目した堤体盛土の液状化解析	加登 文学 上野 卓也
	長期観測データに基づく由良川河口砂州の面積変化と自然外力の解析	
	舞鶴市の大規模盛土造成地の危険度評価	
	繰返し三軸試験による締固めた土の液状化特性	
	アレイ形状の違いに着目した SPAC 法による地盤構造の推定	徳永 泰伸
	ドローン空撮画像を用いた測定の簡便化に関する研究	
	VR 呈示による室内の明るさ感の評価に関する研究	
	建物外皮表面の簡易な着せ替えによる室内気温の変動	
	学寮居室における温熱環境の調査研究	渡部 昌弘
	増減築・改修した木造住宅の構造性能に関する研究 ―90年代後半に竣工した2階建て住宅の事例―	
	増築・改修した木造住宅の構造性能に関する研究 ―無柱空間を持った小規模機織工事から一般住宅に用途変更した事例―	
	近代組積造倉庫建築物の経年劣化に関する研究 ―常時微動測定による振動特性の変化に着目して―	
	建築部材間の接着一体性の評価に関する研究	毛利 聡
	公共施設の耐久性評価手法策定に関する調査	
	あと施工アンカーの施工条件が母材コンクリートの耐久性に及ぼす影響の評価	今村友里子
	舞鶴市杉山地区における景観に関する研究―水資源を中心とした村づくり―	
	沖種郎の設計思想に関する基礎的研究―宮津市庁舎の文化的価値―	

専攻科特別研究題目(第2学年)

専攻：総合システム工学専攻

コース	題 目	指導教員
電気電子システム工学コース	表面プラズモンフィルタを付加したショットキーフォトダイオードの基礎的検討	内海 淳志
	力織機の運転モニタシステムの研究	金山 光一・芦澤 恵太
	磁気結合を有する4相インターリーブ双方向チョッパ回路の研究	平地 克也
	スピン制御型人工衛星搭載用太陽電池における高速MPPT	中川 重康・平地 克也 内海 淳志
	高速な物体検出手法の確立に向けたSSDの前処理の検討とベースモデルの比較	片山 英昭・芦澤 恵太 舩木 英岳
	視覚障がい者の衝突防止のための単眼近距離計測手法の検討	片山 英昭・芦澤 恵太 舩木 英岳
	各種双方向DC/DCコンバータの電流不連続動作によるソフトスイッチングの研究	平地 克也
	NIRS脳機能計測信号のウェーブレット解析	竹澤 智樹
	MPPT追従速度に関する屋外評価装置の開発	中川 重康・平地 克也 内海 淳志
	ALS患者のための眼電位を用いた電動車椅子の入力装置の開発と操作方法の提案	丹下教員・竹澤 智樹
	少ない画像枚数で歩道情報を認識するための前処理に関する研究	片山 英昭・芦澤 恵太 舩木 英岳
	1石フォワード方式電圧共振型DC/DCコンバータのソフトスイッチング成立条件	平地 克也
	ジェスチャー自己確認支援ツールへの活用を目指したIPSの開発	舩木 英岳・片山 英昭 芦澤 恵太
工学コース 機械制御システム	特異姿勢付近における効率的跳躍動作の研究および脚型ロボットの開発	室巻 孝郎
	自動制御を体験するための2輪スケートボードの開発	川田 昌克・室巻 孝郎 高木 太郎
建設工学コース	音楽空間における聴感印象に対する視覚情報の影響	徳永 泰伸・尾上 亮介
	照明器具の配置と見え方の印象に関する基礎的研究	徳永 泰伸・尾上 亮介
	強震時における水平動と上下動の連成挙動に関する研究	加登 文学・高谷 富也
	舞鶴市西地区における町家の外観に着目した意匠の記録・分析	尾上 亮介・今村 友里子

インターンシップ受入先(本科)

学科	受 入 先	人数	学科	受 入 先	人数
機械工学科	内田産業 (株)	1	電気情報工学科	日新電機 (株)	1
	(株) Mテック	1		日本空港テクノ (株)	1
	大阪ガス (株)	1		日本血液製剤機構	1
	オークマ (株)	1		パナソニック(株)アプライアンス社	1
	(株) カワムラサイクル	1		パナソニック㈱オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社	1
	キヤノン (株)	1		富士アイティ (株)	1
	キヤノンメディカルシステムズ (株)	1		富士電機 (株)	1
	(株) クボタ	1		フリー (株)	1
	ガンゼ (株)	1		(株) 堀場エステック	1
	サントリーホールディングス (株)	1		三菱電機ビルテクノサービス (株)	1
	JNCファイバーズ (株)	1		(株) ミライト	1
	シキボウ (株) 中央研究所	1		(株) メンバーズ	1
	(株) JALエンジニアリング	1		小 計	26
	全日本空輸 (株) (ANA)	1	電子制御工学科	池上通信機 (株)	1
	ダイキン工業 (株)	1		一志 (株)	1
	(株) 椿本チエイン	1		出光興産 (株)	1
	豊橋技術科学大学	3		(株) エクセディ	1
	長岡技術科学大学	6		(株) エヌ・ティ・ティ エムイー	1
	日本原子力開発機構	1		(株) NTT フィールドテクノ関西支店	1
	北陸先端科学技術大学院大学	1		(株) エフ・エー電子	1
	(株) 牧野フライス製作所	1		関西電力 (株)	1
	三菱重工業 (株) 神戸造船所	1		技研トラステム (株)	1
	三菱電機ビルテクノサービス (株)	1		キヤノンメディカルシステムズ (株)	1
	三菱日立パワーシステムズ (株)	1		サントリーホールディング (株)	1
	村田機械 (株)	1		JNCファイバーズ (株) 守山工場	1
	(株) モリタ製作所	1		島津メディカルシステムズ (株)	1
	山梨大学	2		全日本空輸 (株) (ANA)	1
	小 計	35		ダイキン工業 (株)	1
電気情報工学科	NEC ネットズエスアイ (株)	1		豊橋技術科学大学	1
	(株) エヌ・ティ・ティ エムイー	1		ナブテスコ (株) 津工場	1
	大阪ガス (株)	1		日本オーチスエレベータ (株)	1
	(株) カワムラサイクル	1		日本血液製剤機構	1
	京セラコミュニケーションシステム (株)	1		日本原子力発電 (株)	1
	京都大学施設部	1		パナソニック(株)アプライアンス社	1
	グローリー (株)	1		パナソニック㈱オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社	1
	コニカミノルタジャパン (株)	1		(株) フジシール	1
	サントリーホールディングス (株)	1		ローム (株)	1
	CTC・テクノロジー (株)	1		小 計	24
	(株) JALエンジニアリング	1	建設システム工学科	アイサワ工業 (株)	1
	住友電設 (株)	1		(株) IHI インフラ建設	1
	(株) ディスコ	1		あおみ建設 (株)	1
	長岡技術科学大学	1		(株) アール・アイ・エー	1

学科	受 入 先	人数	学科	受 入 先	人数
建設システム工学科	N T Tインフラネット (株)	2	建設システム工学科	タトアーキテクツ／島田陽建築設計事務所	1
	(株) 大阪防水建設社	2		豊橋技術科学大学	2
	大津市役所	1		長岡技術科学大学	2
	(株) 長村組	1		(株) NAP 建築設計事務所	1
	鹿島クレス (株)	1		納谷建築設計事務所	1
	亀山建設 (株)	1		日鉄住金テックスエンジ (株)	1
	川田工業 (株)	1		日本ミクニヤ (株)	1
	京都府港湾局	1		舞鶴市役所	1
	近畿地方整備局	2		三菱地所コミュニティ (株)	1
	桑原組 (株)	2		(株) ユーズ	1
	五洋建設 (株)	1		りんかい日産建設 (株)	1
	(株) J A Lエンジニアリング	1		小 計	35
	大鉄工業 (株)	1			
	大東建託 (株)	1		合 計	120

インターンシップ受入先(専攻科)

コース	受 入 先	人数
MS	サントリーホールディングス (株)	1
	小 計	1
ES	関西電力 (株)	1
	T O A (株)	1
	日新電機 (株)	1
	小 計	3
CA	京都市都市計画局	1
	西日本高速道路 (株)	1
	小 計	2
	合 計	6

ES：電気電子システム工学コース

MS：機械制御システム工学コース

CA：建設工学コース

課外活動成績

《体育系》

第53回全国高等学校体育大会

【個人戦】

[柔道]

女子63kg以下級 3位 河原 未侑

[水泳]

男子400m自由形 10位 久保田龍祐

男子800m自由形 10位 久保田龍祐

第55回近畿地区高等学校体育大会

【団体戦】

女子バスケットボール 3位

男子バレーボール 準優勝

女子バレーボール 3位

男子卓球 3位

柔道 3位

男子バドミントン 3位

男子テニス 3位

【個人戦】

[陸上競技]

男子400m 3位 熊谷 鷹

女子100m 3位 河崎慈愛

[卓球]

女子シングルス 1位 川上春菜

[柔道]

女子63kg以下級 1位 河原 未侑

[バドミントン]

男子ダブルス 1位 藤川祐一郎・浦川周馬

[水泳]

男子50m自由形 8位 今岡凜太

男子200m自由形 4位 北野開靖

男子400m自由形 3位 久保田龍祐

6位 北野開靖

男子800m自由形 3位 久保田龍祐

男子100m背泳ぎ 6位 和田洸希

男子200m背泳ぎ 4位 和田洸希

8位 吉川優

男子100m平泳ぎ 8位 今村恒規

男子400mメドレーリレー 5位

(和田洸希・今村恒規・志賀亘造・惣司朝也)

男子400mリレー 6位

(志賀亘造・惣司朝也・今岡凜太・今村恒規)

男子800mリレー 1位

(北野開靖・大浦真人・坪井一将・久保田龍祐)

女子100m背泳ぎ 5位 黒田美智子

女子100mバタフライ 4位 黒田美智子

[テニス]

男子シングルス 準優勝 松村友人

3位 中村成志

男子ダブルス 準優勝 清水優汰・松村友人

女子ダブルス 3位 海邊華恋・杉本翠葉

第33回かもめ駅伝大会

男子 2位

第41回近畿地区高等学校駅伝競走大会

【団体戦】男子の部 1位

【個人戦】

1.7キロの部 区間1位 久木元滋宜

区間2位 川本孝太郎

3.0キロの部 区間2位 小松幹昂

第56回舞鶴バレーボール6人制男女選手権大会

男子 3位

平成30年度両丹高等学校バレーボール春季大会

男子 2位

平成30年度両丹高等学校バレーボール選手権大会

男子 準優勝

ベスト6 (センター) 湯原義輝

(レフト) 田中英吉

平成30年度両丹高等学校バレーボール夏季大会

男子 優勝

平成30年度全日本高等学校バレーボール選手権大会両丹予選会

男子 準優勝

ベスト6 (レフト) 小川哲汰

田中英吉

第41回京都公立高等学校柔道大会

男子団体戦 3位

舞鶴高専・東稜高校・桃山高校合同チーム

第32回高浜町バドミントン協会長杯大会

女子2部リーグ (団体戦) 2位

第47回舞鶴オープンテニストーナメント

一般男子シングルス 3位 松村友人

男子ジュニアシングルス ベスト4 松村友人

男子ジュニアシングルス ベスト4 八坂直哉

第15回協会長杯ダブルス選手権大会 (テニス)
一般男子Aクラス 準優勝 清水優汰・松村友人

5位

稲田遥香

第62回舞鶴テニス選手権大会
一般男子シングルス ベスト8 松村友人
一般男子ダブルス ベスト8
松村友人・野間純也

第37回京都北部テニストーナメント大会
一般男子シングルス 優勝 松村友人

第51回全国高等専門学校サッカー選手権大会近
畿地区大会
優秀選手賞 川勝孝基

第28回舞鶴市空手道選手権大会
個人戦組手男子の部 優勝 森 真澄
準優勝 小山拓人

第39回近畿地区高等専門学校空手道親善試合
団体組手の部 優勝

第23回近畿高等学校スポーツライミング大会
京都府予選
個人戦男子 3位 村上龍司
4位 小林侑司
6位 小谷洋平
個人戦女子 3位 平地燎

《文化系》

第3級アマチュア無線技士国家試験合格

爾 英慈・柳原莉碧

全国高等専門学校第30回プログラミングコンテ
スト

課題部門

敢闘賞, NICT賞

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテ
スト2018近畿地区大会

特別賞(マブチモーター)

Aチーム

技術賞

Bチーム

特別賞(田中貴金属グループ)

Bチーム

第15回全国高等専門学校デザインコンペティシ
ョン

創造デザイン部門 優秀賞 「舞鶴行動」

空間デザイン部門 審査員特別賞

「眺める味わう感じる。わたしたちはこれから
もカバタと生きる。」

平成30年度舞鶴市優秀文化賞

優秀賞 (デザコン部 井上佑樹・
木村悠希・田中詩小・橘敦子
・矢野十鼓・山田瀬奈)

課外活動に対する教員の活動状況**内海 康雄**

PMI日本支部，教育国際化委員会委員（2017.4～2020.3）

荒川 吉孝

近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会，理事（2018.4～2019.3）

藤田 憲司

近畿地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト，実行委員，（2018.4～2019.3）

小野 伸一郎

近畿地区高等専門学校体育連盟，競技種目（陸上競技）専門委員（2018.4～2019.3）

上杉 智子

舞鶴市吹奏楽連盟，理事，（2018.4～2019.3）

近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会，理事，（2018.4～2019.3）

奥村 昌司

舞鶴市吹奏楽連盟，理事（2018.4～2019.3）

近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会，理事（2018.4～2019.3）

木村 健二

平成30年度近畿地区高等専門学校体育連盟専門委員会，委員（2018.4～2019.3）

第55回近畿地区高等専門学校体育大会役員，大会委員（2018.4～2019.3）

一般社団法人 全国高等専門学校サッカー連盟，審判委員（2018.4～2019.3）

西山 等

舞鶴市吹奏楽連盟，理事，（2018.4～2019.3）

近畿地区高等専門学校吹奏楽合同演奏会理事会，理事，（2018.4～2019.3）

山田耕一郎

平成30年度高体連両丹支部バスケットボール部，記録委員長，（2018.4～2019.3）

第38回京都府高等学校バスケットボール選手権大会，役員，（2108.11.2～10）

片山 英昭

全国高等専門学校プログラミングコンテスト実行委員会，ブロック委員，（2018.1～2018.12）

船木 英岳

舞鶴市テニス協会，理事（2018.4～2019.3）

芦澤 恵太

京都府高等学校野球連盟理事（2018.4～2019.3）

井上 泰仁

全国高等専門学校プログラミングコンテスト実行委員会，部門運営委員，（2018.1～2018.12）

町田 秀和

全国小中学生ロボコン小学生の部・舞鶴高専製作会（2019.8.19）

第八回キャチロボバトルコンテスト引率、創造技術研究会クラブ（2018.9.8～9）

ロボット連絡会9月例会で講演（大阪日本橋）（2018.9.19）

全国小中学生ロボコン中学生の部・舞鶴高専予選審査員(2019. 11. 4)
高専ロボコン2018近畿地区大会引率(2018. 10. 27～28)

若林 勇太

平成30年度両丹高校夏季大会，大会役員(2018. 8. 21～22)
平成38回京都府高等学校バスケットボール選手権大会 兼 第71回全国高等学校バスケットボール選手権大会京都府予選，大会役員，(2018. 11. 2～4)
平成30年度京都府高校新人戦大会両丹予選，大会役員，(2018. 12. 22)

徳永 泰伸

舞鶴市吹奏楽連盟，理事 (2018. 4～2019. 3)
近畿地区高専吹奏楽部合同演奏会理事会，理事 (2018. 4～2019. 3)

研 究 活 動

研究業績	1 1 0
校長	1 1 0
人文科学部門	1 1 1
自然科学部門	1 1 3
機械工学科	1 1 5
電気情報工学科	1 1 8
電子制御工学科	1 2 4
建設システム工学科	1 2 7
教育研究支援センター	1 3 1
学位取得状況	1 3 2
研究成果発表状況	1 3 2
外部研究費受入	1 3 3
科学研究費助成事業	1 3 3
受託研究	1 3 4
共同研究	1 3 5
寄附金	1 3 5
学協会委員及び学会・研究会等の開催協力	1 3 9
教職員の活動状況	1 4 1

(注) 研究成果発表の分類については、以下のとおりとする。

1. 著書
2. 解説
3. 査読付論文
4. 国際会議
5. 学会発表
6. 特許
7. その他

校 長

内海 康雄

その他

平成 30 年度 総務省戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）「局所的海洋データを活用した漁業効率化の研究開発」新聞掲載記事

- [1] “東松島市と KDDI など 農漁業分野に最新技術導入”，河北新報，(2018. 12. 1)
- [2] “通信技術で地場産業効率化 KDDI と東松島市 農漁業活性化で連携協定”，石巻日々新聞，(2018. 12. 6)
- [3] “万願寺甘とう品質向上、高潮や積雪の監視… 通信技術で地域課題解決 舞鶴市・高専・KDDI が協定”，京都新聞，(2018. 12. 20)
- [4] “舞鶴市、ICT で地域活性化、舞鶴高専、KDDI と協定”，毎日新聞，(2018. 12. 20)
- [5] “産業活性化や防災で連携 舞鶴市・舞鶴高専・KDDI が協定”，産経新聞，(2018. 12. 20)
- [6] “連携協定 舞鶴市、ICT で地域活性化 舞鶴高専、KDDI と締結”，毎日新聞デジタル，(2018. 12. 20)

平成 29 年度水産白書, 第 1 部 平成 29 年度 水産の動向, 第 1 章 特集 水産業に関する技術の発展とその利用～科学と現場をつなぐ～, 第 3 節 ICT の活用, 水産庁, p. 23, (2018. 5), 内海康雄

人文科学部門

児玉 圭司

著書

スタンダード法学，芦書房，pp. 44-55, 112-121, (2018. 9)，川端敏朗, 松嶋隆弘 他11名

刑罰をめぐる法文化，国際書院，pp. 67-97, (2018. 11)，高塩博 他8名

その他

法務省法務史料展示室「明治150年」特集展示，法務省，(2018. 07. 01-現在に至る)

團藤重光の人権思想研究—死刑・終身刑・無期刑をテーマにした法教育の試み—（リーフレット），龍谷大学，(2018. 8)

人権をめぐる七十年前の二つの出来事—人権擁護委員制度と世界人権宣言—，人権のひろば，No. 124, pp. 5-8, (2018. 11))

大日本監獄協会創設期の人脈とその関心，刑政，Vol. 129 No. 11, pp. 60-69, (2018. 11)

牧野 雅司

査読付論文

海軍第三火薬廠汽缶場跡の発掘，『舞鶴地方史研究』49, pp. 27-32, 2018年4月，牧野雅司・毛利聡・今村友里子

近世日本海沿岸地域における異文化コミュニケーション，『舞鶴地方史研究』49, pp. 1-6, 2018年4月

学会発表

旧海軍第三火薬廠跡の高専教育への活用，平成30年度全国高専フォーラム，2018年8月21日，於・名古屋大学，牧野雅司・毛利聡・今村友里子・渡部昌弘・朝倉慎人・須田敦

廃藩置県と近世日朝関係，第69回朝鮮学会大会，2018年10月7日，於・天理大学

その他

丹後の海はどこまでつながる？～明治時代の2隻の和船～，舞鶴高専地域テクノアカデミア，2018年11月29日，於・舞鶴工業高等専門学校

山根 秀介

査読付論文

ウィリアム・ジェイムズにおける物心二元論の打破と純粹経験の分化，中部哲学会年報，49. pp. 61-74 (2018. 4)，山根秀介

ウィリアム・ジェイムズにおける宗教的な経験と実在，宗教哲学研究，36, pp. 57-70, (2019. 3)，山根秀介

荒川 吉孝

その他

『舞鶴市糸井文庫蔵 『新ぱん うらしまたまてばこ』 翻刻・語釈・抄訳および英訳』，舞鶴工業高等専門学校紀要，No. 54，pp. 92-96，(2019. 3)，畑恵里子・荒川吉孝・原豊二・西野由紀・園山千里・小室智子・吉野健一・小山元孝

自然科学部門

小野 伸一郎

その他

舞鶴市イルミネーション等設置事業における中学生との共同研究プロジェクトについて，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 47, pp. 9-15, (2019. 3), 奥田真，山本謙太，中川重康，七森公碩，芦澤恵太，内海淳志，井上泰仁，片山英昭，小野伸一郎

上杉 智子

学会発表

物理チャレンジ2018報告：II 第2チャレンジ理論問題，日本物理学会2018年秋季大会，(2018. 9. 11)，東辻浩夫，荒船次郎，飯尾俊二，伊東敏雄，上杉智子，植田毅，桂井誠，川村清，佐貫平二，杉山忠男，鈴木亨，竹中達二，波田野彰，松澤通生，三間罔興，大和地伸雄

2018年国際物理オリンピック参加報告，第79回応用物理学会秋季学術講演会，(2018. 9. 19)，松本益明，田中忠芳，杉山忠男，中屋敷勉，加藤岳生，真梶克彦，江馬英信，荒船次郎，上杉智子，他30名

国際物理オリンピックに向けた研修・派遣活動の紹介，日本物理学会第74回年次大会，(2019. 3. 15)，加藤岳生，田中忠芳，杉山忠男，中屋敷勉，松本益明，真梶克彦，江馬英信，荒船次郎，上杉智子，他30名

高倉 克人

査読付論文

イオン液体を対象にしたアクティブラーニング事例の紹介，日本高専学会誌，Vol. 44, No. 2, pp. 17-21, (2018. 5)，高倉克人，小川亜希子

ICT環境を利用した化学系専門科目における大学編入学への支援，鈴鹿高等専門学校紀要，Vol. 52, (2019. 3)，高倉克人

木村 健二

著書

改訂新版 保健体育概論，晃洋書房，pp. 187-204，(2019. 4)，近畿地区高等専門学校体育研究会編

宝利 剛

査読付論文

On integrability of the geodesic deviation equation, Eur. Phys. J. C 78, 661, (2018. 8. 18), Marco Cariglia, Tsuyoshi Houri, Pavel Krtous, David Kubiznak

学会発表

A Killing-Yano ansatz for gravitational perturbations on a Myers-Perry black hole, 日本物理学会第74回年次大会，(2019. 3. 17)，宝利剛

Kerr時空を背景時空とするMaxwell方程式の変数分離性について，日本物理学会2018年秋季大会，(2018. 9. 16)，宝利剛

機械工学科

西山 等

その他

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2018報告, 舞鶴高専情報科学センター年報, No. 47, pp. 66-70, (2019. 3), 藤田徳享, 中山拓海, 中村宏優, 高村翔太郎, 和田拓望, 中尾拓真, 西山等, 町田秀和

谷川 博哉

査読付論文

Field observation and numerical analysis of a rotating pipe in flight, Journal of Fluid Science and Technology, Vol. 13, No. 3, Pages JFST0021, (2018. 10), Katsuya HIRATA, Naoki YABUKI, Kazuki UMEMURA, Tatsuya INOUE, Hirohisa WAKISAKA, Hirochika TANIGAWA

学会発表

立方体内熱対流の加振による伝熱促進, 日本流体力学会 年会2018, (2018. 9), 児玉理人, 延原正起, 谷川博哉, 野口尚史, 平田勝哉

回転飛行パイプの屋外観測と数値解析, 2018年度日本機械学会年次大会, S0510101, (2018. 9), 内藤悠介, 谷川博哉, 中野政身, 平田勝哉

極低レイノルズ数領域での様々な二次元翼型の空力特性と流れ, 2018年度日本機械学会年次大会, S0510205, (2018. 9), 高橋江梨香, 大西一希, 谷川博哉, 内田孝紀, 杉谷賢一郎, 平田勝哉

その他

気流デフレクタを持つ触媒コンバータ内の脈動流の圧力損失と速度分布, 同志社大学ハリス理化学研究報告, 第59巻, 第1号, pp. 25-36, (2018. 4), 平田 勝哉, 田中 慎也, 太田 匡哉, 井上 大志, 尾崎 智洋, 吉田隼樹, 谷川 博哉

豊田 香

査読付論文

設計製図教育について(軸継手の考案、設計および製作), 設計工学, 53巻10号, pp. 775-786, (2018. 10), 山田耕一郎, 豊田香, 室巻孝郎, 須田敦

国際会議

Effect of Velocity and Temperature Profiles in the Liquid Boundary Layer on Subcooled Pool Film Boiling from a Vertical Flat Plate, 2019 International Conference on Engineering and Natural Science-Bangkok, (2019. 3. 15), Kaoru TOYODA and Shintaro MURAKAMI

学会発表

課題解決型授業の一例(民間企業における課題を解決することを目的とした授業の紹介), 日本設計工学会関西支部2018年度研究発表講演会講演論文集, pp. 7-9, (2018. 12. 15), 須田敦, 山田耕一郎, 豊田香, 室巻孝郎, 木原健吾, 新田晴城

その他

有限下向き水平面からのサブクール膜沸騰の解析- 平板の端部境界条件に関する考察 -, 舞鶴高専紀要

第54号, (2019. 3), 豊田香, 村上信太郎

山田 耕一郎

学会発表

課題解決型授業の一例（民間企業における課題を解決することを目的とした授業の紹介）, 日本設計工学会関西支部2018年度研究発表講演会講演論文集, pp. 7-9, (2018. 12. 15), 須田敦, 山田耕一郎, 豊田香, 室巻孝郎, 木原健吾, 新田晴城

その他

設計製図教育について（軸継手の考案, 設計および製作）, 設計工学, 53巻10号, pp. 775-786, (2018. 10), 山田耕一郎, 豊田香, 室巻孝郎, 須田敦

小林 洋平

国際会議

ROBOT CONTEST FOR THE FUKUSHIMA DAIICHI NUCLEAR POWER PLANT, Proc. of ISATE2018, (2018. 9), Yohei Kobayashi, Shigekazu Suzuki

学会発表

風車のタワーとナセル形状に関する研究, 日本機械学会 第23回動力・エネルギー技術シンポジウム講演論文集, 小林洋平

浮体式洋上風車の発電量予測, 2018年度年次大会講演論文集, 小林洋平

野毛 宏文

査読付論文

Nano-additives incorporated water in diesel emulsion fuel: Fuel properties, performance and emission characteristics assessment, Energy Conversion and Management, Volume 169, pp. 291-314, 1 August 2018, Pages 291-314.

国際会議

Combustion and Emissions Characteristics of Palm Acid Oil-Diesel Mixed Fuel and Improvement on its Low Temperature Fluidity, Proc. of 7th International Conference on Engineering for Waste and Biomass Valorization, pp. 400-409, Hirofumi NOGE, Wira Jazair YAHYA and Yoshie UENO

学会発表

パーム酸油-軽油乳化燃料と拡散燃焼バーナーによるNOx低減特性, 日本機械学会2018年度年次大会, J0510102, pp. 1-4, (2018. 9), 野毛宏文, 上野義栄, Wira Jazair Yahya

パーム酸油-軽油混合燃料によるNOx還元, 日本機械学会 関西学生会2018年度学生員卒業研究発表講演会, 1P11, (2019. 3), 佛生 智哉, 野毛 宏文

村上 信太郎

国際会議

Effect of Velocity and Temperature Profiles in the Liquid Boundary Layer on Subcooled Pool Film Boiling from a Vertical Flat Plate, 2019 International Conference on Engineering and Natural Science-Bangkok, (2019.3.15), Kaoru TOYODA and Shintaro MURAKAMI

その他

有限下向き水平面からのサブクール膜沸騰の解析- 平板の端部境界条件に関する考察 -, 舞鶴高専紀要第54号, (2019.3), 豊田香, 村上信太郎

室巻 孝郎

査読付論文

設計製図教育について（軸継手の考案，設計および製作），設計工学，53 巻 10 号，pp.775-786，(2018.10)，山田耕一郎，豊田香，室巻孝郎，須田敦

国際会議

Development of a Legged Robot for Studying an Efficient Jumping Motion near Singular Configurations, Proc. of 2018 International Symposium on Flexible Automation, S108, (2018.7), Keisuke Unagida, Takao Muromaki, Atushi Suda, Xianglong Wan and Takateru Urakubo

Development of a Three-Dimensional Distributed Lighting Control System, SICE Annual Conference 2018, pp. 336-337, (2018.9), Yuki Minami and Takao Muromaki

Considerations for Vibrations and Impacts of Casters (Case of Electroencephalogram at Wheelchair Boarding), 2018 International Conference on Intelligent Informatics and Biomedical Sciences, pp.243-248, (2018.10), Atsushi Suda, Ken-Ichi Iida and Takao Muromaki

学会発表

特異姿勢付近における効率的跳躍動作の研究および脚型ロボットの開発，ロボティクス・メカトロニクス講演会2018，2A2-F13，(2018.6)，鰐田圭介，室巻孝郎，須田敦，万象隆，浦久保孝光

課題解決型授業の一例（民間企業における課題を解決することを目的とした授業の紹介），日本設計工学会関西支部平成30年度研究発表講演会講演論文集，pp.7-9，(2018.12)，須田敦，山田耕一郎，豊田香，室巻孝郎，木原健吾，新田晴城

3回転関節を持つ脚型跳躍ロボットの開発，日本設計工学会関西支部平成30年度研究発表講演会講演論文集，pp.11-12，(2018.13)，井口望，室巻孝郎，須田敦，鰐田圭介，浦久保孝光

その他

平成30年度専攻科特別演習 LEGO MINDSTORMS EV3を用いた体験授業，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 47，pp.90-93，(2019.3)，鰐田圭介，菊本智寛，室巻孝郎，須田敦

日本ナショナルインスツルメンツ・高専機構共同教育プロジェクト 2017年度高専生向けNI myRIO組込システム開発コンテスト ～カメムシ防衛システム～，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 47，pp.94-99，(2019.3)，川本孝太郎，小山拓人，駒井太郎，滝沢光稀，室巻孝郎，須田敦

日本ナショナルインスツルメンツ・高専機構共同教育プロジェクト 2017年度高専生向けNI myRIO組込システム開発コンテスト 参加報告，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 47，pp.100-106，(2019.3)，須田敦，室巻孝郎

電気情報工学科

中川 重康

国際会議

"High-Speed MPPT Method Based on Estimation of I-V Characteristics and Its Application", 3rd STI-Gigaku 2018, STI-7-16, (2018.10.5), Masato TAKAHIRO, Katsuya HIRACHI, Atsushi UTSUMI, Kimihiro NANAMORI, Junichi ITOH, Shigeyasu NAKAGAWA

学会発表

全天球画像を用いた日射量予測, SSI2018計測自動制御学会 システム・情報部門 学術講演会2018, (2018.10), 平井恒良, 池田和司, 中川重康, 山本謙太

ヒステリシス制御による高速MPPT制御の提案, 平成31年電気学会全国大会講演論文集, 6-315, (2019.3), 山本謙太, 中川重康, 内海淳志, 七森公碩, 平地克也, 伊東淳一

片山 英昭

国際会議

Evaluation of People Detection with SSD from Fisheye Images, Proc. Of The 7th IIAE International Conference on Intelligent Systems and Image Processing, pp.213-216, (201809), Takeru Tanaka, Hideaki Katayama

学会発表

「技術者としての地域貢献」を実施する課題解決型授業の教育効果, 平成30年度全国高専フォーラム, OS18-4, 片山 英昭, 丹下裕, 竹澤智樹, 中川重康, 内海淳志, 七森公碩

解像度変化に伴うSSDの人物検出精度と速度の評価, (201809), 産業応用工学会全国大会2018, GS2-2, 田中 健大, 片山 英昭

目的地を色情報によって判断する, ライントレース機能を付加した電動車椅子の製作, ATAC カンファレンス 2018 京都, (201812), 片山英昭, 福井繁雄

CNN を用いた視覚障がい者の衝突回避のための単眼距離推定, 第24回高専シンポジウム, PF-04, (2019.1), 堤大哉, 片山英昭

竹澤 智樹

学会発表

NIRS脳機能計測信号のウェーブレット解析, 第24回高専シンポジウム in Oyama, PF-02 (2019.01.26), 中越 篤, 竹澤 智樹

船木 英岳

学会発表

地域における特別支援学校教員を対象とした技術教育, 平成30年度全国高専フォーラム, (2018.8), 船木英岳, 丹下裕, 吉富友輝, 福井繁雄, 畑亮次, 梶田勲

特別支援学校教員向け機構学教材についての調査，日本科学教育学会第42回年会論文集，pp. 499-500，(2018. 8)，榊田勲，舩木英岳，丹下裕，福井繁雄，畑亮次，筒井一郎

3Dプリンタを用いた機構学入門教材の試作，平成30年度工学教育研究講演会講演論文集，pp. 516-517，(2018. 8)，榊田勲，舩木英岳，福井繁雄，畑亮次，井谷武史，丹下裕

福祉支援機器の製作を通じた技術教育手法の教育効果，平成30年度工学教育研究講演会講演論文集，pp. 472-473，(2018. 8)，丹下裕，舩木英岳，福井繁雄，畑亮次，金森克浩，吉富友輝

ジェスチャー自己確認支援ツールへの活用を目指したIPSの開発，Japan ATフォーラム2018 in Tokuyama講演論文集，pp. 33-34，(2018. 9)，吉田圭汰，川口千春，舩木英岳

LMSサーバを活用したスイッチ類の製作と実践例の紹介，ATACカンファレンス2018京都，ポスター番号05，(2018. 12)，舩木英岳，丹下裕，福井繁雄，畑亮次，井谷武史，平井慎一，金森克浩

特別支援学校教員を対象とした技術教育システムの教育効果の追跡，日本産業技術教育学会近畿支部第35回研究発表会講演論文集，pp. 5-6，(2018. 12)，舩木英岳，丹下裕，福井繁雄，畑亮次，井谷武史，平井慎一，金森克浩

その他

特別支援学校教員を対象とする，3Dプリンタを用いた教具・教材開発に関する調査，舞鶴工業高等専門学校紀要，No. 54，(2019. 3予定)，丹下裕，舩木英岳，福井繁雄，畑亮次，榊田勲，井谷武史，筒井一郎

内海 淳志

国際会議

High-Speed MPPT Method Based on Estimation of I-V Characteristics and Its Application, 3rd STI-Gigaku 2018, STI-7-16, (2018.10), M. Takahiro, K. Hirachi, A. Utsumi, K. Nanamori, J. Itoh, S. Nakagawa

Evaluation of the Schottky Photodiode with the Surface Plasmon Filter, 11th International Conference on Optics-photonics Design & Fabrication Technical digest, 28PSa-16, (2018.11), T. Eko, A. Utsumi

学会発表

ショットキーダイオード教材における並列抵抗の検討，第79回応用物理学会秋季学術講演会予稿集，19a-PA1-16，(2018. 9)，江湖俊仁，内海淳志

学生実験用シリコン太陽電池のフィンガー電極の検討，第66回応用物理学会春季学術講演会予稿集，11p-PA7-23，(2019. 3)，笠岡奎治，内海淳志

表面プラズモンフィルタを付加したショットキーフォトダイオードにおける光電流の電極膜厚依存性，第66回応用物理学会春季学術講演会予稿集，11p-PB1-4，(2019. 3)，江湖俊仁，萩原隆仁，内海淳志

芦澤 恵太

国際会議

Directional Lifting-based Wavelet Transforms and their Applications, Proceedings of Ninth

International Conference on Information, Tokyo Japan, December 2018, K. Fujinoki and K. Ashizawa.

学会発表

自動織機の運転モニタシステムの研究, 平成30年電気関係学会関西連合大会講演論文集, G2-6, pp. 39-40, (2018. 12. 2), 新治拓馬, 芦澤恵太, 金山光一

その他

画像信号に対する調和解析～画像圧縮の基礎～, 東京都市大学調和解析セミナー（招待講演, 60分）, 2018. 9. 14, 東京都市大学

丹下 裕

国際会議

Manufacture of Input Support Device for Livelihood Support of ALS Patients, The 6th IIAE International Conference on Intelligent Systems and Image Processing 2018, pp. 171-176, (2018, 9), Yuki Fukuda and Yutaka Tange

学会発表

「技術者としての地域貢献」を実施する課題解決型授業の教育効果, 平成30年度全国高専フォーラム, OS18, (2018. 8), 片山英昭, 丹下裕, 竹澤智樹, 中川重康, 内海淳志, 七森公碩

地域における特別支援学校教員を対象とした技術教育, 平成30年度全国高専フォーラム, (2018. 8), 舩木英岳, 丹下裕, 吉富友輝, 福井繁雄, 畑亮次, 梶田勲

特別支援学校教員向け機構学教材についての調査, 日本科学教育学会第42回年会論文集, pp. 499-500, (2018. 8), 梶田勲, 舩木英岳, 丹下裕, 福井繁雄, 畑亮次, 筒井一郎

3Dプリンタを用いた機構学入門教材の試作, 平成30年度工学教育研究講演会講演論文集, pp. 516-517, (2018. 8), 梶田勲, 舩木英岳, 福井繁雄, 畑亮次, 井谷武史, 丹下裕

福祉支援機器の製作を通じた技術教育手法の教育効果, 平成30年度工学教育研究講演会講演論文集, pp. 472-473, (2018. 8), 丹下裕, 舩木英岳, 福井繁雄, 畑亮次, 金森克浩, 吉富友輝

視覚障がい者の横断歩道の歩行を支援するウェアラブルデバイスの開発, Japan ATフォーラム2018 in 徳山・講演論文集, pp. 25-26, (2018. 9), 佐藤光, 丹下裕, 七森公碩, 福井繁雄, 竹澤智樹, 片山英昭

地図情報によって可変する触地図システムの試作, 2018年ソサイエティ大会講演論文集, pp. xx-xx, (2018. 9), 吉田海斗, 荒木雄斗, 島田蒼夜, 丹下裕, 片山英昭

視覚障害者の単独歩行を実現する歩行者支援システムの開発, 第27回視覚障害リハビリテーション研究発表会抄録集, p. 56, (2018. 9), 丹下裕, 波多野克信, 片山英昭

ALS患者の生活支援を目的とした入力支援装置の開発, 産業応用工学会全国大会2018論文集, pp. 11-12, (2018, 9), 福田裕輝, 丹下裕

LMSサーバを活用したスイッチ類の製作と実践例の紹介, ATACカンファレンス2018京都, ポスター番号05, (2018. 12), 舩木英岳, 丹下裕, 福井繁雄, 畑亮次, 井谷武史, 平井慎一, 金森克浩

特別支援学校教員を対象とした技術教育システムの教育効果の追跡, 日本産業技術教育学会近畿支部第35回研究発表会講演論文集, pp. 5-6, (2018. 12), 舩木英岳, 丹下裕, 福井繁雄, 畑亮次, 井谷武史, 平

井慎一，金森克浩

視覚障害者のための上方向障害物検出システムの開発，2019年総合大会講演論文集，p. 238，(2019. 3)，小西智裕，丹下裕，片山英昭

視覚障害者のための小型触地図システムの開発，平成30年度高専卒業研究発表会講演論文集，pp. 23-24，(2019. 3)，荒木雄斗，吉田海斗，丹下裕，片山英昭

視覚障害者の2つの歩行パターンにおける障害物検出の評価，平成31年第1回福祉用具機器・福祉情報合同研究会，(2019. 3)，丹下裕，小西智裕，片山英昭

その他

平成30年度電気情報工学科公開講座「クリスマスシーズンにぴったり！キュートなイルミネーションオブジェの製作」，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 47，pp. 79-85，(2019. 3)，井谷武史，福井繁雄，丹下裕，片山英昭

特別支援学校教員を対象とする，3Dプリンタを用いた教具・教材開発に関する調査，舞鶴工業高等専門学校紀要，No. 54，pp. 13-17，(2019. 3)，丹下裕，船木英岳，福井繁雄，畑亮次，桝田勲，井谷武史，筒井一郎

井上 泰仁

国際会議

Prediction of GPCR-G Protein Coupling Specificity by using the deep learning algorithm, The 17th European Conference on Computational Biology, (2018. 9), Yasuhito Inoue, Riku Ashida

学会発表

シルエットパズル型ゲームⅡへの参加による実践的プログラミング教育，第23回（平成30年度）計算工学講演会，(2018. 6)，寺元 貴幸，小保方 幸次，井上 泰仁，橘 理恵，石原 良晃，出江 幸重，奥田 遼介，川田 重夫

プログラミングコンテスト競技部門「おいでませ，ホントの魅力へ」のシステム構築，平成30年度全国高専フォーラム ポスター発表，(2018. 8)，井上 泰仁，橘 理恵，小保方 幸次，松野 良信，黒木 祥光，小嶋 徹也，出江 幸重，奥田 遼介，佐藤 秀一，寺元 貴幸

シルエットパズルゲームを題材としたプログラミング教材の開発と教育効果，第17回情報処理学会関西支部大会，(2018. 9)，井上 泰仁，小保方 幸次，橘 理恵，福永 修一，松野 良信，黒木 祥光，小嶋 徹也，出江 幸重，佐藤 秀一，奥田 遼介，寺元 貴幸

シルエットパズルゲームを題材としたプログラミング教材の開発と教育効果，第17回情報処理学会関西支部大会，(2018. 9)，井上 泰仁，小保方 幸次，橘 理恵，福永 修一，松野 良信，黒木 祥光，小嶋 徹也，出江 幸重，佐藤 秀一，奥田 遼介，寺元 貴幸

メコンデルタの教職員向けのLMSワークショップ，Moodle Moot 2019，(2019. 2)，井上 泰仁，永田 和夫

その他

舞鶴市イルミネーション等設置事業における中学生との共同プロジェクトについて，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 47，(2019. 3)，奥田 真，山本 謙太，中川 重康，七森 公碩，芦澤 恵太，内海 淳志，井上 泰仁，片山 英昭，小野 伸一郎

Scratchで学ぶプログラミング～ゲーム作りから地域貢献のためのイルミネーション・シミュレータ作成まで～，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 47，（2019. 3），奥田 真，中川 重康，井上泰仁

Google Classroomの利用方法，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 47，（2019. 3），井上泰仁

Moodle 3.6の利用方法，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 47，（2019. 3），井上泰仁

「ICT活用教育とアカデミックマネージメント」ワークショップの開催報告，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 47，（2019. 3），井上 泰仁，永田 和夫，小村 良太郎

機器運用部門，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 47，（2019. 3），能勢嘉朗，井上泰仁

七森 公碩

査読付論文

Oscillation Analysis and Current Peak Reduction in Paralleled SiC MOSFETs, IET Circuits, Devices & Systems, Vol. 12, No. 4, pp.390-395, July 2018, Kimihiro Nanamori, Yusuke Sugihara, Masayoshi Yamamoto

国際会議

High-Speed MPPT Method Based on Estimation of I-V Characteristics and Its Application, 3rd STI-Gigaku 2018, STI-7-16, (2018. 10. 5), M. Takahiro, K. Nanamori, K. Hirachi, A. Utsumi, S. Nakagawa

学会発表

相互コンダクタンスを考慮した電流不平衡モデルの検証，平成31年電気学会全国大会，（2019. 3. 12），平井智也・山田成彩・七森公碩

ヒステリシス制御による高速MPPT制御の提案，平成31年電気学会全国大会，（2019. 3. 13），山本謙太・中川重康・内海淳志・七森公碩・平地克也・伊東淳一

ヒステリシス制御による高速MPPTの評価，第11回高専パワエレフォーラム，（2019. 3. 15），山本謙太・中川重康・内海淳志・七森公碩・平地克也・伊東淳一

その他

舞鶴工業高等専門学校の紹介及び研究紹介，第10回高専パワエレフォーラム，（2018. 8. 27），七森公碩

新素材半導体のパワーエレクトロニクス応用，電気情報工学科教育研究発表会，（2018. 12. 17），七森公碩

金山 光一

学会発表

自動織機の運転モニタシステムの研究，平成30年電気関係学会関西連合大会講演論文集，G2-6, pp. 39-40, (2018. 12. 2)，新治拓馬，芦澤恵太，金山光一

その他

第29回全国高専プログラミングコンテスト課題部門WellCing -ICTと「歩く」運動促進システム-，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 47 (2019. 3)，出水 幹大，平井 大輝，渡邊 紘矢，高村 翔太郎，金山 光

—

平地 克也

査読付論文

太陽電池の等価モデルを用いたI-V特性推定型MPPTの提案, 電気学会論文誌B, Vol. 138, No. 6, pp. 514-520, (2018. 6), 池野孝, 内海淳志, 平地克也, 中川重康

学会発表

4相インターリーブ降圧チョッパの動作解析, パワーエレクトロニクス学会誌, Vol. 43, JIPE-43-19, p. 148, (2018. 4), 曾我部祐貴, 平地克也

各種双方向DC/DCコンバータの電流不連続動作によるソフトスイッチングの検討, パワーエレクトロニクス学会誌, Vol. 43, JIPE-43-40, p. 169, (2018. 4), 中尾剛, 平地克也

1石フォワード方式電圧共振型DC/DCコンバータのソフトスイッチング成立条件, パワーエレクトロニクス学会誌, Vol. 43, JIPE-43-38, p. 167, (2018. 4), 三好勝久, 平地克也

電子制御工学科

野間 正泰

学会発表

トライボロジー実験の導入と実践，日本理科教育学会近畿支部大会（奈良大会）発表論文集，p. 42，
（2018.12.01），小谷文乃，平野陽大，植田祐未，野間正泰

川田 昌克

学会発表

自動制御を体験するための2輪スケートボードの開発，第62回システム制御情報学会研究発表講演会，
147-5，（2018.5），菊本智寛，川田昌克

自動制御を体験するための2輪スケートボードのモデリングと制御，第47回制御理論シンポジウム，
1F1-2，（2019.3），菊本智寛，川田昌克

町田 秀和

国際会議

IEEE Symposium on Computer Applications & Industrial Electronics (ISCAIE 2019), Cycle slip prevention in PLL motion control using multi-state phase detector. Technical Session A1, Paper ID:64 (2018.4.28) Hidekazu Machida, Motoi Inoue, Naoki Takehata, Michinobu Kambara, Fuminori Kobayashi

The 7th IIAE International Conference on Industrial Application Engineering 2019 (ICIAE2019), GS7-1 (2019.3.28 scheduled) Hidekazu Machida, Michinobu Kambara, Takihara Hirotaka

学会発表

多状態位相比較器による2重PLLモーション制御の位相同期外れ防止，第61回自動制御連合講演会，6A3，
（2018.11），富田将志，岡 那哉，竹内 弦，町田秀和（舞鶴工業高等専門学校），神原道信（エフエー電子），滝原裕貴（ローム）

フリースドライ工程を含む製造ラインでのIoTシステム構築，第61回自動制御連合講演会，12B5，
（2018.11），町田秀和，高野誉将，富田将志（舞鶴工業高等専門学校），桜井俊輔，永砂 修（ながすな繭）

清原 修二

学会発表

UV-PDMSモールド液滴室温リバーサルマイクロコンタクトプリントによるDLCドットアレイの作製，日本高専学会第24回年会講演会講演論文集，pp. 144-145. (2018.9.1). 伊藤大洋，清原修二，福田京平，石川一平，針谷 達，谷本 壮，滝川浩史，倉島優一

ナノテクノロジー教育のためのポータブル室温ナノインプリントシステムの開発，日本高専学会第24回年会講演会講演論文集，pp. 146-147. (2018.9.1). Nakul Thanatith, 清原修二，伊東成留，石川一平，針谷 達，谷本 壮，滝川浩史，倉島優一

超音波液滴室温ナノインプリントによるDLCドットアレイの作製, 平成30年度電気学会関西支部高専卒業研究発表会講演論文集, pp. 3-4, (2019. 3. 2). 伊藤大洋, 清原修二, 石川一平, 針谷 達, 谷本 壮, 滝川浩史, 倉島優一

PADC固体飛跡検出器の製造工程変更による形質改良の試み, 第66回応用物理学会春季学術講演会講演予稿集, 11a-S622-1, (2019. 3), 石川一平, 清原修二

その他

液滴室温ナノインプリントによるDLCマイクロ・ナノデバイスの開発, SEAJ Journal, No. 164, pp. 37-41, (2019. 1), 清原修二, Nakul Thanatith, 伊藤大洋, 伊東成留, 福田京平

石川 一平

学会発表

UV-PDMS モールド液滴室温リバーサルマイクロコンタクトプリントによるDLC ドットアレイの作製, 日本高専学会第24 回年会講演会講演論文集, pp. 144-145, (2018. 09), 伊藤大洋, 清原修二, 福田京平, 石川一平, 針谷 達, 谷本 壮, 滝川浩史, 倉島優一

ナノテクノロジー教育のためポータブル室温インプリントシステムの開発, 日本高専学会第24 回年会講演会講演論文集, pp. 146-147, (2018. 09), Nakul Thanatith, 清原修二, 伊東成留, 石川一平, 針谷 達, 谷本 壮, 滝川浩史, 倉島優一

超音波液滴室温ナノインプリントによるDLCドットアレイの作製, 平成30年度電気学会関西支部高専卒業研究発表会講演論文集, pp. 3-4, (2019. 03), 中央電気倶楽部, 伊藤大洋, 清原修二, 石川一平, 針谷 達, 谷本 壮, 滝川浩史, 倉島優一

PADC固体飛跡検出器の製造工程変更による形質改良の試み, 第66回応用物理学会春季学術講演会講演予稿集, 11a-S622-1, (2019. 03), 石川一平, 清原修二

高木 太郎

査読付論文

DEによる制御対象の入出力データを用いたPFC設計法, 電気学会論文誌C, Vol.138, No. 5, pp. 492-497, (2018. 5), 高木太郎, 水本郁朗

Parameter Optimization with Input/Output Data via DE for Adaptive Control System with Neural Network, Journal of Robotics, Networking and Artificial Life, Vol. 5, No. 5, pp. 19-22, (2018. 6), Taro Takagi and Ikuro Mizumoto

PFC Design Method with Input/Output Data of Controlled System via DE, Electronics and Communications in Japan, DOI:10.1002/ecj.12109, (2018. 7), Taro Takagi and Ikuro Mizumoto

国際学会

Experimental Validation of Adaptive Control System Design by Using Input/Output Data Via 1-DOF Robot Arm, Proc. of the SICE Annual Conference 2018, pp.1-6, (2018. 9), Taro Takagi and Ikuro Mizumoto

Steady-State Error Elimination of Discrete-Time Simple Adaptive Control System Using Null-Space, Proc. of the SICE Annual Conference 2018, pp.11-13, (2018. 9), Kenta Fujita, Natsuki Kawaguchi,

Takao Sato, Taro Takagi and Ikuro Mizumoto

Application of SAC Extended Using Null-space to a Rotation Control System, Proc. of International Conference on Information and Communication Technology Robotics 2018 (ICT-ROBOT 2018), pp. 77-79, (2018.9), Kenta Fujita, Natsuki Kawaguchi, Takao Sato, Taro Takagi and Ikuro Mizumoto

学会発表

零空間と逐次最小二乗法を利用したSACの定常状態補正, 平成 30 年度計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会若手研究発表会, (2019.1), 藤田健汰, 川口夏樹, 佐藤孝雄, 高木太郎, 水本郁朗

零空間と定常ゲインの推定によるSACの定常出力誤差の補正, 第6回制御部門マルチシンポジウム, (2019.3予定), 藤田健汰, 川口夏樹, 佐藤孝雄, 高木太郎, 水本郁朗

若林 勇太

学会発表

ブレーキ操作型手動式カートのためのハンドル機構の開発, ロボティクス・メカトロニクス講演会2018, 1A1-H07, (2018.6), 情野瑛, 若林勇太, 衣川潤, 小菅一弘

キッキング作業支援ロボットKitPaDY -第5報: システムの動作検証-, ロボティクス・メカトロニクス講演会2018, 2A1-B13, (2018.6), 佐藤一真, 若林勇太, 上岡正也, 吉田泰洋, 衣川潤, 小菅一弘

キッキング作業支援システムKitPaDY -第6報: 部品および棚配置の最適化-, ロボティクス・メカトロニクス講演会2018, 2P1-B02, (2018.6), 吉田泰洋, 上岡正也, 若林勇太, 佐藤一真, 衣川潤, 小菅一弘

ブレーキ操作型パワーアシストカートのための操作者の立ち位置に適応したパワーアシスト制御, 第36回日本ロボット学会学術講演会, 3B3-02, (2018.9), 情野瑛, 若林勇太, 衣川潤, 小菅一弘

キッキング支援システムKitPaDY -第7報: 棚数を最小化するための部品配置の決定-, 第36回日本ロボット学会学術講演会, 3B3-05, (2018.9), 吉田泰洋, 若林勇太, 上岡正也, 佐藤一真, 衣川潤, 小菅一弘

車いす利用者のための段差・階段昇降支援システムの試作および動作検証, 第24回ロボティクスシンポジウム, 5D1, (2019.3予定), 情野瑛, 衣川潤, 若林勇太, 伊丹翔一, ブーラナアモンタナパ, 小菅一弘

建設システム工学科高谷 富也**国際会議**

Evaluation of Seismic Response of Japanese Traditional Old Wooden House in OBAMA City, Japan, Proceedings of the 2018 World Congress on Timber Engineering (WCTE2018), TRD-P-05, Seoul, Korea. (2018.8), Tomiya Takatani and Hayato Nishikawa

Seismic Performance of Japanese-Style Two-Story Wooden House Against a Consecutive Strong Earthquake Motion, Congress on Timber Engineering (WCTE2018), STR-P-27, Seoul, Korea. (2018.8), Tomiya Takatani and Hayato Nishikawa

Seismic Performance of Two-Story Wooden House Based on Structure Damage in the 2016 Kumamoto Earthquake, Proceedings of the 2018 World Congress on Advances in Structural Engineering and Mechanics (ACEM18), P 3-5, Ilan(Seoul), Korea. (2018.8), Tomiya Takatani and Hayato Nishikawa

Seismic Damage prediction Function for Two-Story Wooden House Based on Structure Damage in the 2016 Kumamoto Earthquake, Proceedings of the 2018 World Congress on Advances in Structural Engineering and Mechanics (ACEM18), P 6-5, Ilan(Seoul), Korea. (2018.8), Tomiya Takatani and Hayato Nishikawa

Seismic Damage prediction Function for Japanese-Style Wooden House Based on Structure Damage in the 2016 Kumamoto Earthquake, Proceedings of the Fourth Austrasia and South-East Asia Structural Engineering and Construction Conference (ASEA-SEC-4), Brisbane, Australia. (2018.12), Tomiya Takatani and Hayato Nishikawa

その他

木造 2 階建て建築物の耐震性評価について -福知山市大江町の大雲記念館の微動計測・起振器実験-, 舞鶴高専紀要, 第54号, pp. 19-32, (2019.3), 高谷富也・西村良平・西川隼人・清水嵩史

木造 2 階建て建築物の耐震性評価について -綾部市志賀郷公民館の耐震補強前後における起振器実験-, 舞鶴高専紀要, 第54号, pp. 33-46, (2019.3), 高谷富也・西村良平・西川隼人・清水嵩史

木造 3 階建て建築物の耐震性評価について -京丹後市久美浜町旧浜茶屋旅館の微動計測・起振器実験-, 舞鶴高専紀要, 第54号, pp. 47-56, (2019.3), 高谷富也・西村良平・高本優也・横田 駿

InfraWorksを用いた商店街の 3 D 可視化表示について -京都市太秦大映通り商店街を対象として-, 舞鶴高専情報科学センター年報, 第47号, pp. 23-32, (2019.3), 上田遼平・高谷富也

InfraWorksを用いた由良川下流域の洪水シミュレーションについて -RiverFlow2D (Finite Volume Method) の適用-, 舞鶴高専情報科学センター年報, 第47号, pp. 33-58, (2019.3), 塚原善一・高谷富也

四蔵 茂雄**その他**

PESによる生態系保全の可能性 - 芦生研究林の価値と持続的な管理制度 -, 舞鶴高専紀要, (2019.3), 四蔵茂雄

尾上 亮介**その他**

「商店街巡礼」、舞鶴市民新聞連載（2010.1～）、尾上亮介

舞鶴高専女子寮の基本設計（2019.3）、尾上研究室

舞鶴市U I ターン者のためのお試し住宅 内装設計・監修（2019.3）、尾上研究室

加登 文学**学会発表**

水平・上下同時制御による砂質土の繰返し一面せん断特性，平成30年度土木学会関西支部年次学術講演会概要集，Ⅲ-29，（2018.6.），前田翼，加登文学

舞鶴地域に分布する土質材料を用いた盛土の含水状態に着目した耐震性の評価，平成30年度土木学会関西支部年次学術講演会概要集，Ⅲ-31，（2018.6.），岸本拓馬，加登文学

水平動と上下動の連成挙動に着目した地震応答解析，第24回高専シンポジウム in OYAMA講演要旨集，PH-01，（2019.1），前田翼，加登文学

常時微動観測による盛土造成地の地盤構造推定，第24回高専シンポジウム in OYAMA講演要旨集，H-09，（2019.1），岸本拓馬，加登文学

徳永 泰伸**学会発表**

音楽受聴時における主観印象に対する視覚情報の影響，日本建築学会2018年度大会，D-1，pp. 399-400，（2018.9），藤川大輝，徳永泰伸，寺島貴根

光色の対比・同化効果を用いた光環境設計に関する基礎的研究，日本建築学会2018年度大会，D-1，pp. 595-596，（2018.9），古田響，徳永泰伸

建物壁面の材質と映像投影時の見え方の関係，日本建築学会2018年度大会，D-1，pp. 491-492，（2018.9），三浦瑞季，徳永泰伸

ホール客席部における音響状態の差異の知覚に関する研究，日本音響学会2018年秋季研究発表会講演論文集，3-9-6，pp. 665-666，（2018.9），井之上峻，徳永泰伸，寺島貴根

渡部 昌弘**国際会議**

Seismic Reinforcement of Existing Timber Architecture Using Permeable Structural Wall Part 1 Outline of Research, Proc. Of ISAIA 2018 The 12th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia, S1-4, (2018.10), Kaori Fujita, Kohta Kawashima, Hiromi Sato, Masahiro Watabe, Toshiaki Sato, Tsuyoshi Seike, Masao Koizumi

Seismic Reinforcement of Existing Timber Architecture Using Permeable Structural Wall Part 2

Modeling and Result of Analysis of Timber-acrylic Wall, Proc. Of ISAIA 2018 The 12th International Symposium on Architectural Interchanges in Asia, S3-4, (2018. 10), Kohta Kawashima, Kaori Fujita, Hiromi Sato, Masahiro Watabe, Toshiaki Sato, Tsuyoshi Seike, Masao Koizumi

学会発表

戦時の工廠建築物の構造的観点における現状把握 第3火薬廠 砲炸薬成形工場を対象として, 日本建築学会2018年度大会（東北）学術講演梗概集. 材料施工, (2018. 9), pp. 307-308, 日本建築学会, 高丘剛規, 渡部昌弘

毛利 聡

査読付論文

海軍第三火薬廠汽缶場跡の発掘, 舞鶴地方史研究, 第49号, pp. 27-32, (2018. 4), 牧野雅司, 毛利聡, 今村友里子

あと施工アンカーの施工部が母材コンクリートの中性化および鉄筋腐食に及ぼす影響に関する実験的研究, コンクリート工学年次論文集, Vol. 40, No. 1, pp. 1479-1484, (2018. 7), 毛利聡, 福德真奈美

学会発表

旧第三火薬廠跡の高専教育への活用, 平成30年度全国高専フォーラムポスターセッション, No. 102 (2018. 8), 牧野雅司, 渡部昌弘, 毛利聡, 今村友里子, 須田敦, 朝倉慎人

地域の建設技術者のためのコンクリート工事教育カリキュラムの開発, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 教育, pp. 47-48, (2018. 9), 毛利聡, 玉田和也, 嶋田知子

舞鶴海軍第三火薬廠汽缶場遺構について（その1）, 日本建築学会大会学術講演梗概集, 建築歴史・意匠, pp. 1035-1036, (2018. 9), 今村友里子, 牧野雅司, 毛利聡

その他

海軍第三火薬廠汽缶場跡のコンクリートの調査, 舞鶴工業高等専門学校紀要第54号, pp. 69-77, (2019. 3), 毛利聡, 牧野雅司, 今村友里子

地域の安全・安心を支えるインフラメンテナンス技術者の育成, 舞鶴工業高等専門学校紀要第54号, pp. 63-68, (2019. 3), 玉田和也, 毛利聡, 嶋田知子, 加登朋恵

今村友里子

学会発表

舞鶴海軍第三火薬廠汽缶場遺構について（その1）, 日本建築学会学術講演梗概集. F-2, 建築歴史・意匠 2018, pp. 1035-1036, (2018. 9), 今村友里子, 牧野雅司, 毛利聡

海軍第三火薬廠汽缶場遺跡の発掘, 舞鶴地方史研究, 第49号, pp. 27-31, (2018. 4), 牧野雅司, 毛利聡, 今村友里子

その他

海軍第三火薬廠汽缶場跡のコンクリートの調査, 舞鶴高専情報科学センター年報, No. 36, (2019. 3予定), 毛利聡, 牧野雅司, 今村友里子

戦災慰霊碑のデザイン-イサム・ノグチの広島平和記念公園-, 人為的要因による震災の防止・軽減に向けた技術・社会のあり方について 2018年度日本建築学会大会（東北）特別研究部門 研究懇談会資料集, pp. 81-82, (2018, 9), 今村友里子

上野 卓也

査読付論文

高頻度現地測量による福井県三里浜海岸の汀線変化および河口変動と自然外力の解析, 土木学会論文集B2（海岸工学）, 74巻2号, pp. I_973-I_978, (2018. 11), 上野卓也, 田安正茂, 由比政年, 榎田真也

退行性海底地すべりが津波水位に与える影響の研究, 土木学会論文集B3（海洋開発）, 74巻2号, pp. I_199-I_204, (2018. 9), 木場 正信, 山本 朗宜, 上野卓也, 由比政年

国際会議

Numerical Simulation of Tsunami Run-up around Coastal Structures on Quadtree Grids, Proceedings of the Twenty-eighth (2018) International Offshore and Polar Engineering Conference, pp. 654-661, (2018. 6), Takuya UENO, Masatoshi YUHI, Shinya UMEDA, Takehisa SAITOH

A Numerical Study on the Influence of Variation of Underwater Landslide Shape on Tsunami Generation, Proceedings of the Twenty-eighth (2018) International Offshore and Polar Engineering Conference, pp. 662-669, (2018. 6), Masanobu KOBAYASHI, Akinori YAMAMOTO, Takuya UENO, Masatoshi YUHI

教育研究支援センター能勢 嘉朗**その他**

機器運用部門報告，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 47，pp. 109-110，(2019. 3)，能勢嘉朗，井上泰仁

平成30年度国立高等専門学校機構情報担当者研修会報告，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 47，pp. 111-112，(2019. 3)，能勢嘉朗，片山英昭

平成30年度近畿地区高等専門学校情報処理教育連絡協議会報告，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 47，pp. 113-114，(2019. 3)，片山英昭，能勢嘉朗

井谷 武史**その他**

平成30年度電気情報工学科公開講座「クリスマスシーズンにぴったり！キュートなイルミネーションオブジェの製作」，舞鶴高専情報科学センター年報，No. 47，(2019. 3)，井谷武史，福井繁雄，丹下裕，片山英昭

西村 良平**その他**

木造2階建て建築物の耐震性評価について－福知山市大江町の大雲記念館の微動計測・起振器実験－，舞鶴高専紀要，第54号，pp. 19-32，(2019. 3)，高谷富也・西村良平・西川隼人・清水嵩史

木造2階建て建築物の耐震性評価について－綾部市志賀郷公民館の耐震補強前後における起振器実験－，舞鶴高専紀要，第54号，pp. 33-46，(2019. 3)，高谷富也・西村良平・西川隼人・清水嵩史

木造3階建て建築物の耐震性評価について－京丹後市久美浜町旧浜茶屋旅館の微動計測・起振器実験－，舞鶴高専紀要，第54号，pp. 47-56，(2019. 3)，高谷富也・西村良平・高本優也・横田 駿

高本 優也**その他**

木造3階建て建築物の耐震性評価について－京丹後市久美浜町旧浜茶屋旅館の微動計測・起振器実験－，舞鶴高専紀要，第54号，pp. 47-56，(2019. 3)，高谷富也・西村良平・高本優也・横田 駿

学位取得状況

学位	校長	人文	自然	機械	電気	制御	建設	計
博士	1	3	8	9	11	9	9	50
修士		6	3				1	10
学士		1	1					2
合計	1	10	12	9	11	9	10	62

研究成果発表状況

区 分	著 書	解 説	査読論文	国際会議	学会発表	特 許	その他	計
校 長							2	2
人文学部部門	2		4		2		6	14
自然科学部部門	1		3		5		1	10
機械工学科			4	7	12		8	31
電気情報工学科			2	8	44		13	67
電子制御工学科			3	5	21		1	30
建設システム工学科			4	9	14		13	40
教育研究支援センター							8	8
合 計	3		20	29	98		52	202

外部研究費受入

科学研究費助成事業(代表者)

研究種目等	研究課題名	研究代表者	配分額(千円)
基盤研究(C)	「NIRSによる脳機能測定」を異分野の共通課題とする高等専門学校分野横断的教育	竹澤 智樹 (電気情報工学科)	390
基盤研究(C)	特別支援学校教員の技術力向上のために高専の実践教育を取り入れた教育システムの構築	船木 英岳 (電気情報工学科)	325
基盤研究(C)	「技術者としての地域貢献」を舞鶴市と連携して実施する教育モデルの構築	片山 英昭 (電気情報工学科)	650
基盤研究(C)	舞鶴から日本のエネルギーを変える:浮体式洋上風車発電量予測手法の確立	小林 洋平 (機械工学科)	780
若手研究(B)	廃藩置県をめぐる日朝双方の対応を軸に読み解く近代日朝関係の成立	牧野 雅司 (人文科学部門)	910
若手研究(B)	監獄学(刑事政策学)継受過程の再検討-「日本の特質」をめぐる言説に着目して	児玉 圭司 (人文科学部門)	650
基盤研究(C)	雑誌メディアによる戦後日本の秘教運動の宗教史的研究-「日本神学」の変遷を追って	吉永 進一 (人文科学部門)	455
基盤研究(C)	舞鶴市糸井文庫蔵浦島伝説関連資料の基礎的研究	畑 恵里子 (人文科学部門)	676
若手研究(B)	放射線教育プラスチック検出器のエッチング特性改善による危険性の低減	石川 一平 (電子制御工学科)	780
若手研究(B)	シリコン太陽電池教材を用いた教育プログラムの開発	内海 淳志 (電気情報工学科)	1,690
若手研究(B)	超音波液中プラズマ制御によるパーム酸油の低温流動性改善とNOX低減機構の解明	野毛 宏文 (機械工学科)	650
基盤研究(C)	実戦的に制御理論を学ぶための教材とカリキュラム開発	川田 昌克 (電子制御工学科)	1,950
基盤研究(C)	触地図ディスプレイと連動した視覚障害者を歩行支援する触地図情報配信システムの構築	丹下 裕 (電気情報工学科)	2,860
若手研究(B)	耐震改修の耐久性向上に関する研究	毛利 聡 (建設システム工学科)	3,640
若手研究(B)	ホテル照明による光環境制御システムの構築	室巻 孝郎 (機械工学科)	1,560
奨励研究	太鼓叩き装置の機構を題材とした機構学の入門教材の開発	梶田 勲 (教育研究支援センター)	530
計	16 件		18,496

※間接経費を含む。学外分担者への送金分は含まない。

科学研究費助成事業(分担者)

研究種目等	研究課題名	研究分担者	配分額(千円)
基盤研究(C)	実験と伝統-明治・大正期の宗教と心理体験-	吉永 進一 (人文科学部門)	260
基盤研究(C)	日米の新資料による日本仏教グローバル化過程の研究-鈴木大拙を事例として	吉永 進一 (人文科学部門)	60

基盤研究 (B)	人と不整地作業機械が協調するハイブリッド転倒安全システムの基盤構築	仲川 力 (電子制御工学科)	65
基盤研究 (B)	混合蒸気同軸導入フィルタードアーク蒸着装置の試作と高機能高密度カーボン膜の開発	清原 修二 (電気情報工学科)	390
基盤研究 (B)	日本新宗教史像の際構築：アーカイブと研究者ネットワーク整備による基盤形成	吉永 進一 (人文科学部門)	260
基盤研究 (B)	近代日本の地域自治 - 村と大字の法史学的研究 -	児玉 圭司 (人文科学部門)	390
基盤研究 (B)	意匠性に配慮した既存木造建築の開口部補強構法の開発	渡部 昌弘 (建設システム工学科)	195
計	7 件		1,620

※間接経費を含む。千円未満四捨五入。

受託事業

研 究 題 目	研究担当者	相手先	受入額 (千円)
該当なし			
計		0 件	

受託研究

研 究 題 目	研究担当者	相手先	受入額 (千円)
舞鶴市イルミネーション設置事業（東舞鶴駅周辺）に関する研究	中川 重康 (電気情報工学科)	舞鶴市	1,200
サーボモータの制御に関する研究	町田 秀和 (電子制御工学科)	日東精工株式会社	1,080
橋梁長寿命化修繕計画実施における課題の検討及び調査研究	玉田 和也 (建設システム工学科)	舞鶴市	497
巻取機械制御器におけるデジタルフィルタの活用に関する研究	町田 秀和 (電子制御工学科)	株式会社 エフ・エー電子	300
巻取機械制御器における微分要素の活用に関する研究	町田 秀和 (電子制御工学科)	株式会社 エフ・エー電子	300
空き家を活用したお試し住宅の設置に係る建物改修業務に関する研究	尾上 亮介 (建設システム工学科)	舞鶴市	200
天滝歩遊道 橋梁復旧にかかる構造設計・架設計画検討	玉田 和也 (建設システム工学科)	養父市	1,385
計		7 件	4,961

※間接経費を含む。千円未満四捨五入。

共同研究

研 究 題 目	研究担当者	相手先	受入額 (千円)
電気自動車用電気システムに関する研究	七森 公碩 (電気情報工学科)	鈴木合金株式会社 (大阪市)	1,080
独自設備からの各種製造情報の取得及び共有を行うことを可能とする Iot システムに関する研究	町田 秀和 (電子制御工学科)	ながすな繭株式会社 (京丹後市)	100
PLL によるフルモーションコントローラ ASIC の開発に関する研究	町田 秀和 (電子制御工学科)	ローム株式式会社 (京都市)	1,620
急傾斜地工事用・産業用大型モノレール用単線軌道に係る研究	室巻 孝郎 (機械工学科)	内田産業株式会社 (京都市)	750
太陽電池における FF 型高速 MPPT 手法の実用化に関する研究	中川 重康 (電気情報工学科)	長岡技術科学大学 (新潟県長岡市)	600
GaN の並列駆動技術に関する研究	七森 公碩 (電気情報工学科)	シャープ株式会社 (広島県福山市)	160
工場の自動化に関する研究	室巻 孝郎 (機械工学科)	株式会社ダイゾー (京都市)	500
スマホで繋がる駅前イルミネーションの実証実験	内海 淳志 (電気情報工学科)	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 (東京都千代田区)	76
計		8 件	4,886

※間接経費を含む。

寄附金

件 名	研究担当者	受入額 (千円)
教育研究等奨励助成金 (舞鶴工業高等専門学校後援会)	教 職 員	3,000
オリエンタル白石寄附金 (オリエンタル白石株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	300
iMec 寄附金 (株式会社京都イングス 3 件)	玉田 和也 (建設システム工学科)	240
iMec 寄附金 (塩見測量設計株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (株式会社アイム 2 件)	玉田 和也 (建設システム工学科)	100
iMec 寄附金 (有限会社ヤマト測量)	玉田 和也 (建設システム工学科)	10
iMec 寄附金 (株式会社リング 2 件)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40

iMec 寄附金 (有限会社丸重屋)	玉田 和也 (建設システム工学科)	280
iMec 寄附金 (株式会社キクチコンサルタント 3 件)	玉田 和也 (建設システム工学科)	140
安部日鋼工業寄附金 (株式会社安部日鋼工業)	玉田 和也 (建設システム工学科)	300
iMec 寄附金 (株式会社星コンサルタント)	玉田 和也 (建設システム工学科)	10
iMec 寄附金 (日本ミクニヤ株式会社 2 件)	玉田 和也 (建設システム工学科)	320
iMec 寄附金 (有限会社トライテック)	玉田 和也 (建設システム工学科)	20
iMec 寄附金 (有限会社典座)	玉田 和也 (建設システム工学科)	10
iMec 寄附金 (株式会社台地企画)	玉田 和也 (建設システム工学科)	10
iMec 寄附金 (一般社団法人 兵庫県測量設計業協会)	玉田 和也 (建設システム工学科)	800
iMec 寄附金 (有限会社倉本測量)	玉田 和也 (建設システム工学科)	10
iMec 寄附金 (京丹波町建設業協会青年部)	玉田 和也 (建設システム工学科)	320
iMec 寄附金 (扇コンサルタント株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (有限会社足立設計)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (阪神測建株式会社 3 件)	玉田 和也 (建設システム工学科)	170
iMec 寄附金 (株式会社アーバンパイオニア設計)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (雅建設工業株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (有限会社山下技建)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (株式会社アーバンクリエイト)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (株式会社建設コンサルタント大誠)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (西山グリーン株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (有限会社ダイキ開発)	玉田 和也 (建設システム工学科)	30
iMec 寄附金 (株式会社コスモ)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (株式会社ジオ・ワークス 2 件)	玉田 和也 (建設システム工学科)	70
舞鶴技術研究会寄附金 (舞鶴技術研究会)	教 職 員	1, 151

iMec 寄附金 (株式会社伸和設計事務所)	玉田 和也 (建設システム工学科)	30
iMec 寄附金 (株式会社ユーズ)	玉田 和也 (建設システム工学科)	120
iMec 寄附金 (株式会社シンメイ建設技研)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (有限会社神輝興産)	玉田 和也 (建設システム工学科)	80
iMec 寄附金 (金下建設株式会社 2 件)	玉田 和也 (建設システム工学科)	120
iMec 寄附金 (有限会社フェニックスジャパン)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
近畿レントゲン工業社寄附金寄附金 (株式会社近畿レントゲン工業社)	平地克也 (電気情報工学科)	300
iMec 寄附金 (リノブリッジ株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	20
iMec 寄附金 (西村建設株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (東海産商株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	60
iMec 寄附金 (京福コンサルタント株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
iMec 寄附金 (日本非破壊検査株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
堀場製作所寄附金寄附金 (株式会社堀場製作所)	清原修二 (電子制御工学科)	300
iMec 寄附金 (植西 章彦)	玉田 和也 (建設システム工学科)	30
iMec 寄附金 (草合 良友)	玉田 和也 (建設システム工学科)	40
矢崎総業助成金 (矢崎総業株式会社)	平地克也 (電気情報工学科)	300
iMec 寄附金 (阿南電機株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	10
iMec 寄附金 (牧草総合設計株式会社)	玉田 和也 (建設システム工学科)	80
三社電機寄附金 (株式会社三社電機製作所)	平地克也 (電気情報工学科)	300
日進製作所寄附金 (株式会社日進製作所)	校長	500
計 53 件		10,381

※千円未満四捨五入。

その他助成金

件名	研究担当者	受入額 (千円)
上田記念財団助成金	玉田 和也 (建設システム工学科)	1,000
山岡記念文化財団研究助成金	児玉 圭司 (人文科学部門)	100
日本建設情報総合センター研究助成金	玉田 和也 (建設システム工学科)	6,000
計 3 件		7,100

修学支援事業

件名	受入額 (千円)
修学支援事業基金	119
計 11 件	119

※千円未満四捨五入。

学協会委員及び学会・研究会等の開催協力

校長

内海 康雄	ISO/TC163/SC1 国内対策委員会委員 (TC163/SC1/WG10委員会幹事)
	ISO 高温環境下での熱拡散率測定方法 (周期加熱法) の国際標準化委員会委員
	経済産業省、グリーン建材・設備製品に関する国際標準化・普及基盤構築事業 国際提案委員会委員
	JIS A 2201 (送風機による住宅等の気密性能試験方法) 改正原案作成委員会委員
	(一社) 日本建築学会 熱環境シミュレーション小委員会委員
	(一社) 日本建築学会 換気・通風小委員会、気密性能WG委員
	(公社) 空気調和・衛生工学会 省エネシミュレーションツール評価法作成委員会委員
	(公社) 空気調和・衛生工学会 標準化委員会専門委員
	(公社) 空気調和・衛生工学会 標準化委員会換気・空調設備の現場風量測定法改定小委員会主査
	(公社) 空気調和・衛生工学会 標準化委員会空調システムのエネルギーシミュレーションツール評価法ガイドライン作成小委員会委員
	(公社) 空気調和・衛生工学会 換気設備委員会委員
高専研究ネットワーク未来防災システム研究会会員 (2015.2設立 (名誉会長))	

人文科学部門

吉永 進一	日本宗教学会理事
	日本近代仏教史研究会運営委員
	Japanese Religions (NCC Center for the Study of Japanese Religions) 編集長
牧野 雅司	眠れる近代化遺産 海軍第三火薬廠, 舞鶴工業高等専門学校公開講座, (2019.3.16), 於・舞鶴工業高等専門学校

自然科学部門

上杉 智子	特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会, 物理チャレンジ実行委員会 理論問題部会, 委員, (2018.4~2019.3)
	特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会, 国際物理オリンピック派遣委員会 理論研修部会, 委員, (2018.4~2019.3)
高倉 克人	日本油化学会東海支部, 常任幹事 (2018.4~2019.3)
	日本油化学会当会支部, 学術専門委員 (2018.4~2019.3)
	日本化学会東海支部, 化学教育部会員 (2018.4~2019.3)
宝利 剛	日本物理学会2018年秋季大会, 16pS34後半, 座長, (2018.9.16)
	日本物理学会第74回年次大会, 17pK403後半, 座長, (2019.3.17)
	The 2nd Workshop on Mathematics and Physics in General Relativity, 主催, (2019.3.23~2019.3.24)

機械工学科

篠原 正浩	先端材料技術協会 (SAMPE Japan) コンポジット委員会, 事務局, (2018年度)
	日本材料学会複合材料部門委員会, 委員, (2018年度)
	関西工学教育協会高専部会, 幹事, (2018年度)

	SAMPE-Japan 先端材料技術協会 京都国際会議 2018 (JISTES 2018 Kyoto) 実行委員会事務局, (2018. 7. 12, 13)
	第10回自動車用途コンポジットシンポジウム実行委員, (2018. 11. 16)
小林 洋平	2018年度 日本機械学会年次大会 再生可能エネルギー(1), 座長, 日本機械学会, 関西大学
野毛 宏文	第56回燃焼シンポジウム実行委員, (2018. 11. 14~2018. 11. 16)

電気情報工学科

片山 英昭	全国高等専門学校プログラミングコンテスト委員会, ブロック委員, (2018. 1~2018. 12)
井上 泰仁	情報処理学会, 高専教育委員会, 委員, (2018. 4. 1~2019. 3. 31)
七森 公碩	平成30年度電気学会産業応用部門大会, パワーエレクトロニクス (DC-DCコンバータI), 座長, (2018. 8. 28)
	電気学会, 論文委員会 (D 1 グループ) 委員, (2018. 10~2021. 3)
	電気学会, 論文委員会 (D 6 グループ) 委員, (2018. 10~2021. 3)
平地 克也	電子情報通信学会ソサイエティ論文誌編集委員会査読委員, (2014. 6~2019. 3)
	電気学会, 論文委員会 (D 1 グループ) 委員, (2009. 12~2019. 3)
	パワーエレクトロニクス学会, 査読委員, (2012. 6~2019. 3)

電子制御工学科

野間 正泰	日本トライボロジー学会, ”超” を目指す軸受技術研究会, 幹事, (2018. 4. 1~2019. 3. 31)
	関西潤滑懇談会, 理事, (2018. 4. 1~2019. 3. 31)
高木 太郎	電気学会, データ駆動制御とモデルベースド制御の相互強化とその応用展開調査専門委員会, 幹事, (2016. 10. 1~2018. 9. 30)
	第6回制御部門マルチシンポジウム, 実行委員, (2019. 3. 6~2019. 3. 9)

建設システム工学科

尾上 亮介	京都府景観アドバイザー, (2018. 4. 1~2023. 3. 31)
毛利 聡	コンクリート工学年次大会2018 (神戸) 実行委員会委員 (2017. 6~2018. 7)

教 職 員 の 活 動 状 況

受 賞

	校長	内海 康雄	(公社) 空気調和・衛生工学会 功績賞 (内部発熱の偏在化に対応した空調システムの設計法の提案ならびに熱環境シミュレーションに係わる最新動向調査) (2018. 5)
機械工学科	教授	豊田 香	Outstanding paper awards, 2019 International Conference on Engineering and Natural Science-Bangkok, (2019. 3. 15)
機械工学科	講師	村上信太郎	Outstanding paper awards, 2019 International Conference on Engineering and Natural Science-Bangkok, (2019. 3. 15)
電子制御工学科	准教授	清原 修二	優秀ポスター賞, 日本高専学会第24回年会講演会, 伊藤 大洋, 清原 修二, 福田 京平, 石川 一平, 針谷 達, 谷本 壮, 滝川 浩史, 倉島 優一. (2018. 9. 1)
			プレゼン大会準優勝, THE 高専@SEMICON Japan 2018, 清原 修二, Nakul Thanatith, 伊藤大洋, 伊東成留, 福田京平, 石川一平, 針谷 達, 谷本 壮, 滝川浩史, 倉島優一. (2018. 12. 12-14)
			論文発表賞, 平成30年度電気学会関西支部高専卒業研究発表会, 伊藤大洋, 清原修二, 石川一平, 針谷達, 谷本壮, 滝川浩史, 倉島優一. (2019. 3. 2)

地域・社会活動

地域・社会業績	1 4 3
公開講座	1 4 3
出前授業	1 4 8
産学連携事業	1 5 1
学外講演，講習，展示	1 5 2
地域共同テクノセンター技術相談	1 5 6
地域委員	1 5 9

地 域 ・ 社 会 業 績

公開講座

講座名	講 師 名	開講期日	開講時間	受 講 対象者	募集 人数	受講 者数
社会基盤メンテナンス教育センター e+iMec講習会 【基礎編（橋梁点検）】 （2日間）	玉田 和也 嶋田 知子 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 前川 潤美 田谷 友美	年間10回	(1日目) 9:30～18:00 (2日目) 9:00～16:00	行政機関技術 職員及び民間 企業技術者	各10名	延べ 81名
社会基盤メンテナンス教育センター 滋賀メンテナンス技術者養成講座 e+iMec講習会【基礎編（橋梁点検）】 （3日間×3回）	玉田 和也 嶋田 知子 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 前川 潤美	H30. 4. 13 ～4. 15 H30. 6. 1 ～6. 3 H30. 6. 29 ～7. 1	(1日目) 9:30～18:00 (2日目) 9:00～16:40 (3日目) 9:30～12:00	滋賀県メンテ ナンス技術者 養成協議会	各10名	延べ 26名
社会基盤メンテナンス教育センター 准橋梁点検技術者切替講習会 （1日間×2回）	玉田 和也 嶋田 知子 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 前川 潤美	H30. 6. 15 H30. 7. 6	9:00～15:00	平成27年度以 前のiMec講習 会（基礎編） 修了者	各20名	延べ 13名
「はまっこ夜の市」出展 光であそぼう～アルミ板の万華鏡作製～ ※中止	石川 一平	H30. 7. 14	18:00～21:00	小中学生及び 一般市民	随時	-
「はまっこ夜の市」出展 光であそぼう～立体像の浮かぶ箱～	上杉 智子	H30. 7. 14	18:00～21:00	小中学生及び 一般市民	随時	48名
「はまっこ夜の市」出展 舞鶴高専の工作教室	金山 光一 加登 文学	H30. 7. 21	18:00～21:00	小中学生及び 一般市民	随時	55名
夏休み太陽電池教室 ～太陽電池で遊ぼう～	内海 淳志 石川 一平	H30. 7. 22	9:30～11:30	小学4～6年生 とその保護者	10名	10名
夏休み太陽電池教室 ～太陽電池を作ろう～	内海 淳志 石川 一平	H30. 7. 22	13:00～15:00	中学生と その保護者	10名	10名
丹後の昔話を知ろう （舞鶴市大浦会館）	畑 恵里子	H30. 7. 27	19:00～20:00	地元の小学生 及びその保護者	30名	12名
教育研究支援センター公開講座 水中 UF0 キャッチャーをつくろう ※中止	西村 良平 櫻井 一樹 梶田 勲 植田 邦明 畑 亮次	H30. 7. 29	10:00～12:00	小学生	30名	-
教育研究支援センター公開講座 水中 UF0 キャッチャーをつくろう （舞鶴市大浦会館）	西村 良平 櫻井 一樹 梶田 勲 植田 邦明 畑 亮次	H30. 8. 3	9:30～12:00	小学生	15名	17名
住まいの設計と模型作成	徳永 泰伸 加登 文学	H30. 8. 4	13:00～16:00	小学5年生～ 中学生	10名	8名

講座名	講師名	開講期日	開講時間	受講対象者	募集人数	受講者数
社会基盤メンテナンス教育センター e+iMec 講習会【基礎編（橋梁点検）】 （2日間）	玉田 和也 嶋田 知子 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 前川 潤美	H30.8.4 ～8.5	(1日目) 9:30～18:00 (2日目) 9:00～16:00	兵庫県 建設業協会	各10名	10名
レオナルド・ダ・ヴィンチの橋をつくろう！～模型で学ぶ橋の仕組みと形～ （ショッピングセンターらぼーる）	玉田 和也 加登 朋恵 重村 清美	H30.8.7	14:00～15:30	小学生と その保護者	20名	19名
丹後の昔話を知ろう2 （舞鶴市大浦会館）	畑 恵里子	H30.8.10	9:30～11:00	地元の小学生	20名	17名
空気抵抗の小さな浮子とルアーを作ってみよう	小林 洋平	H30.8.18	10:00～12:00	小・中学生 高校生・一般	30名	3名
電子制御工学科公開講座 6足歩行ロボットをつくろう！ （ミッション・イン・ブッシュ 製作講習会）	石川 一平 野間 正泰 畑 亮次	H30.8.19	10:00～16:00	小学生 （4年生以上）	20名	20名
電子制御工学科公開講座 リモコンロボットをつくろう！ （ストレート・ダイス 製作講習会）	高木 太郎 町田 秀和 若林 勇太	H30.8.19	10:00～15:00	中学生	20名	20名
社会基盤メンテナンス教育センター e+iMec講習会【応用編（橋梁点検）】 （3日間×2回）	玉田 和也 嶋田 知子 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 前川 潤美 田谷 友美	H30.8.24 ～8.26 H30.9.5 ～9.7	(1日目) 13:00～17:15 (2日目) 9:00～17:15 (3日目) 9:00～17:15	行政機関技術 職員及び民間 企業技術者	各10名	延べ 15名
電子顕微鏡で絵を描こう	小林 洋平	H30.8.25	10:00～12:00	中学生	6名	3名
夏休み親子工作教室 ～作って学ぶソーラーカー～	内海 淳志 井上 泰仁 福井 繁雄	H30.8.25	8:30～12:30	小学生及び その保護者	16名	12名
第8回舞鶴高専パワーエレクトロニクス公開講座 「LLCコンバータの基礎から応用まで」	平地 克也 七森 公碩	H30.9.1	13:30～16:30	主に 企業技術者	40名	42名
出張！公開講座in京都 「LEGOロボット製作と iPadを利用したプログラミング」	川田 昌克	H30.9.2	13:00～14:30	中学生	25名	22名
出張！公開講座 in 三田 「ノギスの作成と使い方～長さの測定～」	谷川 博哉	H30.9.8	14:45～16:15	中学生	30名	13名
出張！公開講座 in 三田 「デジタル画像の基礎と電子透かし」	芦澤 恵太	H30.9.8	14:45～16:15	中学生	30名	13名
考えて動かそう！きみにもできるロボットづくり	室巻 孝郎 須田 敦氏	H30.9.8	13:00～17:00	小・中学生	8名	9名
3D-CADを使ってみよう！ パソコンで3Dモデル組立て	室巻 孝郎 須田 敦氏	H30.9.9	13:00～17:00	中学生	8名	6名

講座名	講師名	開講期日	開講時間	受講対象者	募集人数	受講者数
操ろう!!東舞鶴イルミネーション!!	片山 英昭 七森 公碩 中川 重康 内海 淳志 井上 泰仁	H30. 9. 13, 14, 18, 10. 27	(9. 13, 14, 18) 16:00～18:00 (10. 27) 11:00～17:00	若浦中学校 3年生	20名	13名
入試説明会同時開催in舞鶴 「エンジンを作ろう！」	山田耕一郎	H30. 9. 17	12:50～14:55	中学生	25名	20名
入試説明会同時開催in舞鶴 「ゲーム開発を体験しよう！」	井上 泰仁	H30. 9. 17	12:50～14:55	中学生	25名	17名
入試説明会同時開催in舞鶴 「LEGOロボット製作と iPadを利用したプログラミング」	高木 太郎	H30. 9. 17	12:50～14:55	中学生	25名	23名
入試説明会同時開催in舞鶴 「建築家が設計した住宅建築の 模型を作ってみよう！」	尾上 亮介	H30. 9. 17	12:50～14:55	中学生	25名	4名
出張！公開講座in滋賀 「LEGOロボット製作と iPadを利用したプログラミング」	川田 昌克	H30. 9. 23	13:00～14:30	中学生	25名	16名
出張！公開講座in滋賀 「レオナルド・ダ・ヴィンチの橋を つくろう！～模型で学ぶ橋の仕組 みと形～」	玉田 和也	H30. 9. 23	13:00～14:30	中学生	20名	9名
中学生のためのナノテクノロジー 体験教室 ※台風により11/18に延期	清原 修二	H30. 9. 30	13:30～15:30	中学生	10名	-
出張！公開講座 in 亀岡 「ノギスの作成と使い方～長さの測定～」	山田耕一郎	H30. 10. 8	13:00～14:30	中学生	20名	10名
出張！公開講座 in 亀岡 「デジタル画像の基礎と電子透かし」	芦澤 恵太	H30. 10. 8	13:00～14:30	中学生	20名	10名
京都進学セミナー峰山校にて開催 「ペットボトル掃除機をつくってみよう」	野毛 宏文	H30. 10. 20	15:00～16:30	小学生	20名	14名
滋賀けんせつみらいフェスタ2018出展 「実験で学ぶ土木と防災」	加登 文学	H30. 10. 20	10:00～15:30	一般市民	随時	100名
赤れんがフェスタin舞鶴2018出展 「本校学生の作品を用いた 電気情報分野の体験と理解」	片山 英昭 竹澤 智樹 七森 公碩 井谷 武史	H30. 10. 20	9:30～17:30	一般市民	随時	100名
赤れんがフェスタin舞鶴2018出展 「本校学生の作品を用いた 情報通信分野の体験と理解」	片山 英昭 竹澤 智樹 丹下 裕 七森 公碩 井谷 武史 福井 繁雄	H30. 10. 21	9:30～17:30	一般市民	随時	100名

講座名	講師名	開講期日	開講時間	受講対象者	募集人数	受講者数
赤れんがフェスタin舞鶴2018出展 「MDF材ネームプレートを作成しよう」 「ハローウィンのLEDライトスタンドを作ろう」 「ペーパークラフトをしよう」 「女子プロジェクト 女子目線でものづくりを考える」	山田耕一郎 船木 英岳 芦澤 恵太 高本 優也 西村 良平	H30. 10. 20 ～10. 21	(1日目) 10:00～17:00 (2日目) 10:00～16:00	一般市民	随時	200名程度
出張！公開講座 in 京都 水をきれいにする試み ～快適な環境の創造実験～	四蔵 茂雄	H30. 10. 21	13:00～14:30	中学生	10名	7名
社会基盤メンテナンス教育センター e+iMec講習会【地盤と斜面】 (2日間)	玉田 和也 嶋田 知子 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 前川 潤美 田谷 友美	H30. 10. 29 ～10. 30	(1日目) 9:00～17:30 (2日目) 9:00～16:30	行政機関 技術職員	10名	9名
社会基盤メンテナンス教育センター e+iMec講習会【舗装と防水層】	玉田 和也 嶋田 知子 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 前川 潤美 田谷 友美	H30. 11. 1	9:00～16:50	行政機関技術 職員及び民間 技術者	10名	3名
高専祭出展 「光であそぼう」	上杉 智子 内海 淳志 宝利 剛	H30. 11. 3	9:00～16:00	小中学生 一般市民	随時	88名
高専祭出展 「防災について学ぼう」	上杉 智子 金山 光一 加登 文学	H30. 11. 4	9:00～16:00	小中学生 一般市民	随時	72名
電子制御工学科公開講座 6足歩行ロボットをつくろう！ (ミッション・イン・ブッシュ 競技会)	石川 一平 野間 正泰 清原 修二 高木 太郎 畑 亮次	H30. 11. 3	9:00～16:00	小学生 (4年生以上)	20名	18名
電子制御工学科公開講座 リモコンロボットをつくろう！ (ストレート・ダイス 競技会)	石川 一平 伊藤 稔 町田 秀和 高木 太郎 若林 勇太	H30. 11. 4	9:00～16:00	中学生	20名	19名
3Dプリンターを用いた クリスマスオブジェの制作	丹下 裕 片山 英昭 福井 繁雄 井谷 武史	H30. 11. 4	13:00～17:00	小学4年生～ 中学生	30名	27名
第23回青少年のための科学の祭典出展 「プログラミング教室」	井上 泰仁	H30. 11. 10	10:00～16:00	小・中学生 一般市民	150名	50名

講座名	講師名	開講期日	開講時間	受講対象者	募集人数	受講者数
社会基盤メンテナンス教育センター e+iMec講習会 【コンクリートの品質管理】 (4日間)	毛利 聡 嶋田 知子 河岸 明 加登 朋恵 重村 清美 前川 潤美 田谷 友美	H30. 11. 10, 11, 20, 25	(1日目) 10:00～17:00 (2日目) 9:00～16:00 (3日目) 9:00～14:30 (4日目) 13:00～15:00	行政機関 技術職員	10名	12名
小・中学生のためのナノテクノロジー 体験教室	清原 修二	H30. 11. 18	13:30～15:30	小学4年生～ 中学生	10名	9名
教育研究支援センター公開講座 カラフルな色でメロディをつくろう ～電子オルゴールを組み立てよう～	櫻井 一樹 西村 良平 榊田 勲 植田 邦明 畑 亮次	H30. 12. 8	10:00～12:30	小学4年生～ 中学生	15名	15名
フルカラーLEDで七色に光る クリスマスオブジェを作ろう！！	丹下 裕 片山 英昭 福井 繁雄 井谷 武史	H30. 12. 22	13:00～17:00	小学4年生～ 中学生	30名	26名
さわやかエネルギー風車入門	小林 洋平	H31. 1. 26	10:00～12:00	小中学生	10名	8名
住宅建築模型制作	尾上 亮介 高本 優也	H31. 2. 2	13:00～15:00	小学4年生～ 中学生	10名	10名
科博連サイエンスフェスティバル出展 「MDF材を用いてネームプレートを 作ろう」 「フルカラーLEDを用いたものづくり」	山田耕一郎 片山 英昭	H31. 2. 3	9:00～17:00	一般市民	随時	80名
ドローンを飛ばそう	小林 洋平	H31. 2. 23	9:00～15:00	中学生	6名	4名
舞鶴地方史研究会共催 眠れる近代化遺産 海軍第三火薬廠跡 ～その過去・現在・未来について考える～	牧野 雅司 毛利 聡 今村友里子 関本長三郎	H31. 3. 16	14:00～17:00	一般市民 (中学生以上)	60名	82名
第9回舞鶴高専パワーエレクトロニクス 公開講座 「DABコンバータの基礎から応用まで」	平地 克也	H31. 3. 23	13:30～16:30	企業技術者	40名	31名

出前授業

授 業 名	講 師 名	実施期日	実施場所等	対象者
舞鶴市立若浦中学校 出前授業 ①ノギスの作成と使い方 ②東舞鶴駅イルミネーションを操ろう ③LEGOロボット製作とiPadを利用したプログラミング ④インテリアコーディネート「ESUのある部屋」	山田耕一郎 中川 重康 七森 公碩 川田 昌克 尾上 亮介	H30. 6. 21	若浦中学校	3年生
志楽ダイヤモンド協議会主催 出前授業 「高専のロボットたちがやって来る2018」	西山 等	H30. 6. 23	志楽小学校 体育館	志楽地域の幼稚園・保育園児、小学生等
志楽ダイヤモンド協議会主催 出前授業 「羽ばたき飛行機を作ろう」	野毛 宏文	H30. 6. 23	志楽小学校 体育館	小学生
舞鶴ESD研究会 学習会 ～命の教育として『防災学習』を考える～	加登 文学 尾上 亮介	H30. 6. 23	舞鶴工業高等 専門学校	舞鶴市内 教育関係者 (小中高教員)
京丹後市立丹後中学校 出前授業 「プログラミング教室 ～ブロックを使ったプログラミング～」	井上 泰仁	H30. 7. 3	京丹後市立 丹後中学校	3年生
舞鶴市身体障害者福祉センター 出前授業 「みんなにもできる、がんの予防について！」	丹下 裕	H30. 7. 6	舞鶴市身体障害者 福祉センター	市内在住の 障害者と家族、 ボランティア 等
舞鶴市立三笠小学校 出前授業 「マープリングをしてみよう！」 「身近な物体まわりの流れを見てみよう！」	野間 正泰	H30. 7. 12	三笠小学校	1年生
舞鶴市立城北中学校 出前授業 「防災学習(液状化現象を学ぶ)」	加登 文学 上野 卓也 西村 良平	H30. 7. 17	城北中学校	2年生
舞鶴市立志楽小学校 出前授業 「段ボールで作る動くおもちゃ」	丹下 裕 福井 繁雄 井谷 武史	H30. 8. 17	志楽小学校	1～4年生
京都府立舞鶴支援学校 出前授業 ・講演「特別支援学校における教材作成と活用」 ・支援機器やタブレット端末の活用事例の交流 ・iPadに関する講習会	舩木 英岳 福井 繁雄 畑 亮次 井谷 武史	H30. 8. 21	京都府立 舞鶴支援学校	京都府立 舞鶴支援学校 教職員
京都市立西京極中学校 出前授業 「光で測る脈拍計」	内海 淳志	H30. 8. 29	京都市立 西京極中学校	3年生
舞鶴東ロータリークラブ例会 出前授業 「ロボコン」に関する卓話	西山 等	H30. 9. 13	ホテルマーレ たかた	舞鶴東 ロータリー クラブ会員
舞鶴市身体障害者福祉センター 出前授業 「3Dプリンターで作る立体の造形」	丹下 裕 福井 繁雄 井谷 武史	H30. 9. 18	舞鶴市身体障害者 福祉センター	一般市民
舞鶴市立和田中学校 出前授業 「LEGOロボット製作と iPadを利用したプログラミング」	川田 昌克	H30. 9. 20	和田中学校	2年生

授 業 名	講 師 名	実施期日	実施場所等	対象者
舞鶴市立和田中学校 出前授業 「技術・家庭(木材編)～木材にヒントを得た断熱材の形成実験ならびに木工ガジェット製作～」	野毛 宏文	H30. 9. 20	和田中学校	1年生
朝来小学校科学クラブ 出前授業 「3Dプリンタのためのプログラミング体験」 「使い捨てカイロの作製」 「ヒューマンサウンダ」	丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次 井谷 武史	H30. 10. 2 H30. 11. 20 H30. 12. 11	朝来小学校	科学クラブ 4～6年生
志楽子育て支援協議会 出前授業 「ペットボトルで動くおもちゃ」	丹下 裕 福井 繁雄	H30. 10. 20	志楽小学校	1～6年生
舞鶴市身体障害者福祉センター 出前授業 「3Dプリンターで作った立体造形を使ったオブジェ作り」	丹下 裕 福井 繁雄 井谷 武史	H30. 10. 23	舞鶴市身体障害者福祉センター	一般市民
井手町立泉ヶ丘中学校 出前授業 「LEGOロボット製作とiPadを利用したプログラミング」	川田 昌克 芦澤 恵太	H30. 10. 30	井手町立泉ヶ丘中学校	3年生
舞鶴市立城北中学校 出前授業 「住まいの設計」	尾上 亮介 加登 文学 徳永 泰伸 今村友里子 西村 良平 高本 優也	H30. 11. 1 H30. 11. 15 H30. 11. 19	城北中学校	2年生
舞鶴市立加佐中学校 出前授業 「住まいの設計」	加登 文学 徳永 泰伸	H30. 11. 13	加佐中学校	2年生
やまもも保育園 出前授業 「レーザーカットした材料でそりや動物を作ろう」 「ピタゴラ装置の展示」	室巻 孝郎 谷川 博哉	H30. 11. 17	舞鶴工業高等専門学校	幼児3～6歳
舞鶴市立朝来小学校 地域ふれあいクラブ 「マッピングをしてみよう！」 「身近な物体まわりの流れを見てみよう！」	野間 正泰 畑 亮次	H30. 11. 17	朝来小学校	理科クラブ
木津川市立木津第二中学校 出前授業 「宇宙に関する授業」	宝利 剛	H30. 11. 26	木津川市立木津第二中学校	3年生
舞鶴市立与保呂小学校 出前授業 「UVレジンアクセサリを作ろう」	内海 淳志	H30. 12. 14	与保呂小学校	科学クラブ 4～6年生
舞鶴市立城北中学校 出前授業 「スマホやタブレットで操作するIoTラジコンおよびモータ制御」	町田 秀和	H30. 12. 18 H30. 12. 20	城北中学校	2年生
LEGOロボット製作とiPadによるプログラミング	川田 昌克	H30. 12. 25	北部産業創造センター	小学校5年生～中学生
京都府立舞鶴支援学校 出前授業 「3Dプリンタで作る立体造形の導入教育とLEDイルミネーションの制作」	舩木 英岳 福井 繁雄 畑 亮次 井谷 武史	H30. 12. 26	京都府立舞鶴支援学校	京都府立舞鶴支援学校教職員

授 業 名	講 師 名	実施期日	実施場所等	対象者
舞鶴市立白糸中学校 出前授業 「住まいの設計」	尾上 亮介 加登 文学 徳永 泰伸 渡部 昌弘 毛利 聡 今村友里子 西村 良平 高本 優也	H31. 1. 31 H31. 2. 7	白糸中学校	2年生
舞鶴市立与保呂小学校科学クラブ 出前授業 「光で遊ぼう～光で落書き～」	内海 淳志	H31. 2. 15	与保呂小学校	科学クラブ 4～6年生
舞鶴市立若浦中学校 出前授業 「プログラムによる計測制御」	井上 泰仁 中川 重康 芦澤 恵太 内海 淳志 片山 英昭	H31. 3. 6 H31. 3. 20	若浦中学校	2年生
舞鶴市立若浦中学校音楽創美部 出前授業 「音楽作成ソフトウェアの指導と プログラムによる音の計測制御」	中川 重康 芦澤 恵太 内海 淳志 井上 泰仁	H31. 2. 12～ 複数回	若浦中学校	音楽創美部
京都府立舞鶴支援学校行永分校 出前授業 「フィードバック付きタイマーの製作」	舩木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次 井谷 武史	H31. 3. 22	京都府立 舞鶴支援学校 行永分校	特別支援学校 教員
京都府立舞鶴支援学校 出前授業 「支援機器やタブレット端末の活用事例の交流」 「スイッチや支援機器の活用や作成についての 個別相談」	舩木 英岳 丹下 裕 福井 繁雄 畑 亮次 井谷 武史	H31. 3. 27	京都府立 舞鶴支援学校	京都府立 舞鶴支援学校 教職員

産学連携事業

連携事業名称	連携先	実施期間	指導者
専攻科エンジニアリングデザイン演習	株式会社堀場製作所 株式会社日進製作所 株式会社氷上製作所	H30. 10 ～H31. 1	篠原 正浩 舩木 英岳 野間 正泰
教育コーディネーターを活用した「工作, 材料, 機械設計」の質的保障の推進とそれらの摩耗特性および各種ねじの加工への応用	株式会社日進製作所 日東精工株式会社	H30. 4 ～H31. 4	山田耕一郎
地域企業との連携による地域を担う機械技術者の育成	オムロン株式会社 綾部工場	H30. 12 ～H31. 2	豊田 香 山田耕一郎 室巻 孝郎
地域企業との連携による地域を担う機械技術者の育成	株式会社椿本チエイン	H30. 10～11	豊田 香 山田耕一郎 室巻 孝郎
地域企業との連携による地域を担うメカトロ技術者の育成	オムロン株式会社 綾部工場	H30. 11. 19 H31. 2. 25	仲川 力 町田 秀和
京都府の港湾を題材とした港湾管理に関する学習	京都府港湾局	H30. 11. 27	上野卓也 加登文学

学外講演，講習，展示

人文科学部門

牧野 雅司	城とはなにか，戦国時代の舞鶴をたどる講演会，(2018. 5. 27)，舞鶴西総合会館林業センター
	東郷平八郎と舞鶴，中舞鶴の歴史・くらし探検隊 公開講座，(2018. 9. 9)，舞鶴市中総合会館
	丹後の海はどこまでつながる？～由良の幸福丸が行く，明治の海～，舞鶴地方史研究会2月例会，(2019. 2. 3)，舞鶴市西公民館

自然科学部門

上杉 智子	公開講座「光であそぼう」，講師，はまっこ夜の市，八島商店街「産直マート」店舗内，舞鶴市，(2018. 7. 14)
	公開講座「光であそぼう」，講師，高専祭，本館B403室，舞鶴市，(2018. 11. 3)
	公開講座「防災について学ぼう」，講師，高専祭，本館B403室，舞鶴市，(2018. 11. 4)
宝利 剛	公開講座，「光で遊ぼう」ミラー貯金箱を作ろう，舞鶴工業高等専門学校，(2018. 11. 3)
	出前授業，宇宙の広さを感じよう，木津川市立木津第二中学校，(2018. 11. 26)

機械工学科

西山 等	ロボット展示，高専のロボットたちがやってくる2018，志楽ダイヤモンド協議会，舞鶴市，(2018. 6. 23)
	ロボコンに関する卓話，舞鶴東ロータリークラブ例会，ホテルマーレたかた，舞鶴市，(2018. 9. 13)
山田耕一郎	出前授業，舞鶴市立若浦中学校，(2018. 6. 21)
	公開講座，舞鶴工業高等専門学校，(2018. 9. 17)
	公開講座，ガレリア亀岡，(2018. 10. 8)
	公開講座，舞鶴赤れんがパーク，(2018. 10. 20～21)
	公開講座，京都市青少年科学センター，(2019. 2. 3)
小林 洋平	空気抵抗の小さい浮子とルアーを作ろう，舞鶴高専公開講座，(2018. 8. 18)
	電子顕微鏡で絵を描こう，舞鶴高専公開講座，(2018. 8. 25)
	さわやかエネルギー 風車入門，舞鶴高専公開講座，(2019. 1. 26)
	ドローンを飛ばそう，舞鶴高専公開講座，(2019. 2. 23)
	地域に存在する重要課題を通して育成する課題解決力の高い社会実装型技術者育成プログラム成果報告，” KOSEN（高専）4.0” イニシアティブ事業 成果報告会，(2019. 3. 18)
野毛 宏文	歯車をテーマとした作品展示，秋の特別企画「まわす？まわる！」，あそびあむ，舞鶴市，(2018. 11. 10～11. 25)
室巻 孝郎	公開講座「考えて動かそう！きみにもできるロボットづくり」，舞鶴高専，(2018. 9. 8)
	公開講座「3D-CADを使ってみよう！パソコンで3Dモデル組立て」，舞鶴高専，(2018. 9. 9)
	出前授業「レーザーカットした材料でそりや動物を作ろう」，舞鶴高専，(2018. 11. 17)

電気情報工学科

中川 重康	出前授業「プログラムで操る楽しさ，イルミネーション・オブジェで実感!!」，若浦中学校，(2018. 6. 21)
	公開講座「操ろう!!東舞鶴駅イルミネーション!!」，若浦中学校，(2018. 9. 13, 9. 14, 9. 18, 10. 27)
	出前授業，若浦中学校「音楽創美部；音楽作成ソフトウェアの指導など」，(2019. 2. 12～3. 19)

	出前授業, 若浦中学校「技術; プログラムによる計測と制御」, (2019. 3. 6, 3. 20)
船木 英岳	iPad miniの活用, 出前授業, 京都府立舞鶴支援学校, 舞鶴市, (2018. 8)
	3Dプリンタで作る立体造形の導入教育とLEDイルミネーションの製作, 出前授業, 京都府立舞鶴支援学校, 舞鶴市, (2018. 12)
内海 淳志	公開講座, 夏休み太陽電池教室～太陽電池で遊ぼう～(小学生対象), 舞鶴高専, 舞鶴市, (2018. 7. 22)
	公開講座, 夏休み太陽電池教室～太陽電池を作ろう～(中学生対象), 舞鶴高専, 舞鶴市, (2018. 7. 22)
	公開講座, 夏休み親子工作教室～作って学ぶソーラーカー～, 舞鶴市大浦会館, 舞鶴市, (2018. 8. 25)
	出前授業, 電子回路で健康診断～光で測る脈拍計～, 京都市立西京極中学校, 京都市, (2018. 8. 29)
	公開講座, 光で遊ぼう～光の性質を知ろう～, 舞鶴高専, 舞鶴市, (2018. 11. 3)
	出前授業, UVレジンアクセサリを作ろう, 与保呂小学校, 舞鶴市, (2018. 12. 14)
	出前授業, 光で遊ぼう～光で落書き～, 与保呂小学校, 舞鶴市, (2019. 2. 15)
	イルミネーション展示, 舞鶴市イルミネーション設置事業, 東舞鶴駅, 舞鶴市, (2018. 11. 20～2019. 2. 20)
丹下 裕	講演, みんなにもできるがんの予防について, 舞鶴市身体障害者福祉センター, 舞鶴市, (2018. 7. 6)
	出前授業, 段ボールで作る動くおもちゃ, 志楽小学校学童クラブ, 舞鶴市, (2018. 8. 17)
	出前授業, 3Dプリンターで作る立体の造形, 舞鶴市身体障害者福祉センター, 舞鶴市, (2018. 9. 18)
	出前授業, 3Dプリンターで作った立体造形を使ったオブジェ作り, 舞鶴市身体障害者福祉センター, 舞鶴市, (2018. 10. 23)
	3Dプリンタのためのプログラミング体験, 出前授業, 舞鶴市立朝来小学校理科クラブ, 舞鶴市, (2018. 10. 2)
	出前授業, ペットボトルで作る動くおもちゃ, 志楽子育て支援協議会, 舞鶴市, (2018. 10. 20)
	公開講座, 3Dプリンターを用いたクリスマスオブジェの制作, 舞鶴高専, 舞鶴市, (2018. 11. 4)
	出前授業, 使い捨てカイロの作製, 舞鶴市立朝来小学校理科クラブ, 舞鶴市, (2018. 11. 20)
	出前授業, ヒューマンサウンダ, 舞鶴市立朝来小学校理科クラブ, 舞鶴市, (2018. 12. 11)
	公開講座, フルカラーLEDで七色に光るクリスマスオブジェを作ろう!!, 舞鶴高専, 舞鶴市, (2018. 12. 22)
井上 泰仁	出前授業, ブロックを使ったプログラミングを体験しよう, 京丹後市立丹後中学校, (2018. 7. 3)
	公開講座, ゲーム開発を体験しよう 傾きセンサーを利用したゲームを作ってみよう, 舞鶴工業高等専門学校, (2018. 9. 17)
	公開講座, プログラミング教室, 青少年のための科学の祭典京都大会, 京都市青少年科学センター, (2018. 11. 10)
七森 公碩	出前授業「プログラムで操る楽しさ、イルミネーション・オブジェで実感!!」, 講師, 若浦中学校出前授業, 舞鶴市, (2018. 6. 21)
	公開講座「操ろう!! イルミネーション!!」, 講師, 舞鶴高専公開講座, 舞鶴市, (2018. 9. 11～18) 土日を除く
	赤レンガフェスタ「舞鶴高専 ものづくり体験コーナー」, 出展者, 舞鶴観光協会, 舞鶴市, (2018. 10. 20～21)
金山 光一	公開講座「舞鶴高専の工作教室(COC+事業)」, 八島商店街 産直マート店舗, 舞鶴市, (2018. 7. 21)
	公開講座「防災について学ぼう」, 高専祭, 舞鶴高専B403室, 舞鶴市, (2018. 11. 4)
平地 克也	第8回舞鶴高専平地研究室パワーエレクトロニクス公開講座, 講師, メルパルク京都, (2018. 9. 1)

	第9回舞鶴高専平地研究室パワーエレクトロニクス公開講座, 講師, メルパルク京都, (2019. 3. 23)
	ソフトスイッチングの常識と現実, 第33回電源システム技術シンポジウム, 講師, 日本能率協会, (2018. 4. 20)
	DC/DCコンバータの基礎と設計・開発のポイント, セミナー講師, 日本テクノセンター, (2018. 8. 20)

電子制御工学科

野間 正泰	出前授業「マープリングをしてみよう!」, 「身近な物体まわりの流れを見てみよう!」, 舞鶴市立三笠小学校, 1年生29名, 舞鶴市, (2018. 7. 12)
	出前授業「マープリングをしてみよう!」, 「身近な物体まわりの流れを見てみよう!」, 舞鶴市立朝来小学校, 4~6年生9名, 舞鶴市, (2018. 11. 17)
川田 昌克	プログラミング体験教室, 講師, 北部産業創造センター, 綾部市, (2018. 12)
	PID 制御の基礎, 講師, 堺市, 日本テクノセンター, (2019. 3)
町田 秀和	出前授業: 舞鶴市立城北中学校, 「スマホやタブレットで操作するIoTラジコン及びモータ制御」 (2018. 12. 18および12. 20)
清原 修二	公開講座「小・中学生のためのナノテクノロジー体験教室」, 舞鶴高専地域共同テクノセンター, 舞鶴市, (2018. 11. 18)
	ポスターおよび研究装置展示, パネラー, THE 高専@SEMICON Japan 2018, 東京ビックサイト, 東京都江東区, (2018. 12. 12, 12. 14)

建設システム工学科

四蔵 茂雄	平成30年度ネイチャーガイド養成講座講師 (2018. 10. 23)
尾上 亮介	宮津景観シンポジウム, コーディネーター, 宮津市 (2018. 10)
	出前授業「住まいの設計」, 講師, 舞鶴市立城南中学校, 舞鶴市 (2018. 11)
	出前授業「住まいの設計」, 講師, 舞鶴市立白糸中学校, 舞鶴市 (2019. 1)
	公開講座「住宅建築模型制作」, 講師 (2019. 1)
加登 文学	地盤工学会「わかりやすい地盤工学基礎シリーズ講習会」(土のせん断、液状化), 講師, 東京, (2018. 6. 13)
	舞鶴ESD研究会学習会〜命の教育として、『防災学習』を考える〜, 講師, 舞鶴高専, (2018. 6. 23)
	出前授業, 「防災学習 (液状化現象を学ぶ)」, 舞鶴市立城北中学校, 舞鶴市, (2018. 7. 17)
	第1回舞鶴工業高等専門学校技術職員研修会「土木 (防災) のお話」, 講師, 赤れんがパーク4号棟, 舞鶴市, (2018. 9. 7)
	CPDS講習会「土木技術力向上講座ー土質工学ー」, 講師, 舞鶴市, (2018. 9. 8)
	出前授業, 「住まいの設計」, 講師, 舞鶴市立城北中学校, 舞鶴市, (2018. 11)
	出前授業, 「住まいの設計」, 講師, 舞鶴市立加佐中学校, 舞鶴市, (2018. 11. 13)
	出前授業, 「住まいの設計」, 講師, 舞鶴市立白糸中学校, 舞鶴市, (2019. 1. 31, 2. 1)
徳永 泰伸	ホール客席部における音響状態の弁別に関する研究, 講師, 日本音響学会東海支部平成30年度技術講習会, 名古屋市, (2018. 11. 21)
	出前授業「住まいの設計」, 講師, 舞鶴市立城北中学校, 舞鶴市, (2018. 11. 19)
	出前授業「住まいの設計」, 講師, 舞鶴市立加佐中学校, 舞鶴市, (2018. 11. 20)
	出前授業「住まいの設計」, 講師, 舞鶴市立白糸中学校, 舞鶴市, (2019. 1. 31)
渡部 昌弘	出前授業「住まい設計」, 講師, 舞鶴市立白糸中学校, 舞鶴市, (2019. 1. 31)
毛利 聡	iMec講習会「コンクリートの品質管理」, 講師, (2018. 11. 10, 11. 11, 11. 20, 11. 25)
	出前授業「住まいの設計」, 講師, 舞鶴市立白糸中学校, 舞鶴市, (2019. 1. 31)

	公開講座「眠れる近代化遺産 海軍第三火薬廠跡 ～その過去・現在・未来について考える～」, 講師, 舞鶴高専, (2019. 3. 16)
今村友里子	出前授業「住まいの設計」, 講師, 舞鶴市立城北中学校, 舞鶴市, (2018. 11. 19)
	出前授業「住まいの設計」, 講師, 舞鶴市立白糸中学校, 舞鶴市, (2019. 1. 31)
	公開講座:眠れる近代化遺産・海軍第三火薬廠跡～その過去・現在・未来について考える～, 講演, 舞鶴高専 (2018. 3)

地域共同テクノセンター技術相談

	相 談 内 容	対応教員	備考
1	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア 2018」について	須田 敦	○
2	モノレールについて、「京都ビジネス交流フェア 2018」について	須田 敦	○
3	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア 2018」について	須田 敦	○
4	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア 2018」について	須田 敦	○
5	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア 2018」について	須田 敦	○
6	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア 2018」について	須田 敦	○
7	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア 2018」について	須田 敦	○
8	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア 2018」について	須田 敦	○
9	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア 2018」について	須田 敦	○
10	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア 2018」について	須田 敦	○
11	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア 2018」について	須田 敦	○
12	産学連携について、「京都ビジネス交流フェア 2018」について	須田 敦	○
13	林業用モノレールについて	須田 敦	○
14	舞鶴市大浦会館サマーキャンプにおける公開講座（昔話）の可否	畑恵里子	○
15	NHK 大河ドラマ（明智光秀）に関する公開講座（細川ガラシャなど）の可否	畑恵里子	○
16	高松宮自筆和歌の鑑定	畑恵里子	○
17	市内より発見された『韓行日記』の今後の活用について相談	牧野雅司	○
18	市内小嶋正美氏への聞き取り調査について相談	牧野雅司	○
19	市内井上奥本家文書の調査と方向性について相談	牧野雅司	○
20	伝統産業で用いられている自動織機の改良について	金山光一	○
21	LLC コンバータの制御方法について	平地克也	○
22	LLC コンバータの磁束密度の計算方法 制御範囲拡大方法	平地克也	○
23	漏れインダクタンスの設計方法	平地克也	○
24	IoT を導入したいので、技術指導をお願いしたい	平地克也	○
25	LLC コンバータ用変圧器の入手方法	平地克也	○
26	LLC コンバータの動作の細部について 3 項目の問い合わせ	平地克也	○
27	ハーフブリッジ方式 DC/DC コンバータの 1 次側平滑コンデンサの電圧アンバランスの原因	平地克也	○
28	ハーフブリッジ方式 DC/DC コンバータの 2 次側整流ダイオードのサージ電圧抑制方法	平地克也	○
29	電気自動車用電気システムに関する研究について	七森公碩	○
30	ハタハタ(魚)の下処理への AI 活用について	町田秀和	○
31	丹後震災記念館の現状と利活用に関して	牧野・毛利・今村	○
32	宮津市の景観計画に関して	尾上亮介	○
33	京都府の景観アドバイザーに関して	尾上亮介	○
34	舞鶴市の都市計画に関して	尾上亮介	○

	相 談 内 容	対応教員	備考
35	旧市民病院跡地の整備における再生エネルギー導入について	尾上亮介	○
36	与謝野町の都市計画について	尾上亮介	○
37	宮津市市街地の道路整備と景観整備に関して	尾上亮介	○
38	小型家電収集管理システム導入に関して	尾上亮介	○
39	舞鶴市のゴミ減量に関して	尾上亮介	○
40	舞鶴港港湾計画に関して	尾上亮介	○
41	都市計画におけるドローンの活用について	加登文学	○
42	地盤工学に関する相談	加登文学	○
43	室牛地区の空撮について	加登文学	○
44	市道の土砂災害について	加登文学	○
45	上福井地区の土石流災害について	加登文学	○
46	町道橋梁長寿命化修繕計画策定についてのアドバイス	玉田和也	○
47	間人大橋の維持管理についての技術的相談	玉田和也	○
48	由良川大橋の塗装劣化に関する継続観察について	玉田和也	○
49	雪害で被災した人道橋の復旧に関する相談	玉田和也	○
50	ねじの疲労限度について	山田耕一郎	○
51	砥石の摩耗試験について	山田耕一郎	○
52	真空チャックの圧損評価法	西山 等	○
53	伝統産業で用いられている力織機の改良について	金山光一	○
54	伝統産業で用いられている力織機の改良について	金山光一	○
55	LLC コンバータに関する技術サポート依頼	平地克也	○
56	昇圧チョップパのカットオフ周波数について	平地克也	○
57	Lm と Cr を用いた共振形 DD コンの特性について	平地克也	○
58	圧粉鉄心を用いたリアクトルの自動車での使用方法と今後の動向について	平地克也	○
59	PFC+インバータシステムの効果的な絶縁方法について	平地克也	○
60	DAB 形 DD コンのスイッチングパターンについて	平地克也	○
61	LLC コンバータではなぜ出力側の平滑リアクトルが不要なのか	平地克也	○
62	LLC コンバータで変圧器が偏磁することはないか	平地克也	○
63	インバータの新しい回路方式の相談	平地克也	○
64	漏れインダクタンスと鉄心の飽和との関係について	平地克也	○
65	燃料電池を使ったシステムの設計をサポートしてほしい	平地克也	○
66	レントゲン用高圧電源の動作不良の改善方法について	平地克也	○
67	小型高効率の充電器の動向について	平地克也	○
68	電圧共振形 DC/DC コンバータの励磁電流の振る舞いなど	平地克也	○
69	GaN 半導体の並列駆動技術について	七森公碩	○
70	歴史的鋼橋「忠節橋」の維持管理マニュアルの策定について	玉田和也	○
71	市内公共施設の跡地利用に関して	尾上亮介	○
72	与謝野町の都市計画について	尾上亮介	○

	相 談 内 容	対応教員	備考
73	小型家電収集管理システム導入に関して	尾上亮介	○
74	ゴミのリサイクル等に関して	尾上亮介	○
75	宮津市各地域の景観まちづくりの取り組みに関して	尾上亮介	○
76	舞鶴市のゴミ減量に関して	尾上亮介	○
77	子育て支援施設あそびあむの運営に関して	尾上亮介	○
78	市民の環境への取り組みに関して	尾上亮介	○
79	街並み修景助成に関わる建築改修物件の景観デザインに関して	尾上亮介	○
80	商店街創生プロジェクトに関して	尾上亮介	○
81	商店街創生プロジェクトに関して	尾上亮介	○
82	宮津市街地西堀川通の景観に関して	尾上亮介	○
83	廃棄物処理に関して	尾上亮介	○
84	商店街創生プロジェクトに関して	尾上亮介	○
85	街並み修景助成に関わる建築改修物件の景観デザインに関して 溝尻地区	尾上亮介	○
86	移住者促進住宅に関して 空き屋活用について	尾上亮介	○
87	市内井上奥本家文書『伊勢物語』の調査	畑恵里子	○
88	京丹後市における猫に関する文化活動の可能性	畑恵里子	○

備 考：○印……本校で対応した相談

■印……他の機関に紹介した相談

※2018年1月1日～2018年12月31日に相談があったものを掲載

地 域 委 員

校長

内海 康雄	(一社) 持続可能で安心安全な社会をめざす新エネルギー活用推進協議会(JASFA) 副会長 (2011-)
-------	--

人文科学部門

児玉 圭司	舞鶴市情報公開・個人情報保護審査会, 委員, (2010. 6～2020. 5 (予定))
	舞鶴市情報公開・個人情報保護審議会, 委員, (2013. 1～2021. 1 (予定))
	舞鶴市行政不服審査会, 委員, (2016. 6～2020. 5 (予定))
	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター・倫理委員会, 委員, (2018. 11～2019. 3)
	綾部市行政不服審査会, 委員, (2016. 12～2020. 12 (予定))
垂谷 茂弘	独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター・倫理委員会, 委員, (2018. 11～2019. 3)

機械工学科

西山 等	舞鶴工業高等専門学校同窓会, 理事長, (2018. 4～2019. 3)
小林 洋平	廃炉創造ロボコン, 実行委員, (2018. 4～2019. 3)

電気情報工学科

中川 重康	舞鶴市公共工事事務調査委員会, 委員, (2018. 4～2019. 3)
	舞鶴子ども発明クラブ, 指導員, (2018. 7～2019. 2)

建設システム工学科

高谷 富也	舞鶴市公共工事事務対策会議, 委員長 (2018. 4～2019. 3)
	A C Mブレース研究会, 幹事会員 (2018. 4～2019. 3)
四蔵 茂雄	舞鶴市上下水道審議会委員
尾上 亮介	舞鶴市都市計画審議会, 委員 (2018. 4～)
	宮津市都市計画審議会, 会長 (2018. 4～)
	宮津市景観審議会, 委員, 会長職務代理 (2018. 11～)
	宮津市文化的景観検討委員会, 委員 (2018. 11～)
	京都府舞鶴港港湾審議会, 委員 (2018. 10～)
今村友里子	宮津市景観デザイン委員会, 委員, (2018. 9～)

報 道 記 事

報道記事一覧	1 6 1
--------------	-------

報道記事一覧

見出し	掲載紙(誌)	掲載年月日
舞鶴市のお試し住宅第1号 改修完了「ぬくもり感じて」 空き家利用 移住希望者に貸し出し (舞鶴高専学生が改修プラン作成)	京 都 新 聞	平成30年 4月18日(水)
移住促進へ大きな一歩 「お試し住宅」第1号完成 (舞鶴高専学生が改修プラン作成)	舞鶴市民新聞	平成30年 4月20日(金)
舞鶴高専の学生が設計と整備 移住者用のお試し住宅が完成	広報まいづる	平成30年 5月号
【商店街巡礼 77】 博覧会の跡地利用「新世界市場」 建設システム工学科 尾上亮介教授	舞鶴市民新聞	平成30年 5月25日(金)
舞鶴の留学生と NP0 交流 高専生4人、悩みや自国語る	読 売 新 聞	平成30年 6月17日(日)
駅舎清掃 円熟の10年目 松尾寺駅で高専生ら170人が汗 育て ボランティアの新芽	舞鶴市民新聞	平成30年 6月22日(金)
ロボットと遊んだよ 舞鶴高専の4台 子どもら楽しむ (志楽小で「高専のロボットたちがやって来る2018」)	読 売 新 聞	平成30年 6月24日(日)
子ら理科の世界体感 ロボットと遊んだよ 舞鶴・志楽小 縄跳びやアーム操作 (舞鶴高専「創造技術研究会」が協力)	京 都 新 聞	平成30年 6月24日(日)
歴代京都代表校刻む 3校生がパネル制作中 高校野球100回記念 (舞鶴高専・府立工業高・京都市立京都工学院高が協力)	朝 日 新 聞	平成30年 6月25日(月)
【催し】 舞鶴・はまっこ夜の市 舞鶴高専の「光であそぼう」など	舞鶴市民新聞	平成30年 6月29日(金)
京都府北部地域連携都市圏 広域連携で取り組む地方創生 (「職」と密接に関係する教育機関として舞鶴高専を紹介)	広報まいづる	平成30年 7月号
【7月のおしらせ・教室】 大浦会館《夏休み親子工作教室》 太陽電池の仕組みとソー ラーカーづくり 8/25 電気情報工学科 内海淳志准教授	広報まいづる	平成30年 7月号
第100回全国高校野球選手権大会 甲子園めざす地元4校 舞鶴高専 タイプの違う投手揃う 好球必打でつなぐ野球	舞鶴市民新聞	平成30年 7月6日(金)
ロボット 楽しいね 舞鶴高専生ら志楽小で催し	朝 日 新 聞	平成30年 7月20日(金)
【催し】 舞鶴高専吹奏楽部・第34回定期演奏会 7/22	舞鶴市民新聞	平成30年 7月20日(金)

見 出 し	掲載紙 (誌)	掲 載 年 月 日
児童、太陽電池で実験 舞鶴高専公開講座 特徴など学ぶ	京 都 新 聞	平成 30 年 7 月 23 日(月)
国立舞鶴工業高等専門学校 オープンキャンパス開催 8/11・12	舞鶴市民新聞	平成 30 年 7 月 24 日(火) 暑中特集号
水や空気の動きに「すごい！」 高専の学生が出前授業 (三笠小で舞鶴高専電子制御工学科)	舞鶴市民新聞	平成 30 年 7 月 24 日(火)
高専に任せろ！2018 松葉づえ安全に、高専生が手作りロボで見守り (和歌山高専で、ルンバやキネクトを活用した「見守り・付き 添いロボット」の研究開発。高専でのキネクト活用の例とし て、舞鶴高専の「ジェスチャー動作支援ツールの開発」につ いても紹介)	日経産業新聞	平成 30 年 8 月 31 日(金)
【9 月のお知らせ・子育て】 学生と乳幼児親子とのふれあい交流授業 舞鶴高専 10/16・10/17	広報まいづる	平成 30 年 9 月号
箏演奏のアジアン・ハーブ 22 日にお月見コンサート (舞鶴高専 HANDMADE 同好会の切り絵アニメーションと共演)	あやべ市民新聞	平成 30 年 9 月 3 日(月)
舞鶴市の移住者向けお試し住宅第 1 号に入居した三宅寿宜さ ん 「レストランできそう」 (改修に舞鶴高専の学生たち携わる)	京 都 新 聞	平成 30 年 9 月 13 日(木)
LED 電飾に挑戦 舞鶴の中学生 冬の街で点灯へ (指導役に舞鶴高専電気情報工学科学生と中川重康教授ら)	朝 日 新 聞	平成 30 年 9 月 30 日(日)
原子力総合防災訓練を実施 12 機関約 2,800 人が参加 (海上自衛隊のヘリコプターにより要配慮者を舞鶴高専まで 搬送)	広報まいづる	平成 30 年 10 月号
宮津ならではの建築紹介 まちなみシンポ 高校生ら発表 (舞鶴高専の学生が景観整備計画を発表)	産 経 新 聞	平成 30 年 10 月 11 日(木)
舞鶴・JR 松尾寺駅旧駅舎前 レトロ建物と音楽楽しむ (舞鶴高専の軽音楽部と吹奏楽部などが演奏を披露)	京 都 新 聞	平成 30 年 10 月 14 日(日)
【催し】 赤れんがフェスタ in 舞鶴 2018 「創造工学～成果発表とものづくり体験」10/21・22 (舞鶴高専電気情報工学科)	舞鶴市民新聞	平成 30 年 10 月 19 日(金)
JAAM アセットマネジメント講演会 in 大阪 (舞鶴高専建設システム工学科 玉田和也教授が講演)	産 経 新 聞	平成 30 年 10 月 22 日(月)
天滝橋架け直し 学生達が協力 豊岡出身の高専生が設計	朝 日 新 聞 但馬版	平成 30 年 10 月 27 日(土)
【イベントのご案内】 JR 東・西舞鶴駅前イルミネーション 11/20～2/20 (東舞鶴駅前を舞鶴高専の学生が製作、設置、点灯を担当)	広報まいづる	平成 30 年 11 月号
雪だるま設計したよ 舞鶴高専で 3D プリンター講座 小中生、ソフト使い挑戦	京 都 新 聞	平成 30 年 11 月 5 日(月)

見 出 し	掲載紙 (誌)	掲 載 年 月 日
冬の駅 彩る イルミネーション 高専とポリテクが設置作業	舞鶴市民新聞	平成 30 年 11 月 16 日 (金)
現行シビック開発 松本さん挑戦語る 母校・舞鶴高専で	読 売 新 聞	平成 30 年 11 月 21 日 (水)
学生手作り 電飾キラキラ 舞鶴高専とポリテク京都 JR 東・西舞鶴駅前	京 都 新 聞	平成 30 年 11 月 21 日 (水)
舞鶴の冬の夜彩る 学生ら製作 イルミネーション点灯	産 経 新 聞	平成 30 年 11 月 21 日 (水)
中学生も挑戦 光の装飾 JR 東舞鶴・西舞鶴駅	朝 日 新 聞	平成 30 年 11 月 23 日 (金)
龍谷大平安 節目の名刻む 夏の大会記念パネルにプレート (舞鶴高専・府立工業高・京都工学院高の学生・生徒が制作)	京 都 新 聞	平成 30 年 11 月 26 日 (月)
鮮やかイルミ 冬の彩り 東舞鶴西舞鶴両駅前にお目見え	毎 日 新 聞	平成 30 年 11 月 27 日 (火)
シビック開発への思い語る 松本さん 母校の高専で講演	舞鶴市民新聞	平成 30 年 11 月 27 日 (火)
【まちかど】舞鶴高専情報科学センター講演会 12/4	京 都 新 聞	平成 30 年 11 月 29 日 (木)
魅力ある「舞鶴暮らし」を 移住者向けに高専生が空き家活用を提案 来年 1 月に改修工事を開始	舞鶴市民新聞	平成 30 年 11 月 30 日 (金)
【催し】舞鶴高専第 43 回情報科学センター講演会 12/4	舞鶴市民新聞	平成 30 年 11 月 30 日 (金)
平成を築いた世代×次世代を担う若者 私たちのまちへの思い (舞鶴高専の学生が参加)	広報まいづる	平成 30 年 12 月号
姉妹都市提携 20 周年を記念 ポーツマス市名誉市長や青少年と交流 (ポーツマス市名誉市長が舞鶴高専を訪問)	広報まいづる	平成 30 年 12 月号
有害物質を大幅削減 丹波市のロハス 中国製ごみ処理装置の実証実験始める 国内販売に向け改良へ (舞鶴高専と連携して実証実験)	北 近 畿 経 済 新 聞	平成 30 年 12 月 1 日 (土)
【最前線 京滋ビジネス ベンチャー】 T-R O B O 小型ドローン用映像 (T-ROBO 社長 舞鶴高専卒業の林 弘幸さん)	京 都 新 聞	平成 30 年 12 月 16 日 (日)
万願寺甘とう品質向上、高潮や積雪の監視… 通信技術で地域課題解決 舞鶴市・高専・KDDI が協定	京 都 新 聞	平成 30 年 12 月 20 日 (木)
産業活性化や防災で連携 舞鶴市・舞鶴高専・KDDI が協定	産 経 新 聞	平成 30 年 12 月 20 日 (木)
ICT で地域活性化 舞鶴市 舞鶴高専、KDDI と協定	毎 日 新 聞	平成 30 年 12 月 20 日 (木)
【まいづるトピックス】学生のアイデア光る 駅前を彩るイルミネーション	広報まいづる	平成 31 年 1 月号
養父・天滝への遊歩道 学生協力 崩壊の橋再建 舞鶴高専 軽量化工夫し設計	神 戸 新 聞	平成 31 年 1 月 23 日 (水)
天滝に向かう橋 復活 大屋 鋼材使いより丈夫に	読 売 新 聞	平成 31 年 1 月 29 日 (火)

見 出 し	掲載紙 (誌)	掲 載 年 月 日
舞鶴市長選 期日前投票始まる あすは高専・海保学校も	京 都 新 聞	平成31年 1月29日(火)
若者も選ぼう！ 舞鶴高専と海保学校 市選管 期日前投票所	毎 日 新 聞	平成31年 1月31日(木)
【舞鶴 MY LIFE】お試し住宅でまちなか移住 (舞鶴高専の学生が設計を担当)	広報まいづる	平成31年 1月号
高専に投票所 投票機会の拡大へ	舞鶴市民新聞	平成31年 2月 1日(金)
【まちかど】舞鶴地方史研究会 2月例会 2/3 「丹後の海はどこまでつながる？由良の幸福丸が行く、明治の海」 (講師 舞鶴高専人文科学部門 牧野雅司准教授)	京 都 新 聞	平成31年 2月 1日(金)
舞鶴高専、倍率2.1倍 一般入試志願者状況	京 都 新 聞	平成31年 2月 5日(火)
舞鶴市所蔵 糸井仙之助が収集「糸井文庫」研究・活用進む 市 壁紙やカードに 高専教員ら 書物内容公開へ (舞鶴高専人文科学部門 畑恵里子准教授)	京 都 新 聞	平成31年 2月10日(日)
【募集】企画展「糸井仙之助の眼－舞鶴市糸井文庫の世界－」 ギャラリートーク&ワークショップ 3/9 舞鶴智恵蔵 (講師 舞鶴高専人文科学部門 畑恵里子准教授)	舞鶴市民新聞	平成31年 2月19日(火)
【まちかど】まいづる土木・建築フォーラム 2/25 赤れんが パーク4号棟 (舞鶴高専建設システム工学科 卒業研究発表)	京 都 新 聞	平成31年 2月22日(金)
舞鶴高専生が卒業研究 橋管理や庁舎建築価値 発表 (建設システム工学科)	京 都 新 聞	平成31年 2月26日(火)
地元の力で橋を架け替え 設計は20歳の高専学生	橋 梁 通 信	平成31年 3月 1日(金)
【催し】企画展「糸井仙之助の眼－舞鶴市糸井文庫の世界－」 3/5～3/31 まいづる智恵蔵 (舞鶴高専人文科学部門 畑研究室)	舞鶴市民新聞	平成31年 3月 1日(金)
【3月のお知らせ 教室】 科学研究費基盤研究「糸井仙之助の眼－舞鶴市糸井文庫の世界－」3/5～3/31 赤れんが3号棟 (舞鶴高専人文科学部門 畑研究室) 舞鶴高専公開講座「眠れる近代化遺産－海軍第三火薬廠跡－」3/16	広報まいづる	平成31年 3月号
旧海軍の第三火薬廠知って 16日、舞鶴高専教員ら実態説明へ講座	京 都 新 聞	平成31年 3月 8日(火)
舞鶴市 優秀スポーツ・文化賞 26人が受賞 (優秀文化賞優秀賞に舞鶴高専デザコン部員6人)	舞鶴市民新聞	平成31年 3月 8日(金)
浦島太郎など浮世絵 舞鶴で「糸井文庫」紹介展 (舞鶴高専人文科学部門 畑恵里子准教授ら)	京 都 新 聞	平成31年 3月 9日(土)
【催し】眠れる近代化遺産 海軍第三火薬廠跡～その過去・現在・未来を考える～ 3/16 (舞鶴地方史研究会3月例会との共催となる舞鶴高専公開講座)	舞鶴市民新聞	平成31年 3月12日(火)

見 出 し	掲載紙 (誌)	掲 載 年 月 日
舞鶴の糸井文庫企画展 乙姫ちゃん出迎え 和紙など使い高専生ら制作	京 都 新 聞	平成31年 3月14日(木)
「海軍第三火薬廠」実像追う 舞鶴高専あす公開講座 発掘調査結果紹介 「貴重な遺構 興味もって」	読 売 新 聞	平成31年 3月15日(金)
火薬廠 成り立ち学ぶ 舞鶴高専 教員や研究家講演	京 都 新 聞	平成31年 3月17日(日)
開放的「お試し住宅」完成 移住者向け、2軒目 舞鶴高専生が改修考案	京 都 新 聞	平成31年 3月21日(木)
産・学・官・地域で移住後押し 「移住促進住宅」第2号が完成し、お披露目 移住者 過去最高 21組 31人に	舞鶴市民新聞	平成31年 3月29日(金)

Annual Report 2018

– Education and Research Activities–



National Institute of Technology, Maizuru College

No.16 April 2019